

# 宵 振

42号 2024年 2月



福岡歯科大学同窓会

《巻頭フォト》

『オランダ アムステルダムにて』

撮影者：田口 雅英（41 期 学内同窓会）

撮影日：令和 5 年 6 月 13 日

カメラ：iPhone 13 Pro



「表紙題字：故 松本洋一 名誉学長 書」

## ■ 目 次 ■

|                                       |                            |    |
|---------------------------------------|----------------------------|----|
| 巻 頭 言 「同窓会とは」                         | 福岡歯科大学同窓会会長 吉 永 修……        | 1  |
| 挨 拶 「ご挨拶」                             | 福岡学園理事長 水 田 祥 代……          | 2  |
| 〃 「ご挨拶」                               | 福岡歯科大学学長 高 橋 裕……           | 3  |
| 就 任 挨 拶 「就任のご挨拶」                      | 福岡看護大学学長 樗 木 晶 子……         | 4  |
| 〃 「就任のご挨拶」                            | 福岡学園事務局長 石 橋 慶 憲……         | 5  |
| 〃 「教授就任のご挨拶」                          | 口腔医学研究センター教授 北 尾 洋 之……     | 6  |
| 〃 「教授就任のご挨拶」                          | 障害者歯科学分野教授 森 田 浩 光……       | 7  |
| 〃 「教授就任のご挨拶」                          | 細胞生理学分野教授 藤 田 亜 美……        | 8  |
| 退 職 挨 拶 「定年退職のご挨拶」                    | 言語情報学分野教授 壬 生 正 博……        | 9  |
| 〃 「教授退職のご挨拶」                          | 地域連携センター教授 永 井 淳……         | 10 |
| 福岡医療短期大学 「教授就任のご挨拶」                   | 福岡医療短期大学歯科衛生学科教授 後藤加寿子……   | 11 |
| 〃 「ご挨拶」                               | 福岡医療短期大学歯科衛生学科教授 馬 場 篤 子…… | 12 |
| 学 術 振 興 事 業 「オランダでの国際小児歯科学会での日々」      | 成育小児歯科学分野 熊 谷 徹 弥……        | 13 |
| 〃 「第29回国際小児歯科学会への参加」                  | 成育小児歯科学分野 田 口 雅 英……        | 14 |
| 府県同窓会だより 広島県「広島県同窓会会長就任のご挨拶」          | 広島県同窓会会長 西 谷 展……           | 15 |
| 〃 大阪府「大阪府同窓会会長就任のご挨拶」                 | 大阪府同窓会会長 尾 川 善 信……         | 16 |
| 〃 宮崎県「第75回九地連 in 宮崎」開催報告              | 宮崎県同窓会専務理事 小 田 瑞 恵……       | 17 |
| W a t c h 「国政報告」                      | 比嘉奈津美……                    | 19 |
| 学 園 通 信 「福岡学園はいま」                     | 学園企画課……                    | 20 |
| 学 生 後 援 会 「学生後援会会長挨拶」                 | 学生後援会会長 古 田 洋 介……          | 27 |
| 学 生 だ よ り 「「健康まるごと福岡学園」第46回田の歯科祭を終えて」 | 総務委員長 森 亮 太……              | 28 |
| 親子で頑張る同窓生 「(父) スキー部、(娘) サッカー部」        | 伊藤恒一／天音……                  | 30 |
| 〃 「ありがとうございます」                        | 大城希美子／裕太郎……                | 31 |
| 〃 「親子で大感謝！」                           | 松浦 明／京香……                  | 32 |
| 昇格・学位取得者紹介                            | ……                         | 33 |
| 本 部 会 務 報 告 令和4年度定時評議員会・総会報告          | 江藤ゆかり……                    | 35 |
| 〃 第70回全国歯科大学歯学部同窓会校友懇話会               | 中 岡 俊 智……                  | 36 |
| 〃 比嘉なつみ報告                             | 松 島 一 夫……                  | 37 |
| 〃 学術事業報告                              |                            |    |
| 〃 ・第35回学術講演会                          | 坂 田 憲 彦……                  | 37 |
| 〃 ・2023年度臨床スキルアップセミナー                 | 西 耕 作……                    | 38 |
| 〃 ・第39回臨床セミナー                         | 松 本 和 磨……                  | 39 |
| 〃 ・第40回臨床セミナー                         | 田 中 宏……                    | 39 |
| 〃 ・第41回臨床セミナー                         | 宮 園 祥 爾……                  | 40 |
| 〃 第39回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会           | 葛 西 秀 夫……                  | 40 |
| 〃 厚生福祉委員会報告                           | 俣 野 正 神……                  | 41 |
| 〃 ご逝去のお知らせ                            | ……                         | 42 |
| 福岡歯科大学同窓会役員名簿                         | ……                         | 43 |
| 会 務 報 告                               | ……                         | 46 |
| 会 計 報 告                               | ……                         | 50 |
| 福岡歯科大学同窓会会則・諸規則                       | ……                         | 55 |
| 編 集 後 記                               | 小 柳 進 祐……                  | 70 |



## 「同窓会とは」



福岡歯科大学同窓会

会 長 吉 永 修（4期）

私が同窓会会長になり4年が経ちました。その間、私は可能な限り各支部の総会に参加し、会員の皆さんと交流を持ち、同窓生が「同窓会に何を求めているのか？」探し求めてきました。皆さん、同窓会の存在意義はただ一つ、「同窓生の幸せをお手伝いすること」です。もちろん、すべての人の要求を完全に満たすことはできません。しかし、解決できることもたくさんあると確信しています。

まず、組織の立て直し（改革）が第一に挙げられます。これはこの4年間でほぼできたと自負しております。委員会の先生方には大きな負担を課せました。本部執行部の先生方には大変感謝しております。本当にありがとうございます。

次に、各支部がバラバラに活動していたので本部執行部を中心に統一された組織にすることでした。これには、様々な意見が出ましたが、各会長の協力のもと温度差はありますが達成されつつあります。

三番目として現在取り組んでいるのが、学生後援会との協力体制です。私の子供たちも母校を卒業しました。現在、同じ職場で働いていますが、子供が親の背中をみて育ち同じ医療の道に進んでくれたことに心から感動を覚えます。子供たちを教育して頂いた理事長、学長、現場の教員の方々にいくら感謝しても感謝しきれるものではありません。さらに、同窓会と学生後援会の有効な協力体制を発展させたいと考えます。コロナのパンデミック期間中、外部からの大学への出入りが制約されていたので、学長を中心に大学が学生後援会の運営を代行されてきました。大学には大変感謝申し上げます。しかし、パンデミックが落ち着いた現在、本来の姿に戻す必要があります。学生後援会の中には同窓生も多数含まれていますので、同窓会としても共に学生のために学生後援会が自主的に運営する体制を構築することを手伝う必要があります。現在の学生後援会会長古田先生に、学生たちが成績を向上させ大学生活をエンジョイできるようにするためには、同窓会として

何をお手伝いすればよいか教えてほしいとお願いいたしました。そのためには古田会長を中心に学生後援会の理事の先生方が密に話し合い、「子供たちが何をしてほしいのか」を大人の目線で考え、大学に提案していただきたいと思います。そのための協力は同窓会として惜しまないつもりです。是非、学生後援会から同窓会にたくさんの前向きな提案をお願いします。

最後に同窓生の老後の問題です。この4年間に医院を譲りたいので若い先生を紹介してほしい、という依頼が5件ありました。子供が自院を引き継いでもらえる先生はいいですが、引き継いでくれる人がいない先生もいます。また、経済的にも厳しい現在、開業すると誰でも食べていけるという時代ではなくなりました。第三者への事業承継は非常に困難な時代です。最低でも5年から10年計画で事業承継を考えなくては双方が納得し、患者に迷惑をかけないようにすることはできません。一般企業のM&Aを手掛けている会社に依頼すると高額な手数料を請求され、手元にはほとんど残らない状態です。1期生が70歳を超えようとしている現在、患者のために頑張ってきた先生方の楽しい老後の手助け（提案）をすることも同窓会の役割ではないかと考えています。もちろん、同窓会が直接金銭的なことに介入することはできませんが、条件の良い企業、解決方法を提案することにより、不安のない老後を過ごすことができればいいのではないかと考えます。

これらの事業に終わりはありません。時代とともに法律が変化していくからです。その時代に適応する生き方をしていかなければなりません。私は同窓会会長としてその責務を背負っていきたいと覚悟をしております。しかし、私一人の力では足りません。皆さんにお願いしたいことは「誰かがしてくれるだろう」ではなく、「自分に何ができるか」を考え、できることを少しでもいいですから行動していただきたいと思います。よろしくお願いします。

## 「ご挨拶」



学校法人福岡学園

理事長 水田 祥代

福岡歯科大学同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和5年は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行されたことに伴い、本学でもいろいろなイベントの規制を緩和し、在学生にとっても、また地域社会にとっても明るい兆しが見えてきました。本学ではまず、卒業式、入学式を50周年記念講堂でご家族も出席して開催することができました。6月には、福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学は、大学教育・高等学校教育の活性化などを目的として、福岡市立高等学校である福翔高等学校・博多工業高等学校・福岡女子高等学校・福岡西陵高等学校の4校と「高大連携に関する協定」を締結し、相互の教育に係る交流・連携を通じて、高大連携に係る取組みの実質化を始めました。また、同窓生のご子息、ご息女対象のオープンキャンパスを開催するとともに、歯科大学で第1回目のホームカミングデーを同日開催し、多数の同窓生の皆様にご参加いただき、本学を懐かしんでいただくとともに現状を理解していただけたのではないかと考えております。また、4年ぶりに全日本歯科学学生総合体育大会（オールデンタル）も開催され、在学生にとってようやく学生生活の思い出が残せたのではないのでしょうか。さらに、10月には学園祭である「田の歯科祭」をはじめ、「からだの科学展」「地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム」などを含む「健康まるごと福岡学園」も4年ぶりに開催し、多くの来場者にご来学いただき、学生はもちろん、地域の方々にも大いに楽しんでいただけたのではないかと考えております。

さて、本学が現在進めております新キャンパス整備計画につきましては、令和6年2月に工事を着工し、令和7年7月末に完成予定で新本館の建設計画が進んでいます。今回も4つのつなぐ（学園をつなぐ・地域をつなぐ・人をつなぐ・未来へつなぐ）

をコンセプトに、学生ファーストのキャンパスづくりを目指しています。建設場所は、体育館の跡地とグラウンドの一部を利用して鉄骨造6階建ての新本館を建設することとしており、その中には歯科大学とともに福岡医療短期大学が入ることになっています。2大学の共有するスペースもあり、教育の活性化を図るとともに、多職種連携医療の構築に向けて学生にとって素晴らしい環境となるのではないかと考えています。さらに新本館始動後は、9階建ての旧本館を解体し、跡地に新体育館を建設するほか、設備機器が老朽化したアニマルセンターも建て替え、一連の工事に関する外構を整備します。最終的には令和10年末に完成する予定です。学生がより豊かなキャンパスライフを送れるよう、50年を経過したキャンパスの環境を整備し、学生支援、教育拡充と、さらなる発展のために総力を挙げて邁進していく所存です。引き続き、皆様からのご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

さて、本学において、ここ数年の継続的な課題となっているのは入学定員未充足問題です。少子化に加えて歯科医師国家試験の全国合格率の継続的な圧縮により、歯学部志願者は全国的に減少傾向にあります。受験者数の減少は経営にも大きな影響を与えますが、入学してからの学生への教育面でも、入学選抜の多様化により厳しい受験競争を経験したことがない学生を6年間で歯科医師にするための指導は困難を極めています。このような状況への対策として現在高橋学長が「TKG（積み上げ・繰り返し・学習）」や「0080（欠席ゼロ・再試ゼロ・CBT80点越え）」を掲げて、低学年から学生の指導にあたっているほか、特に優秀な受験生に入学してもらうために特待生制度を見直し、6年間の学納金がほぼ半額となるS特待を20名枠で設けてアピールしています。また、昨今、全国歯学部の学生に占める女子学生の割合も増加しており、令和5年度では、歯学部を持つ全国29校中、8校で5割超となっており、歯科医師を希望する学生の男女の割合は拮抗してきています。本学も約4割は女子学生という状況であり、「リケジョ」の募集にも力を入れています。

このように本学は立ち止まることなく、いろいろな形で活発に動き続けています。これからも学生ファーストの精神で教職員一丸となって学生の教育にあたって参りますので、同窓生の皆様、どうか母校である福岡歯科大学にご子息、ご息女を入学させていただけないでしょうか。

最後になりますが、同窓生の皆様にはご自愛の上、これからもご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 「ご挨拶」



福岡歯科大学  
学 長 高橋 裕

福岡歯科大学に対しまして、いつもご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

大学は今年も新型コロナウイルス感染症対応の1年となりました。まず、昨年11月から今年1月にかけて第8波が来しました。5月の連休明けからは新型コロナウイルス感染症が第5類に移行しましたが、大学は陽性者が出続けました。夏には再び流行が拡大し、なかなか通常の生活に戻ることができませんでした。

そのような状況の中、大学の授業は感染対策を取りながら対面で実施し、卒業式と入学式はご家族の皆様にも4年ぶりに列席をしてもらうことができました。しかし、謝恩会は、まだ、自粛となりました。学生の部活動は昨年から再開されていますが、今年ようやく、オールデンタルと学園祭が4年ぶりに開催されました。

福岡学園には「新キャンパス整備計画」があり、2020年9月に福岡歯科大学医科歯科総合病院が新しくなり、2022年7月に50周年記念講堂が建ちました。現在、福岡歯科大学の校舎の建て替え計画が進んでおり、2025年夏に新しい校舎が出来る予定です。

教育に関しては、“有能な歯科医師育成”“歯科医師国家試験合格”に向けて「6年一貫的教育システム」を構築し、本格導入して今年で3年目になります。

主なものを紹介すると、総合的知識修得のための3教育方針を掲げ、①「前倒し、繰り返し、つなげる」(M.K.T.)を教育の基本的な方針とし、1)カ

リキュラム編成、2)教員の教育への取り組み方、3)学生の自学自習を進めるための基本的な考えとしました。②「0080」(ゼロゼロハチマル)「欠席ゼロ、再試ゼロ、CBT80点超え」は、学生の意識改革の方針で、③「積み上げ・繰り返し・学習」(T.K.G.)は、学生の知識定着のための方針です。さらに、修得した総合的知識を評価するために、「6年一貫の積み上げ型総合的知識の段階的総括評価」を運用しています。

成果として、4年生CBTの成績が、飛躍的に向上しました。令和3、4年度の本学のCBT平均点は、令和2年度より5点以上向上し、令和4年にはCBT全国平均点を初めて超えました。このCBTは全国共通試験で、学生にとっては2年後の国家試験に向けた勉強の進捗の目安になっています。

歯科医師国家試験に関しては、平成25年度から国の方針で国試合格者数が大幅に削減され、全国の国試合格率は、令和4年度：63.5%、令和3年度：61.6%、令和2年度：64.6%となり、この3年の平均は約63%でした。すなわち、歯学部で6年間履修し国家試験を受けた受験生が6割しか合格せず、およそ4割が歯科医師になれない、たいへん厳しい国家試験です。

本学の国試の結果は、令和4年度の合格者数が75人でした。この5年間の国試合格者数を平均すると年76人で、それ以前の数年間の平均が58人でしたので、合格者数はかなり増えてきています。

令和5年度入試から「専願S特待生制度」という大きな支援を始めました。この制度は、学納金のうち入学金と授業料の3分の2を免除します。本学を専願し、入試の際に歯科医師になりたいという希望のある人が出願でき、入学定員96人のうち20人に枠を設けています。国公立大学歯学部歯学科に合格した場合は入学辞退を認めています。ほかにもさまざまな学生支援制度を用意して歯科医師になりたい学生を支援しています。是非、意欲のある学生に数多く入学してもらいたいと思っています。

本学から1人でも多く歯科医師を輩出することを目的に、教職員一同頑張っています。引き続きご支援をいただければ幸いです。

## 「就任のご挨拶」



福岡看護大学  
学長 櫛木 晶子

福岡歯科大学同窓会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。令和5年4月1日付で福岡看護大学学長を拝命いたしました。同窓会の皆様にご就任のご挨拶を申し上げます。

私は太宰府で育ち、現在も太宰府在住です。1979年、九州大学医学部を卒業後、当時はすぐ入局する研修制度でしたので、迷うことなく九州大学病院循環器内科を選びました。入局時には国立大学初の冠動脈疾患治療部が設置され勢いのある教室でした。内科の中では外科に近く体力勝負でしたので、初の女性入局者を戸惑いつつ受け入れて戴きました。博士課程は血管平滑筋研究のメッカであった薬理学教室（故 栗山熙教授）にて研究の機会を戴き、その教員であられた北村憲司先生、平田雅人先生に福岡学園で再び御指導いただく事になり光栄に存じます。学位取得後、循環器診療と共に運動負荷心電図や不整脈領域の臨床研究を続けた後、1996年、九州大学医療技術短期大学部に移りました。短大の4年制化（保健学科）や修士・博士過程の設置、総長補佐、学科長として組織運営の一端を経験する機会に恵まれ福岡看護大学の運営に繋がっております。また、医学科は女性教員が稀な時代で、水田祥代先生の活躍は大きな励みと道標でした。医学部初の女性教授が実現し、九州大学病院長も務められた2007年に文科省女性医療人支援に応募する機会を戴きました。この「きらめきプロジェクト」は16年を経て現在も続いており、女性に限らず歯科医も含めた医療人のキャリア継続を支援しています。

2020年4月定年後、コロナ禍と共に福岡歯科大学客員教授として赴任し、新病院の健診センター設置に携わりました。通常健診に加え口腔歯科健診を推進するため、米田雅裕副センター長を中心として歯

科診療科の多数の先生のご協力、内視鏡センターや放射線診断科、検査室、看護部、事務課のご支援により半年で立ち上げる事ができました。現在、病院顧問の阿南壽先生や堀部晴美名誉教授に「お口の健康相談」を担当頂き本学独自の健診センターの発展にご尽力いただいております。このような多職種連携の実現は、ひとえに水田理事長の強力なリーダーシップのもと、福岡学園常務理事・福岡医療短期大学 田口智章学長、福岡歯科大学 高橋裕学長、医科歯科総合病院 坂上竜資病院長のお陰と深く感謝申し上げます。

2021年4月より健診センター長と併任で、福岡看護大学副学長・研究科長を拝命し、修士課程の運営に携わりました。福岡看護大学の設置には窪田恵子前学長が一方ならぬ尽力をされ、改めて感謝申し上げます。前学長の任期満了に伴い2023年4月より学長を拝命し、約40人の教員、10人の職員と共に、福岡県下17校ある看護学部・大学の中から、学生にも教員にも選ばれる大学になることを目指しております。その為に、以下の7つの方針を立てました。

1. 継続とチェンジ：第四次中期構想に基づき優れた取組みの継続と非効率な業務の改変
  2. 多様な学生の教育の工夫：学力や精神面で様々なレベルにある学生に対応できる教育の工夫
  3. 人を育くみ信頼関係を築く：学生は言うまでも無く教員の教育・研究能力の育成と信頼関係の構築
  4. 運営体制の透明化：大学運営における透明性の維持、お互いの情報伝達の円滑化
  5. 広く繋がる：教育・研究面で多職種連携の強化、特色ある看護学の教育と研究の発展を多職種で推進
  6. 魅力ある広報の推進：本校の取組みや特色を時代に即応したメディア手段で効果的に広報
  7. 教育体制・資源・人材の有効活用：限られた人員に即した教育体制の在り方の検討、人件費をポイント制で管理し人員配置の合理化や分野間の協力体制の更新
- 掛け声だおれに終わらぬよう組織的に邁進して参りたいと存じます。

福岡歯科大学同窓会の皆様のご理解・ご協力を得て、福岡学園ならではの福岡看護大学の発展に精励致す所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 「就任のご挨拶」



学校法人福岡学園

事務局長 石橋 慶憲

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。このたび福岡学園・事務局長に就任いたしました石橋慶憲と申します。事務局長就任にあたり皆様に謹んでご挨拶を申し上げます。

私は小学4年生から福岡市内に移り住んでおり、田んぼの中に高々とそびえ立つ福岡歯科大学の校舎を見ながら通学しておりましたので、幼い頃から本学に親しみを感じておりましたが、その福岡歯科大学が自身の職場になるとは思っても寄らず、今では不思議なご縁を感じています。

大学を卒業後は民間企業に技術職として就職いたしました。その後、この福岡歯科大学に事務職として転職し、早や33年もの月日が経ちました。これまで、人事、庶務、財務、秘書といった管理的な業務を経験し、現職に至っております。その間に「口腔医学の啓発活動」や「法人名や学部学科名の変更」をはじめ、現理事長である水田祥代先生のご指導を受けて、「福岡看護大学の設置」、「福岡医療短期大学保健福祉学科の閉学科」、「新医科歯科総合病院の建設」、「口腔医療センターの本院への移転」などの業務に従事いたしました。現在は、新キャンパス整備に向けた事業に尽力しております。

この事業計画は、皆様ご承知のとおり、現在の体育館を解体のうえ2025年7月竣工予定で、短期大学としての施設・設備を兼ね備えた福岡歯科大学「新本館」を建設、その後、既存本館を解体して「新体育館」を新設するほか、「新アニマルセンター」を北門横に建設することになっております。新キャンパス整備の皮切りとして8月下旬から既存体育館の解体工事が始まりました。また、本学周辺は埋蔵文化財包蔵地「田村遺跡」に位置していることから、工事に先行して埋蔵文化財調査も行われており、2,000年以上前の弥生時代や縄文時代の土器の一部

や生活の痕跡である遺構が次々と姿を現しています。同窓生の先生方におかれては、学び育った思い出深い建物が取り壊されることに一抹の寂しさがあるのではないかと拝察いたしますが、時代に即した施設・設備を完備した新学舎に生まれ変わることで新たな歴史が始まり、教育研究の質向上にも大きく寄与するものと思いますので、何卒ご理解賜りご期待いただければ幸いに存じます。

さて事務局ですが、開学間もない昭和50年代は11課で構成され、事務・技術・技能職員を合わせて100名を超える正規職員が勤務しておりました。現在は、看護大学や介護老人保健施設における事務課をはじめ、教育支援・教学IR室、事務室、地域連携センター事務室、内部監査室等が新たに設置され、組織的には15課・室と規模は拡大されましたが、正規職員数は95名前後と減少していることから、職員個々のスキルアップを図るとともに、合理化・情報化を推進し、適切かつ迅速な運営に努めております。

課題としては、入学定員の充足は当然ながら、管理的にはやはり令和5年4月26日に参議院本会議にて可決され、5月8日に公布された「改正私立学校法」への対応です。文部科学省によると今回の法改正の概要は、『『執行と監視・監督の役割の明確化・分離』の考え方から、理事・理事会、監事及び評議員・評議員会の権限分配を整理し、私立学校の特性に応じた形で『建設的な協働と相互けん制』を確立』とされています。一時期は私立大学の不祥事が発覚したこともあり、理事会の暴走を食い止めるために最高議決機関を学外者で構成する評議員会にすべきといった主張もございましたが、最終的には「意思決定機関」は理事会であり、評議員会は「諮問機関」であるという基本的な枠組みは維持されることになりました。令和7年4月の施行に向けて、今後、寄附行為を改正し、理事・監事・評議員・会計監査人などの役員等の選解任手続きや理事会・評議員会等の運営について、法に則り新たに定める必要がございますが、本学園・大学の特色を踏まえたうえで最終的な結論を出していただけるよう事務手続きを進めて参りたいと考えております。

定年まで残り少なくなりましたが、最後まで福岡学園、そして福岡歯科大学の益々の発展を目指して精一杯尽力したいと存じますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 「教授就任のご挨拶」



福岡歯科大学  
口腔医学研究センター  
教授 北尾 洋之

令和4年12月1日付で福岡歯科大学口腔医学研究センター教授に着任いたしました北尾洋之と申します。福岡歯科大学同窓会の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

はじめに自己紹介をさせていただきます。私は大阪市の出身で、平成4年に京都大学理学部を卒業、その後同大学院理学研究科に進学し、平成9年に博士（理学）を取得いたしました。大学院時代は山岸秀夫先生（現京都大学名誉教授）のご指導のもと、免疫グロブリン遺伝子におけるゲノムDNA再編成機構に関する研究を行いました。その後、平成12年より3年間米国ハーバード大学公衆衛生学校（Harvard School of Public Health）のZhi-Min Yuan先生（現ハーバード大教授）の研究室へ留学し、放射線によるDNA損傷とその細胞応答に関する研究を行いました。平成15年に帰国後は、高田穰先生（現京都大学名誉教授）の研究室に所属し、川崎医科大学、広島大学原爆放射線医科学研究所、京都大学放射線生物研究センターと場所を変えながら研究活動を行いました。この期間は、ファンコニ貧血という遺伝性疾患に関する研究に携わりました。平成20年に九州大学医学研究院寄附講座・がん分子病態学講座に准教授として赴任いたしました。この寄附講座は当時、九州大学消化器・総合外科の教授でいらっしゃった前原喜彦先生（現九州大学名誉教授、当学園評議委員）が新設されたもので、ここでは製薬企業である大鵬薬品工業と共同で抗がん剤に関する基礎研究に携わりました。平成29年に九州大学薬学研究院抗がん剤育薬共同研究部門の教授に就任し、引き続き大鵬薬品工業との共同研究を行いました。15年間の九州大学での研究を経て、このたび令和4年

12月より本学口腔医学研究センター教授として勤務しております。

私は基礎研究者としてDNA損傷とそれに対する細胞応答に関する研究を行ってきました。その中で米国留学より帰国後、ファンコニ貧血という遺伝性疾患に関する研究に携わる機会を得ました。幸運にもこの疾患の原因遺伝子が次々と明らかにされた時期と重なり、基礎研究者として非常にエキサイティングな経験をすることができました。また、この疾患には平成元年に患者親族により創設されたFanconi Anemia Research Fund（FARF）という財団があり（ホームページ：[www.fanconi.org](http://www.fanconi.org)）、患者やその家族の支援とこの疾患に対するよりよい治療法の開発を促すための研究助成を幅広く行っています。FARFが年に一度主催する学術集会には研究者や臨床医だけでなく患者やその家族も参加するのですが、研究者、臨床医と患者とその家族が直接対話する場が設けられています。そこで私は、患者やその家族はみな、私たち基礎研究者が日々行っている研究に大きな期待を寄せていること、そして疾患が克服されることを切実に願っていることを実感しました。この体験以降、基礎研究者として臨床上のニーズに沿った研究に携わっていきたくと改めて思うようになりました。

九州大学ではがん治療に携わる外科医やがん治療薬の開発を担う製薬企業と協力して、抗がん剤に関する基礎研究や患者の腫瘍検体を用いた臨床研究に携わってきました。抗がん剤はがん治療の中核を担うものですが、その作用メカニズムを正確に理解し、適正に使用することが重要です。これからも引き続き抗がん剤に関する研究を続けていきます。また、福岡歯科大学では、「歯学から口腔医学へ」をモットーに、従来の歯学に一般医学の要素を取り入れた口腔医学教育を実践しています。口腔医学研究センターは研究面から口腔医学教育を支えることが求められていると思います。上記の研究に加え、口腔がんを対象にした研究や抗がん剤治療を受けたがん患者を対象とした口腔医学研究も必要となります。福岡歯科大学の先生方と協力して進めていきます。また、学生や大学院生を積極的に受け入れ、研究・教育を通じて視野の広い歯科医への成長を促していきたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 「教授就任のご挨拶」



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
障害者歯科学分野  
教授 森田 浩光

福岡歯科大学同窓生の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

さてこの度、2023年4月1日付で小島寛先生の後任として成長発達歯学講座障害者歯科学分野・教授を拝命いたしましたので御挨拶申し上げます。

私は1995年3月に九州大学歯学部を卒業後、本学に移籍するまで九州大学病院全身管理歯科にて一貫して有病・高齢・障害者の歯科診療に従事して参りました。2014年5月に総合歯科学講座総合歯科学分野・准教授として本学に移籍後は、医科歯科総合病院での入院手術予定患者やがん化学療法中患者に対する周術期口腔機能管理の導入と有病者の歯科診療を実践してきました。2017年10月に医科歯科総合病院 訪問歯科センターが開設された際には、初代センター長を拝命し、副センター長の佐藤（牧野）路子先生とともに、以前から実施されていた高齢者介護施設や居宅訪問診療に加え、高度急性期病院（済生会福岡総合病院）、地域密着型病院（福西会病院）、回復期病院（福岡ハートネット病院）、慢性期病院（拾六町病院）にて様々な病期・病態を有する有病・高齢・障害者への訪問診療体制を構築し、実践して参りました。その傍らで、福岡市歯科医師会における訪問診療マッチングシステムの構築にも関与いたしました。また、西区小呂島への定期離島診療、さらには福岡県歯科医師会と連携し、院内外の災害時歯科医療支援の体制作りを行いました。2019年10月に全国初の訪問歯科教育部門として総合歯科学講座訪問歯科センターが設置され、初代教授に着任いたしました。学部教育としては、機能構造学分野・矯正歯科学分野・口腔画像診断学分野の協力のもと、3年次の「地域医療・災害口腔医学」という

新たなカリキュラムを担当し、地域包括ケアシステムで活躍できる歯科医師の育成を目指し、指導して参りました。さらに歯科医師臨床研修制度では、本院と九州大学病院の大学間連携により、お互いの弱点を補完する目的で、令和元年度から交換研修カリキュラムを作成・実施して参りました。以上が私の略歴およびこれまでの活動内容となります。なお、訪問歯科センターにつきましては、2023年9月まで教授・センター長として併任させていただき、10月からは准教授の今井裕子先生に引き継ぎました。

現在、新たな専門医制度にて、総合歯科専門医・スペシャルニーズ専門医（仮称）が検討されています。この専門医は、日本障害者歯科学会・日本老年歯科医学会・日本有病者歯科医学会の3学会の連携で検討されているもので、安全・安心な包括的歯科医療の提供のため、ハイリスクの要介護高齢者等の歯科治療を担当できる歯科専門医を指します。このように全国的にこれからの有病・高齢・障害者歯科医療は、重症心身障害児（医療的ケア児）から、がんなどの全身疾患（内部障害）を有する患者、さらには認知症等の要介護高齢者（精神障害）まで、有病・高齢・障害の区別は難しいことから、スペシャルニーズを有する患者と大きく捉えて、歯科医療従事者側がオールマイティに外来・訪問診療にて対応しなければいけない時代になってきました。

それ故、前任の小島寛前教授が築いてこられた障害者歯科を継承するとともに、私のこれまでの経験を生かして、有病・高齢者を含めてスペシャルニーズ歯科として現代社会のニーズにマッチしたハイリスク患者を診れる歯科医師の育成と病診連携を目指し、教育・臨床・研究に尽力して参りたいと考えております。

末筆になりましたが、これまで私を支えていただいた総合歯科学分野、訪問歯科センター医局員の皆様をはじめ、福岡歯科大学、九州大学および福岡県・市歯科医師会等にてご指導・ご協力賜りました諸先生方にあらためまして感謝の意を表しますとともに、福岡歯科大学同窓会の今後益々のご発展および会員の皆様方のご多幸とご健勝をお祈りいたします。

2023年10月

## 「教授就任のご挨拶」



福岡歯科大学  
細胞分子生物学講座  
細胞生理学分野  
教授 藤田 亜美

令和4年10月1日付けで福岡歯科大学社会・基礎医歯学部門細胞分子生物学講座細胞生理学分野教授を拝命いたしました藤田亜美と申します。この場をお借りして福岡歯科大学同窓会の皆様に謹んで就任のご挨拶申し上げます。

私は福岡県北九州市出身で明治学園高等学校を卒業後、九州大学理学部化学科に進学しました。学部4年から修士、博士課程と生物化学講座で下東康幸教授のご指導のもと合成ペプチドのトロンビン受容体活性化能を調べ、受容体とリガンド間の構造一活性相関を解析しました。平成12年に博士（理学）の学位取得後、引き続きポスドクとして今度は変異トロンビン受容体の活性化能を調べ、リガンドと相互作用する受容体側の構造要因を探索しました。平成13年9月に佐賀医科大学生理学講座（現 佐賀大学医学部生体構造機能学講座生理学分野）に助手として着任し、熊本栄一教授のご指導のもと、そのまま助教、准教授として在籍しました。この間、ラットやトノサマガエルの神経標本に電気生理学的な手法を適用し、痛み情報伝達の制御機構や神経伝導の抑制作用について調べました。また、生理学関連の講義や実習、教養科目などに関する卒前教育やメディカル教育、さらに留学生を含む修士、博士課程の大学院生への研究指導を通じて教育経験を重ねることができました。平成30年10月に福岡歯科大学機能生物化学講座生化学分野（化学）の教授に就任し、化学教育に携わる機会をいただきました。教育では生化学や生理学をはじめとする専門基礎科目を理解するために必要な化学的知識をしっかりと修得し

てもらえるように心がけ、研究では引き続き電気生理学的な手法を用いた痛み研究に取り組みました。その後、ご縁があつて現在に至ります。

生理学は解剖学とともに人体の構造と機能について研究する学問です。生理学では生命活動の様々な仕組みを分子レベルから臓器・生体レベルにわたって、遺伝子工学や動物モデル、さらにヒトを対象としたfMRIなど最新の科学技術を駆使して解明しようとしています。教育においても全身を扱う生理学、およびその中でも口腔、顎、顔面に関する機能を取り扱う口腔生理学は、専門基礎科目の土台となる科目であり、臨床系の科目を理解するための基盤になると考えております。共用試験や歯科医師国家試験の合格を目指した教育はもちろん重要であり注力いたしますが、さらに生体の機能をきちんと理解した上で診療にあたる歯科医師の育成を目指した生理学教育を行っていきたいと考えております。研究においては、佐賀大学に在籍していた当時から痛み関連の研究をしており、現在は口内炎の痛みに対する漢方薬の作用について電気生理学的な手法を用いて研究しております。我が国では多くの人が口腔顔面領域における様々な痛みで苦しんでおり、痛みはQOL（生活の質）の低下の要因となります。今後は口腔顔面痛に注目した研究に取り組み、痛みの発生やその伝達が種々の生理活性物質によってどのように制御されるかを明らかにすることで、有効な鎮痛薬や局所麻酔薬の開発に繋げられたらと考えております。また、私自身は電気生理学的な実験手法を用いて痛みに関する研究を行っておりますが、研究室の鍛冶屋浩講師、進正史講師が取り組んでいる骨代謝調節や歯の発生や石灰化なども多くの人々にとって重要なテーマです。研究対象にTRPチャネルなど共通するタンパク質もありますので、協働することで新しい知見が得られるのではないかと楽しみにしています。

教室員一同でより充実した教育と研究を行なうべく一層精励する所存です。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

## 「定年退職のご挨拶」



福岡歯科大学  
医療人間学講座  
言語情報学分野  
教授 壬生 正博

福岡歯科大学同窓会の皆様には、日頃よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。この度、令和6年3月31日をもって社会・基礎医歯学部門（医療人間学講座・言語情報学分野）の定年を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。就任時のご挨拶を書かせていただいてから、はや19年が経ち、「光陰如箭」を実感しております。在職中は同窓会の皆様をはじめ、本学園の先生方や学生の皆さんと本当に楽しい交流をさせていただきました。

福岡学園は、歯科大学をはじめ、看護大学、医療短期大学、医科歯科総合病院、更にサンシャインシティ、サンシャインプラザという地域社会のニーズに応じた貢献をしている機関であり、本学に勤務させていただきましたことを心から誇りに思います。本学の建学の精神に掲げてあります「教養と良識を備えた有能な歯科医師」の育成を目指し、私の担当科目の英語を通して、本学園の国際性に富んだ学生教育の発展のために努めてきたつもりではございますが、どれだけ貢献できたかたいへん心許ない次第です。

この機会をお借りして、本学に着任してからの医療人間学講座の歩みを振り返りたいと思います。

言語情報学分野では、英語の大藪勉教授が2005年3月に定年退職したのち後任として壬生が着任し、ドイツ語の大西健三講師が2006年3月に定年退職。医療倫理学分野では、水田信教授が2005年3月に定年退職したのち、荒木正見教授が着任し2007年に退職。同年9月に永嶋哲也准教授が着任し、2011年4月に教授昇任。また、医療人間学講座に医療心理学分野が2005年に設置され、総合医学講座・診療内科

学分野の稲光哲明教授と河田浩助手が併任し、両氏が退職したのち、金光芳郎教授と豊村研吾助教が着任。現在までに言語情報学、医療倫理学、医療心理学の教授3名に異動はなく、医療心理学の河田浩助手の後任として澤本良子助教が着任し、現在に至っています。また、2023年に社会医歯学部門と基礎医歯学部門が統合されて社会・基礎医歯学部門となりましたことも私にとっては大きな変革のひとつでした。

言語情報学分野では、1、2年生の Scientific English の授業で2010年より高瀬文広教授（福岡医療短期大学）が兼任講師として授業を分担。英会話 Practical English（1、2年生）では、3名の外国人非常勤講師が担当し、第2外国語として1年生にドイツ語1、2、そして2年生前期にはドイツ語講話が行われました。2013年より1年生の異文化理解、比較文化論を担当し、2018年からは新たに1年生に人文科学、2021年には4年生に Global Medical English が開講されました。4年生には特に歯科英語を中心に授業を行ってきました。また、第2外国語としてドイツ語に加えて中国語も開講されました。講座運営とは別に、学生指導の一環として英会話クラブ（ESS）の顧問もさせていただき、学生と親睦を深めることができました。

研究面では、中世イギリスの夢文学を研究題材とした異界（The Other World）をテーマに、聖書や当時の視覚芸術と関連づけながら研究を進めてきました。題材は古典文学ですが、歴史を振り返ると新たな事に気づくことができ、研究を通じて「温故知新」を実践してきました。幸いなことに、左記の研究に対して科学研究費が取得できましたことも本学に在職させていただいた恩恵だと感謝しております。

福岡学園と共に歩んだこの19年は、本当に「あっという間」でしたが、たいへん貴重な経験をさせていただき、かけがえのない財産となりました。

末筆ながら、このような栄えある機会を賜りましたことを福岡歯科大学同窓会の皆様方にあらためて御礼申し上げますとともに、皆様方の益々のご多幸とご繁栄を心よりご祈念申し上げます。

### 「教授退職のご挨拶」



福岡歯科大学・  
福岡看護大学・  
福岡医療短期大学  
地域連携センター

教授 永井 淳

福岡歯科大学同窓会の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。令和6（2024）年3月31日付で地域連携センターを退職致しますので、ご挨拶申し上げます。

私は平成7（1995）年2月に、（当時）歯周治療学と歯内療法学を担当する歯科保存学第Ⅱ講座の准教授に着任いたしました。その後の大講座制移行に伴い、口腔治療学講座歯周病学分野准教授を経て、平成25年（2013）年3月に福岡歯科大学・福岡医療短期大学地域連携センター教授に配置換えとなりました。平成29年（2017年）4月の福岡看護大学開学にともない、三大学共通機関に変更され今日に至っております。29年間にわたって、同窓会の皆様から賜りましたご指導ご鞭撻に、謹んでお礼を申し上げます。

地域連携センターは、学校法人福岡学園が有する人的・物的・知的資源を活用するとともに、地域や行政および医療・保健・福祉関係機関等との連携関係を構築し、健康長寿社会の形成および地域社会の活性化に資することを設立趣旨としております。

そこで、かねてより福岡学園が地域の自治会組織、地方自治体、歯科医師会ならびに医師会さらに近隣大学等と連携して取り組まれてきた地域貢献の実績を継承させていただき、センター長である学長の強力なリーダーシップのもと、田村校区自治協議会との共催によるコミュニティカフェ「かふえもりのいえ」運営事業、福岡市歯科医師会（早良支部）、朝倉市歯科医師会および糸島市歯科医師会の皆様をはじめ、地域企業や福岡都市圏学官産連携を通じ、

健康長寿社会の形成および地域社会の活性化に資する社会貢献活動を展開させていただきました。おかげさまで、令和3（2021）年に日経新聞社の行った「大学の地域貢献度調査」では、参加514大学中222位と、高い評価を得ることができました（日経グローバル421号、6-25ページ）。まさに、同窓会の皆様のご支援の賜物です。

また、教育活動については、「歯科医師として求められる基本的な資質・能力」を養う一般教養6科目の評価責任者を仰せつかりました。「福博の文化と歴史探訪」および「博多学」（平成27～令和5年度担当）では福岡博多の文化と歴史を代表する古社古刹、博物館、史跡等を訪問し、先駆者の活躍の歴史や「社会における医療の役割」の理解を促しました。また、「キャリアデザイン／地域医療（平成30～令和5年度担当）」、「介護施設体験実習（平成28～令和5年度担当）」は、「（医の）プロフェッショナルリズム」や「総合的に患者・生活者をみる姿勢」を履修テーマとし、要介護を生きる当事者（ご家族を含む）に寄り添うことのできる人材の育成を念頭に編成しました。「情報処理実習ⅠおよびⅡ（令和4～5年度）」につきましては、「情報・科学技術を活かす能力」の涵養と数理・データサイエンス・AI分野の内容の充実を心がけました。

さて、地域連携センター副センター長としての10年間を振り返るなかで、令和2（2020）年初めから現在にいたるコロナ禍についてふれないわけにはまいりません。「コロナ禍前」の社会貢献事業のほとんどが活動休止を余儀なくされ、しかも、自粛期間中の廃用性萎縮やフレイルが今後の課題となっております。地域連携センターは、これらの課題に向き合いながら、皆様とともに健康長寿社会を目指して歩んでまいることと存じます。

同窓会の皆様におかれましては、どうか倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。あわせて、同窓会の益々のご発展ならびに会員の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

大変お世話になり、ありがとうございました。

## 「教授就任のご挨拶」



福岡医療短期大学  
歯科衛生学科  
教授

後藤 加寿子 (21期)

福岡歯科大学同窓会の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。令和5年1月1日付けで福岡医療短期大学 歯科衛生学科 教授を拝命しました21期の後藤（藤）加寿子でございます。

1999年に福岡歯科大学を卒業後、福岡歯科大学医科歯科総合病院で研修医をしました。私は主診療科を補綴科、副診療科に小児歯科と放射線科を選択し、3科をローテーションしました。現在のような研修医制度ではなかったため、全員が研修医をするわけではなく同期の中には大学院に進学するものもいれば開業医に就職するものもありました。1年間の研修医の後、2000年に九州大学大学院歯学研究院へ進学、2004年3月に大学院を卒業しました。卒業後の進路を悩んでいた時に、研修医時代にお世話になった福岡歯科大学咬合修復学講座有床義歯学分野の高橋裕先生にお声をかけていただき、2004年4月から咬合修復学講座に入局しました。咬合修復学講座で6年間助教をした後、2010年4月に福岡医療短期大学へ准教授として異動し現在に至ります。

私が異動した頃の福岡医療短期大学は男性教員が多く、同窓の先生もほとんどが男性でしたが、現在では福岡医療短期大学の歯科医師教員は、すべて福岡歯科大学の同窓生です。松尾忠行学科長（13期）をはじめとして、力丸哲也教授（14期）、泉喜和子教授（22期）、井上庸子講師（22期）、そして今年の10月からは馬場篤子教授（12期）が福岡歯科大学より異動され、6人となりました。また歯科衛生士の教員はすべて福岡医療短期大学の卒業生です。歯科

衛生士教員の中には私が短大に異動した時に担当した学生もあり、月日が経つのはものすごく速く、私も年を取るはずだと思いました。同窓生の皆様のご息女の中にも、本学歯科衛生学科にご入学・ご卒業される機会が多くなりました。

福岡医療短期大学の3年次登院実習は、福岡歯科大学医科歯科総合病院に加え、令和元年度より福岡市内や福岡市近郊の開業歯科医院への臨床実習も行っております。前期は福岡歯科大学医科歯科総合病院で臨床実習を行い、後期は福岡歯科大学医科歯科総合病院での実習に加えて開業歯科医院の2歯科医院（1歯科医院につき8日間）で実習を行います。実習先は主に福岡歯科大学同窓の歯科医院へ受け入れてもらっております。福岡歯科大学同窓の先生方にはこの場をかりて深くお礼申し上げます。開業歯科医院での実習も今年で5年目となり、初年度は50程度の登録でしたが、現在ではありがたいことに100近くの歯科医院に登録をさせていただいております。学生は就職を見据えて事前に歯科医院をホームページなどで調べ興味がある歯科医院を実習先に希望します。毎回開業医実習を終えた学生が「とても勉強になりました」と報告してくれます。私も歯科衛生士養成機関の教員として患者に寄り添うことができる歯科衛生士を今後も育てていきたいと思っております。

まだ尚、浅学の身ではありますが、同窓会の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



## 「ご挨拶」



福岡医療短期大学  
歯科衛生学科  
教授

馬場 篤子 (12期)

同窓生の皆様、こんにちは。日頃より大変お世話になっております、12期生の馬場篤子でございます。この度、2023年10月1日付けで、福岡医療短期大学歯科衛生学科教授を拝命いたしました。この場をお借りして同窓生の皆さんに謹んでご挨拶申し上げます。

私は生まれも育ちもずっと福岡市です。金山小学校、梅林中学校、福岡県立城南高等学校を経て、昭和59年4月福岡歯科大学歯学部歯学科に入学しました。無事に平成2年3月福岡歯科大学歯学部歯学科卒業。その後、平成2年4月福岡歯科大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程（小児歯科学）に入学し、臨床は小児歯科の本川渉教授、研究は口腔生化学の阿部公生教授にご指導いただきながら4年間研究漬でした。平成6年3月博士課程（小児歯科学）を修了し博士（歯学）の学位を取得（福岡歯科大学甲第62号）致しました。ここからは臨床一筋。平成6年4月福岡歯科大学附属病院医員、平成6年10月福岡歯科大学小児歯科学講座助手、平成17年8月福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野講師、平成28年4月福岡歯科大学医科歯科総合病院病院准教授の称号を頂戴しました。令和4年3月に一人息子が44期生として福岡歯科大学を卒業し歯科医師となり、同年8月福岡歯科大学准教授に昇格。33年と5か月間、福岡歯科大学小児歯科学教室で臨床教育研究に従事して参りました。そしてこの度、色々なご縁を頂戴し現在に至っております。

私は高校時代に書道部にいましたので、自分でも何ですが、毛筆が上手な方でした。私が大学生の頃は、感謝状や表彰状は小筆で手書きをする

時代でしたので、学生課や同窓会、福岡歯科大学学会などで賞状やお祝儀袋など、宛名書きのお仕事があれば、すぐに呼ばれお手伝いをしていました。学生の頃から本館5階の同窓会室に入り浸っていたので、卒業後は同窓会室のお向かいにあった小児歯科学教室に入局。毎日、医局と同窓会室を行ったり来たりし、同窓会事務員の八木まゆみさんから、パソコンの使い方や学術講演会の企画運営、会誌の作成方法など、様々な事を教えて頂きました。彼女のおかげで今の私が居る、と言っても過言ではありません。また、同窓会初代会長の松尾康昭先生、二代目宮口巖先生、三代目吉永修先生を始め諸先輩方からもご指導頂きましたことも、深く感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。

現在、福岡医療短期大学には私を含め7名の教授がおりますが、そのうち5名が福岡歯科大学同窓生です。皆で協力し、豊かな人間性と汎用的能力を高め、時代の変化に対応できる歯科衛生士を、養成して参ります。また、2023年12月26日に、福岡医療短期大学は、厚生労働省「令和5年度歯科衛生士に対する復職支援・離職等防止推進事業（歯科衛生士技術修練部門初度整備・運営事業）」において事業実施団体に選定されました。これを受け、2024年1月31日に福岡医療短期大学内に「歯科衛生士研修支援センター」を開設し、私がセンター長を拝命致しました。歯科衛生士の求人倍率は22～25倍と非常に高く、全国的な人材不足が深刻化しています。歯科衛生士免許の取得者は全国に約30万人いますが、このうち実際に働いているのは約14万人に留まっています。育児・介護等によって離職していた人材の復職支援や免許取得直後の新人に対するフォローアップを各種関係機関ならびに関係施設等との連携の下で実施し、歯科衛生士が自信を持って働くためのサポートを行って参ります。

同窓生が誇れる母校であり続けるために、今後も『大同団結』を以って母校の発展に貢献できますよう精進して参りますので、今まで以上に皆さまのご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 「オランダでの国際小児歯科 学会での日々」



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
成育小児歯科学分野  
**熊谷 徹弥** (36期)

福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野で卒後助教の熊谷徹弥です。

2023年6月14日から6月17日までオランダのマーストリヒトで開催された「第29回国際小児歯科学会」に参加させて頂き、「Study on biofilm Inhibition effects of dentin desensitizers on enamel surfaces.」という演題でポスター発表を行いました。この発表に際して福岡歯科大学同窓会より援助を頂き参加が叶いましたことをお礼申し上げます。

発表の内容としましては、象牙質知覚過敏症で臨床応用されている知覚過敏抑制材であるケアデザインシールド® (CS 材) のエナメル質応用への可能性を検討するため、CS 材をエナメル質に応用した抗菌効果および脱灰抑制効果について研究を行い、CS 材が象牙質だけでなくエナメル質に応用した際も抗菌作用や脱灰抑制効果を発揮する事を報告しました。

今回、世界規模の大きな国際小児歯科学会に初参加となりました。まず、国際小児歯科学会の開会式

において各国の紹介があります。国際学会なので当たり前ですが欧州、南米、アフリカなど様々な国が参加しており、中でもウクライナからの参加者には一際、大きな拍手がおきました。そして、6年後の招致を目指す日本は、参加人数が多く紹介の際は盛り上がり、めでたく6年後の開催が決定しました。

学会会場においては、様々な小児歯科の器具の展示があり、CAD/CAM 冠の乳歯冠や乳歯の MTA セメントの根充材など日本ではなかなか見ない展示がとても新鮮でした。ポスター発表においても様々な症例報告がありました。オランダという国においては自転車社会であるため、どこの街にも自転車専用レーンがあり、間違っても自転車専用レーンに入るものならば、何度も自転車から警告音を鳴らされました。しかし、今回の学会で感じたことは自分の英語力のなさです。全く、発表の際の質問や日常生活において、わからないことが多くいろんな方に助けられながらの日々でした。

3年後の国際小児歯科学会には南アフリカ、その次の開催は日本での地元開催が予定であります。地元開催の際には尽力できるためには南アフリカでの学会にも参加せねばと学会の最後に誓いました。そのためには大学において臨床および研究の努力、日常生活においては英語力の向上が必要だと感じた大会でした。また、国際学会や国際交流に参加したいと感じさせる日々でした。改めて、ご支援いただいた福岡歯科大学同窓会にお礼申し上げます。ありがとうございました。



## 「第29回国際小児歯科学会 への参加」



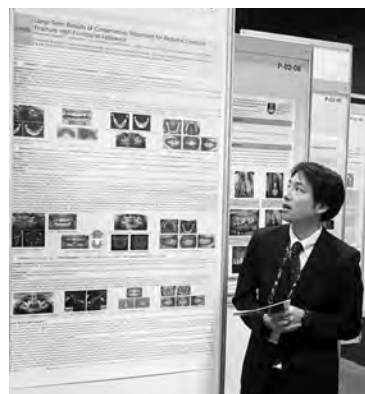
福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
成育小児歯科学分野  
大学院  
田口 雅英 (41期)

福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野で大学院4年生の田口雅英です。

2023年6月14日から6月17日までオランダのマーストリヒトで開催された「第29回国際小児歯科学会」に参加させて頂き、「Long-term results of conservative treatment for pediatric condylar fracture with functional appliance」という演題でポスター発表を行いました。この発表に際して福岡歯科大学同窓会より援助を頂き参加が叶いましたことをお礼申し上げます。

発表の内容としましては、小児の関節突起骨折に対して機能性矯正装置を顎間固定装置の代わりに使用し、長期予後が良好な3例の症例報告です。成長期にある小児の下顎骨関節突起骨折では、下顎枝の成長抑制や開口障害、前歯部開咬などを招くことがあります。特に非観血的処置においては、顎間固定による安静と開口障害を防ぐための開口訓練という相反する対応を行う必要があります、ここにジレンマが生じております。今回は、両側・片側関節突起骨折の小児に対し可撤式である機能性矯正装置を顎間固定装置として用い、下顎を前方に誘導した状態で安静を図ると同時に開口訓練を並行して行い、良好な経過を示している3例の報告を行いました。

装置の種類としては受傷後にそれぞれ咬合斜面板、フック付きリングルアーチとMandibular Growth Advancer (MGA)、止血床を上下接着させて作成したFKO型装置などを応用させた装置を作製しました。下顎位を前方に誘導した状態としたのは、顎関節部での骨折の修復に有利に働くと考えたためです。開口経路が左右対称となり、開口量を含め正常になった時点で治療を終了しております。関節突起については、正常像とほとんど同じ形態で治



発表時の写真



オランダマーストリヒトフレイトホフ広場と聖ヤンス教

癒していることが確認されています。現在、3例ともに1年半以上経過しており、開口障害や関節雑音等は認めておりません。

骨折の症状によっては適応できない症例もありますが、可撤式の機能性矯正装置を応用した顎間固定は、一般的なタイトな顎間固定と比べると経口摂取が容易な点、口腔清掃状態を良好に保つことが可能というメリットもあります。

本症例を通して、受傷後早い時期からの段階的な開口訓練は、予後を良好に導く為の大きな要素だと改めて感じる事ができました。本3症例は本学口腔外科と連携して管理を行っている症例であり、今後も両科で経過を追っていく予定であります。

## 広島県

「広島県同窓会会長  
就任のご挨拶」

広島県同窓会  
会長 西谷 展（9期）

令和5年7月の福岡歯科大学広島県同窓会総会にて県同窓会会長に就任しました西谷展にしやのぶです。平成28年（2016年）に中国支部支部長に就任していました。支部長時代には年に数回本学同窓会に出席していましたので返り咲きの気分です。支部長時代には学生時代解剖実習の時にお世話になった武井先生や補綴でお世話になった中先生等懐かしい先生にお会いできたひと時でした。小中高大の同級生に会うとすごく懐かしい感覚を覚え母校愛が増すのを感じます。しかし母校愛は全員は感じて無いようで残念です。

近年の一番の変化はコロナ禍によるWEBを利用した会議が盛んにおこなわれ機器やソフトが整ったことでしょう。当時WEBカメラの入手が困難な方も大勢おられました。それ以降もWEB会議が継続開催されており、本会においても毎月一度会長会議がWEB上で開催されています。また、広島県同窓

会としてはグループLINEを使用した情報発信を開始しています。毎月の会長会議や会長のグループラインより情報が届くと広島県同窓会のグループラインに情報を載せています。とはいえ登録者はまだ半数に達しないほどです。できればこのようなWEBを利用した情報発信が100%の会員に届くことを望みます。しかしながら対面での会議は必要不可欠でしょう。広島県同窓会でも役員会議などはWEB上で行えても総会等はやはりご足労をおかけすることになるでしょう。それにお酒を介しての「飲みにケーション」は大切にしたいと考えています。今まで主に広島市内で懇親会を開催していましたが、是非市内の先生方にも私の出身地の福山市に来ていただきたく本年の忘年会は広島から100km離れた福山で開催の予定です。

さて、前任者の村上先生は同窓会のことを第一に考え行動されていました。懇親会にも沢山の同窓生が来るようになったことをはじめ、同窓会新聞「むろみがわ」の発刊、広島県出身の学生にも接触を設け活発に活動してこられました。村上先生は学生時代から後輩の面倒見は良く、長年お世話になったことを感謝しています。先生とは同じようにとはいかないかもしれませんが自分なりにできる限り尽くしていくつもりです。

会長就任にし、監査の先生方および副会長、役員の先生方には快諾していただき大変感謝しております。今後ともお力添え頂けたら幸いです。

### —福岡歯科大学同窓会会費（本部）のお支払いをお願いします—

現在、福岡歯科大学同窓会は通算40年を経過して入会金と会費納入がなされた会員に対し、以後の会費が免除される終身会員制度が令和元年度より施行されました。過去の滞納額がある方は免除されませんので、できるだけ滞納なくお支払いをされる事をお勧めいたします。

また、同窓会では、スキルアップ等向上のため学術事業（講演会・セミナー）を企画しており、歯科医師免許取得3年以上同窓会員であれば無料で（ハンズオンセミナー除く）受講することができます。ただし、この場合も未入会及び会費を納めていない先生は対象になりません。必ず会費のお支払いをお願いします。

毎年の支払いが面倒な方や忘れがちの方は、一度分だけではなく3年・5年・10年分として纏めてのお支払いや残額一括納入のお支払いも可能です。なお、学内に勤務されている先生は同窓会事務局（本館7階）で直接のお支払いも出来ます。

福岡歯科大学同窓会の運営は、皆様が払われる会費で賄われております。何卒、皆様のご理解ご協力の程をお願い申し上げます。

会計委員会 常務理事 浦 嘉訓

## 大阪府

## 「大阪府同窓会

## 会長就任のご挨拶」



大阪府同窓会

会長 尾川 善信（5期）

同窓の先生方におかれましては、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。この度令和5年4月1日より、福岡歯科大学大阪府同窓会会長をさせて頂く事になりました5期生の尾川善信です。どうぞよろしくお願い致します。

正直申しましてまさか私が会長をする事になるとは全く思っていなかったうに、9期生の石田前会長の後を5期生の私がする事は頭の片隅にもありませんでした。しかし現在の役員の先生方からの要請を受けて、また役員の皆で支えて行くからと説得さ

れて引き受けさせて頂くこととなりました。

引き受けた限りは同窓会のため、会員のために全力でさせて頂きます。

さて、中国武漢から始まったコロナウイルスによる新型肺炎も5類相当となりコロナ前とあまり変わらぬ日常に戻りつつあるなかで、5月には総会、9月には懇親会を行いました。非対面での活動に慣れた中での懇親会は出席者数の心配をしていたのですが、多くの先生方の出席を得て盛大に行う事ができ感謝しております。ありがとうございました。

私が卒業した時と比べて縦の繋がりや横の繋がりが希薄となって来ている様な気がしております。時代の流れで仕方のない事なのかもしれませんが、その中で同窓会が一つに纏まるにはどうすれば良いか。これからの任期中の課題とし、私の尊敬する成瀬悟名誉教授、太田謙司日本歯科医師連盟会長、そして先輩方の教えを胸に、誇りを持てる同窓会にするべく誠心誠意会務運営にあたる所存です。皆様ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健康で益々ご活躍される事を祈念致しまして私のご挨拶とさせて頂きます。

## 大阪府役員名簿

|               |                                                    |
|---------------|----------------------------------------------------|
| 会 長           | 尾川 善信（5）                                           |
| 副会長（広報、福祉）    | 木下 剛一（7）                                           |
| 副会長（会計）       | 中川 晴彦（12）                                          |
| 副会長（総務）       | 中岡 俊智（12）                                          |
| 副会長（学術、医療保険）  | 藤島 輝幸（12）                                          |
| 専務理事（総括）      | 加藤 秀治（13）                                          |
| 常務理事（広報、福祉）   | 河角 禎悦（12） 本山 浩司（13） 和田 正仁（13）                      |
| 常務理事（会計）      | 渡村 武（16）                                           |
| 常務理事（総務）      | 山口 勝道（10）                                          |
| 常務理事（学術、医療保険） | 松本 憲明（12） 村山 敦（24）                                 |
| 理 事（広報、福祉）    | 永山 成大（17） 大郷 友規（24） 河原 茂仁（33）                      |
| 理 事（会計）       | 山下 国土（19）                                          |
| 理 事（総務）       | 阪口 理代（13） 立石 紀子（18） 船戸 大（25） 平井 聡（27）<br>武田 吉裕（35） |
| 理 事（学術、医療保険）  | 西脇 知弘（20） 佐々木隆成（21） 山村 高也（35）                      |
| 選挙管理委員長       | 林 義豊（5）                                            |
| 監 事           | 宮本 泰成（3） 村川 昇（10）                                  |
| 特別顧問          | 春次賢太郎（2）                                           |
| 顧 問           | 橋本 洋幸（7） 石田 哲也（9）                                  |
| 相談役           | 神谷 祐行（4） 芝池 覚（4） 西村 耕一（8）                          |
| 本部同窓会役員       |                                                    |
| 副会長           | 石田 哲也                                              |
| 常務理事          | 芝池 覚 中岡 俊智                                         |
| 理 事           | 村川 昇                                               |
| 評議員           | 加藤 秀治 竹田 具弘                                        |

## 宮崎県

「第75回九地連 in 宮崎」  
開催報告宮崎県同窓会  
専務理事

小田 瑞恵 (12期)

「第75回九州歯科医学大会に伴う福岡歯科大学同窓会懇親会 in 宮崎」を、令和5年10月21日（土）に宮崎観光ホテル3階『碧翠耀の間』にて開催致しました。今年はコロナも5類となり、4年振りに制限のない懇親会開催となりました。宮崎県独自の判断で全都府県の同窓会会長先生方にお声掛けをし、九州外からの先生方も含め、1期生から41期生までの総勢170名に及ぶ先生方にご出席していただきました。

宮崎県同窓会 水流裕二郎監事の開会の辞で、大いに賑やかな懇親会の始まりとなりました。宮崎県

同窓会 黒木康夫会長が、多くの先生方に宮崎にご参集していただいた歓迎の挨拶、続いて福岡歯科大学同窓会会長である吉永修先生より、これからの同窓会についてご挨拶いただきました。

福岡学園理事長 水田祥代先生には、大変お忙しい中ご臨席賜りご祝辞をいただきました。また福岡歯科大学学長 高橋裕先生には、現在の学生事情についてご挨拶をいただきました。

咬合修復学講座有床義歯学分野教授 都築尊先生の「福岡歯科大学同窓会の発展を願って」と乾杯のご発声にて開宴となりました。

宮崎の食材を使用した郷土料理（地鶏炭火焼や冷や汁など）やご当地自慢の焼酎などで祝宴は進み、久しぶりに会う同級生や先輩・後輩方と乾杯を重ね、笑い合う声があちこちで聞こえる大変賑やかな懇親会となりました。途中のお楽しみ抽選会では、自慢の宮崎牛ステーキなどが20名ほどの先生方に当たり歓声上がる一幕もありました。

校歌斉唱のあと、次期開催県である沖縄県同窓会会長 松島一夫先生が沖縄からの先生方とともに壇上に上がり、令和6年10月12日（土）に沖縄県で開催される九地連への案内をご挨拶され、万歳三唱し



## 府県同窓会だより

ていただきました。

宮崎県同窓会 山田俊介監事の閉会の辞で閉会となりました。

懇親会終了後は、大型バス3台に分乗し街の中へ移動、卒期別に3会場に分かれての二次会開催となりましたが、各会場こちらも大いに盛り上がったようです。宮崎県同窓会会員作成の「宮崎のせっかく夜グルメ!!」を手に、宮崎の夜の街を楽しんでいたことと思います。

最後になりますが、県外より多くの先生方に宮崎にお越しいただきましたこと、心より感謝申し上げます。他大学の先生からは、「福岡歯科大学同窓会

懇親会の出席者人数とその盛り上がり、華やかさは断トツだった!」との話を聞きました。私達も誇らしく、あらためて福岡歯科大学同窓会の団結力を再認識した夜となりました。

九州8県8年に一度巡ってくる九地連、「心のこもったおもてなし」と黒木会長のもと、開催準備に多くの宮崎県同窓会会員が協力してくれました。なかなか行き届かない点もありましたが、大盛会になったと思います。

1年後、沖縄での開催も皆さんで参加しましょう!会場でお会いできるのを楽しみにしています。会員の皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



## 「国政報告」



比嘉 奈津美（8期）

私、秋の臨時国会より参議院厚生労働委員長に就任いたしました。本委員会は、医療、社会福祉、年金、雇用、労働問題など国民生活に密接にかかわる重要事項を幅広く所管する委員会です。24名ほど所属する委員会で協議をし採決後、参議院議員全員が出席する本会議でその法案審査の経過と結果の報告を私が行い、最終採択を行い法案成立となります。委員長の責任を痛感しながら公正かつ円満な委員会運営に努めています。

また昨年12月20日には、令和6年度診療報酬改定率が+0.88と発表されました。厳しい財政状況の中で前回の改定の2倍という歯科への配分率+0.57%の財源確保はプラス改定ということで評価できるものだと思います。一方、公定価格で収入を得る我々にとっては、物価高騰、賃金上昇に対する恒常的取り組みを進めるためには十分でないとも思いますが、マイナス改定という言葉が飛び交う中、自民党の中に317名が入会している私が事務局長の「国民歯科問題議員連盟」で11月9日にその議員連盟で診療報酬プラス改定の必要性についての勉強会を行い11月30日に23名で武見厚労大臣、12月1日に26名で鈴木財務大臣へプラス改定の申入れに行きました。また、その後、医療関係職種のライセンスを持つ自民党国会議員の「カトレア会」のメンバーで総理大

臣、自民党政調会長にも申し入れてきました。このように多くの国会議員の先生方のお力添えを頂き日本歯科医師会、日本歯科医師連盟の努力で得た結果であることもご理解頂きたいものです。

そして、令和6年度歯科関連予算も7%アップすることができ今年度は、福岡歯科大学において衛生士の復職支援に対する予算も獲得することができました。診療の現場で、衛生士の足りないという問題解決に向けて1つの取り組みが動き出します。

参議院議員として2年が過ぎました。衆議院議員2期の経験も生かしこれからも歯科医師の代表として皆様の声を国政に伝えて結果を出してまいります。



本会議場



厚生労働委員会



カトレア会申入れ



第14回歯科プレスセミナー

## 福岡学園はいま

(令和4年11月～令和5年10月)

福岡学園は、教職員が一丸となって、厳しい倫理観、さらに目的意識を持ち、学生が意欲を持って勉学し、同窓生が誇れる母校を目指して参りたいと思います。

福岡歯科大学同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以下、この一年間の学園の主なトピックスをご紹介します。

### ○学校法人福岡学園第四次中期構想

学校法人福岡学園の第四次中期構想が、令和5年3月20日に開催された第178回評議会で承認され、第587回理事会にて可決されました。

第四次中期構想は、「教育の質の向上」、「研究の質の向上」、「学生の受け入れ・支援」、「社会との連携・貢献」、「組織運営」、「財務・施設整備」の6つの項目を柱とし、それぞれに具体的目標を掲げています。

期間は令和5年4月1日から令和13年3月31日までの8年間とし、定期的に進捗状況を確認するとともに、4年後を目途に、必要に応じて見直しを行うこととしています。

### ○学園役員改選

任期満了に伴う本学園の理事・監事・評議員の改選が、令和5年7月18日および8月3日に開催された理事会、評議員会で行われ、理事11名、監事2名、評議員25名が決まりました。また、理事長に水田祥代氏が、常務理事に田口智章氏が選任されました。

なお、今期より新たに新理事・評議員として江里能成氏、新監事として工藤重之氏が選任されました。



水田 祥代 理事長

### ○学校法人福岡学園・福岡歯科大学 創立50周年記念募金 実績報告

平成30年7月より開始しました「学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念募金」は、令和5年3月31日をもって募集期間を終え、寄付金の拝受を終了いたしました。皆様よりいただいた寄付金は、50周年記念事業の一環として進めてきた「50周年記念講堂」（令和4年7月完成）の建築費の一部に充当させていただきました。

ご寄付いただきました個人・法人の皆様には厚く御礼申し上げます。

#### ●募金実績額

(平成30年7月1日～令和5年3月31日ご寄付分)

1,014名 109,113,000円

### ○福岡市立高等学校（4校）と 連携協定を締結

福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学は、大学教育・高等学校教育の活性化等を目的として、福岡市立高等学校である福翔高等学校・博多工業高等学校・福岡女子高等学校・福岡西陵高等学校の4校と「高大連携に関する協定」を締結しました。この協定は相互の教育に係る交流・連携を通じて、高大連携に係る取組みの実質化を図ることを目的としています。

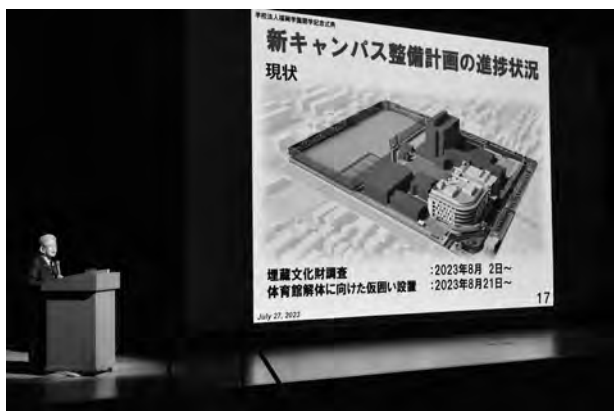


連携協定調印式

## ○学校法人福岡学園開学記念式典を 挙

令和5年7月27日、50周年記念講堂において、学校法人福岡学園開学記念式典が執り行われました。

式典には、学内外の関係者約200名が参加し、水田理事長の挨拶に続き、永年勤続者表彰、福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 最優秀教育改善賞表彰、福岡歯科大学・福岡看護大学特待生表彰、福岡医療短期大学特別奨学生表彰、研究優秀賞表彰等が行われました。



開学記念式典

## ○口腔医療センターが移転

医科歯科総合病院のサテライトセンターとして博多駅前に平成23年12月に開院した口腔医療センターが、入居ビルの老朽化に伴い令和5年2月末で博多駅前での診療を終了し、3月末に医科歯科総合病院内に移転しました。

令和5年4月からスタッフは医科歯科総合病院の歯科専門診療科の歯科医師・歯科衛生士として診療

等に従事しています。なお、口腔医療センターに通院していた患者さんについては、福岡市営地下鉄七隈線が博多駅まで延伸し、全線開通したこともあり、医科歯科総合病院への案内を行い、引き続き診療を継続しています。



口腔医療センター

## ○地域連携 「健康まると福岡学園」を開催

令和5年10月14日、15日の両日、福岡学園にて「健康まると福岡学園」を4年ぶりに開催しました。両日とも天候に恵まれ、2,700人を超える来場者で賑わいました。田の歯科祭・からだの科学展・地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム等の様々な催しが行われ、数多くの地域住民の方にご参加いただきました。



田の歯科祭



からだの科学展

## ◆福岡歯科大学◆

### ○ホームカミングデーを開催

令和5年6月18日、同窓生ならびにそのご家族を対象としたホームカミングデーを開催しました。50周年記念講堂にて開学からの歴史を高橋大学長がスライドを用いて振り返り、その後、大学、病院などの施設を見学しました。参加者からは「自分たちが卒業してからの歴史を感じました」、「新しい施設に驚きながらも、懐かしくもあり、楽しかったです」との声をいただきました。



施設見学の様子

### ○第116回歯科医師国家試験

令和5年3月16日、厚生労働省から第116回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者は3,157名で、合格者は2,006名でした。福岡歯科大学からは新卒者80名、既卒者111名、計191名が受験し、新卒者36名、既卒者39名、計75名が合格しました。

### ○生涯研修の充実

福岡歯科大学では歯科医師等の資質の保持・向上に向けた研修を積極的に開催しています。

令和4年度は、「歯周組織再生療法セミナー」「スケーリング・ルートプレーニングセミナー」「睡眠時無呼吸マウスピース治療実践セミナー」「口腔インプラント初級講習会」の4つのプログラムを実施し66名の方が参加されました。

令和5年度は、「摂食嚥下リハビリテーションに役立つ知識」「歯周組織再生療法セミナー」「スケーリング・ルートプレーニングセミナー」等を実施・計画しております。

今後も、歯科医学・歯科医療の進展や社会環境の変化に対応し、社会のニーズに応えることの出来る歯科医師等の育成・支援を目指して、様々な生涯研修を開催しますので、是非ご参加ください。



生涯研修

### ○国際交流

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本学から協定締結校への訪問は中止いたしました。

## ◆医科歯科総合病院◆

### ○病院機能評価を受審

令和5年4月20日、21日に病院機能評価を受審しました。病院機能評価は、組織全体の運営管理および提供される医療について、公益財団法人日本医療機能評価機構が中立的・科学的・専門的な見地から評価を行うものです。

当院では、これまで5年ごとに3度の認定を受けており、今回が4度目の受審となります。

評価調査者（サーベイヤー）からの質問に対し、各専門領域（診療管理、看護管理、事務管理）のチームが回答しました。新病院において初めての受審となった今回、新しい体制での病院機能を再確認することができました。



調査の様子

### ○地域連携

令和5年6月4日、福岡県歯科医師会館等において、「第45回福岡市民の健康を歯と口から守る集い」（福岡市歯科医師会主催）が4年ぶりに開催となり、歯を含めたお口と全身の健康についての啓発イベントが実施されました。本院から歯科医師・歯科衛生士が参加し、「歯と口とからだの健康よろず相談」、「口腔外科・口腔がん相談」のコーナーでは参加者のお口に関する悩みに丁寧に回答しました。

また、今年度はソラリアプラザ1階のイベントスペースにも会場が設けられ、口臭予防などお口の健康に関する情報をポスターで紹介しました。



福岡市民の健康を歯と口から守る集い

### ○呼吸器・循環器内科を開設

福岡歯科大学医科歯科総合病院では、医科と歯科が連携して地域医療に貢献することを目指しており、新たに呼吸器・循環器内科を令和5年4月1日に開設しました。呼吸器・循環器内科では、各分野の専門医が呼吸器疾患および循環器疾患の診断と治療を行います。



医科歯科総合病院待合室

## ◆福岡医療短期大学◆

### ○第32回歯科衛生士国家試験

令和5年3月24日、厚生労働省から第32回歯科衛生士国家試験の結果が発表されました。全国の受験者は7,470名で、合格者は6,950名でした。歯科衛生学科からは新卒者40名、既卒者4名、計44名が受験し、合格者は計39名でした。

今回も昨年同様、国家試験対策として国試問題集の出題範囲を限定した演習試験を実施し、各回の成

績不振者に対して、放課後と土曜日に補習を行いました。また、演習ならびに模擬試験の成績不振者には冬期休暇中はもとより、国家試験直前まで特訓補習を実施しました。

### ◆人 事◆

(令和4年11月1日～令和5年10月31日)

#### ■新役職教員等紹介

##### ●福岡医療短期大学・大学長

福岡医療短期大学長の任期が令和5年3月31日で満了となることに伴い、令和5年2月21日開催の第585回理事会の議を経て、田口智章氏の再任を決定しました。



田口 智章 福岡医療短期大学長

##### ●福岡看護大学・大学長

福岡看護大学長の任期が令和5年3月31日で満了となることに伴い、令和5年1月26日に開催された第584回理事会の議を経て、樗木晶子氏が福岡看護大学長に選任されました。



樗木 晶子 福岡看護大学長

##### ●福岡歯科大学新役職教員

令和5年2月21日に開催された第585回理事会において、大学運営の中核を担う役職教員が次の通り決定しました。

###### 【病院長】

坂上 竜資〔歯周病学分野・教授〕

###### 【学生部長】

稲井哲一朗〔機能構造学分野・教授〕

###### 【情報図書館長】

大星 博明〔内科学分野・教授〕

###### 【口腔・歯学部門長】

城戸 寛史〔口腔インプラント学分野・教授〕

###### 【全身管理・医歯学部門長】

池邊 哲郎〔口腔外科学分野・教授〕

###### 【社会・基礎医歯学部門長】

日高 真純〔分子機能制御学分野・教授〕

##### ●医科歯科総合病院・副病院長

令和5年2月21日に開催された第585回理事会において、医科歯科総合病院副病院長が次の通り決定しました。

※都築 尊教授、古村南夫教授は任期期間中のため、継続

###### 【副病院長（医療安全・危機管理担当）】

樋口 勝規〔客員教授〕

###### 【副病院長（診療支援部門担当）】

中畑 高子〔客員教授〕

##### ●福岡医療短期大学・歯科衛生学科長

令和5年1月26日に開催された第584回理事会において、福岡医療短期大学歯科衛生学科長が次の通り決定しました。

###### 【歯科衛生学科長・教務主任】

松尾 忠行〔歯科衛生学科・教授〕

## ■新教授紹介

【令和4年12月1日付】



北尾 洋之 教授

きた お ひろゆき  
北尾 洋之

〔口腔医学研究センター・教授〕  
京都大学理学部卒。同大学大学院理学研究科博士課程修了。米国ハーバード大学博士研究員、川崎医科大学医学部助手、広島大学原爆放射線医科学研究所、京都大学放射線生物研究センター、九州大学大学院医学研究院准教授、同薬学研究院教授を経て、令和4年12月1日、福岡歯科大学口腔医学研究センター教授に就任。博士（理学）。

【令和5年1月1日】



後藤 加寿子 教授

ごとう かずこ  
後藤 加寿子

〔福岡医療短期大学歯科衛生学科・教授〕  
福岡歯科大学歯学部卒。九州大学大学院歯学府歯学専攻博士課程修了。福岡歯科大学附属病院医員（補綴・入れ歯科）、同大学咬合修復学講座助教、福岡医療短期大学歯科衛生学科准教授を経て、令和5年1月1日、同学科教授に昇任。博士（歯学）。

【令和5年4月1日付】



森田 浩光 教授

もり た ひろみつ  
森田 浩光

〔障害者歯科学分野・教授〕  
九州大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科博士課程修了。日本学術振興会特別研究員（PD：九州大学大学院医学研究院・米国バーモント大学医学部）。九州大学病院助手、助教、診療講師、福岡歯科大学総合歯科学分野准教授、同大学医科歯科総合病院教授、同病院訪問歯科センター長、同大学訪問歯科センター教授、同大学総合歯科学講座主任教授

を経て、令和5年4月1日、同大学成長発達歯学講座障害者歯科学分野教授に就任。博士（歯学）。

【令和5年10月1日付】



馬場 篤子 教授

ば ば あつこ  
馬場 篤子

〔福岡医療短期大学歯科衛生学科・教授〕  
福岡歯科大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程（小児歯科学）修了。同大学小児歯科学講座助手、同大学

成長発達歯学講座成育小児歯科学分野講師、同大学医科歯科総合病院病院准教授、同大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野准教授を経て、令和5年10月1日、福岡医療短期大学歯科衛生学科教授に昇任。博士（歯学）。

## ■採用

【令和5年3月1日付】

柳 絢子〔総合歯科学分野・講師〕

【令和5年4月1日付】

飯森 真人〔口腔医学研究センター・任期付き教員（准教授）〕

【令和5年6月1日付】

天野 郁子〔障害者歯科学分野・講師〕

【令和5年9月1日付】

益崎 与泰〔高齢者歯科学分野・講師〕

## ■任命等

【令和5年4月1日付】

石橋 慶憲〔事務局・局長〕

## ■昇任

【令和4年12月1日付】

今井 裕子〔訪問歯科センター・准教授〕

林 道夫〔生化学分野（化学）・准教授〕

橋口 一成〔生化学分野・准教授〕

永尾 潤一〔感染生物学分野・准教授〕

【令和5年2月1日付】

林 慶和〔機能構造学分野・講師〕  
内藤麻利江〔口腔健康科学分野・講師〕

【令和5年3月1日付】

岡本富士雄〔細胞生理学分野・准教授〕

【令和5年4月1日付】

梶本 昇〔生体工学分野・講師〕

【令和5年10月1日付】

森 沙耶香〔歯科衛生学科・講師〕

## ■新任客員教員

【令和5年4月1日付】

比嘉奈津美〔客員教授〕

## ■新任臨床教員

【令和5年4月1日付】

大野 知子〔臨床教授〕  
久保 至誠〔臨床教授〕

## ■配置換等

井上 庸子〔歯科衛生学科・講師〕  
藤木 明〔福岡学園 内部監査室（併 地域連  
携センター事務室）・室長〕

## ■定年退職

小島 寛〔障害者歯科学分野・教授〕  
大野 純〔口腔医学研究センター・任期付き教  
員（教授）〕  
岡本富士雄〔細胞生理学分野・准教授〕  
横大路智視〔病院事務課・課長〕

## ■退職

【令和5年3月31日付】

窪田 恵子〔福岡看護大学・大学長〕  
井手 孝行〔事務局・局長〕

【令和5年8月15日付】

藤井 裕樹〔内科学分野・講師〕

## 「学生後援会会長挨拶」



福岡歯科大学  
学生後援会会長  
**古田 洋介**（17期）

同窓の皆様こんにちは。

令和5年度より学生後援会会長を引き継ぎました17期卒の古田洋介と申します。

同窓会の先生方におかれましては、日頃より同窓会活動に大変な御尽力を頂きありがとうございます。

また、学生後援会活動におきましても、日頃より、様々なアドバイスや御協力を頂き感謝しております。

さて、学生後援会は1973年、福岡歯科大学の開学と同時に学費負担者と大学との連携を密にして、福岡歯科大学を後援し、学園の発展向上に寄与すること、及び学生・教職員の福利厚生を援助することを目的で結成されております。

私も含めて、現在我が子を在学させている父兄の立場から言えば、子供達の充実した学校生活と教育の達成に向かって日夜励んでおられる大学の先生方やその関係者に協力し、支援させていただくことだと認識しております。

その結果、子供達が順調に進級し、医療人としての準備が出来、ストレートで国家試験に合格出来れば、何も言うことはありません。

また、そのような良い状態が継続されて行けば、我々の母校に対する誇りと信頼は益々深まり、結束力もさらに強くなって行くことでしょう。

そして、これから歯科医師を目指す子供達やその御父兄にも、母校への進学を、安心して推薦することができます。

しかし現実はそのようなやさしいことではないことは周

知の通りです。

その様なことを踏まえた上で、学生後援会は、在学生および御父兄の御意見、御要望を大学側に伝えるだけではなく、話し合い、協力し合いながら問題の改善に繋げて行きたいと考えております。

同時に我々父兄側もまた、全てを大学側に任せるのではなく、日頃からご子息の生活や教育カリキュラム等に注視し、現状を把握し、叱咤激励しながら上手に導いて行かなければ、順調に進んでいくのは困難な状況になっております。

ほのぼのとした学生生活の中で、普通に頑張っさえいれば歯科医師になれた我々の時代とは随分変わったなと思いますが、この現実を受け入れるしかありません。

学生後援会は今後さらに、同窓会や大学と協力しながら、少しでも在学生や御父兄のお役に立ちたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

### —令和6年能登半島地震について—

本年1月1日に能登半島を中心としたエリアで地震が発生しました。本同窓会で調査しましたところ、以下の先生が被災されております。安否については、避難されてご本人は無事です。同窓会からはお見舞いをお送りさせていただきました。

現在も被災地では余震が断続的に発生しており、多くの方が不安な時を過ごされていることと存じます。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。被災された皆様が一日も早く元の生活に戻ることが出来ますよう、心より願っております。

地震についての同窓生の安否に関わる情報をご存じの方がおられましたら同窓会事務局までお知らせ下さい。

記

永井 洋 先生（1期）石川県輪島市

厚生福祉常務理事 俣野正仁（5期）

## 「健康まるごと福岡学園」 第46回田の歯科祭を終えて」



福岡歯科大学  
総務委員長

森 亮太（5年）

はじめに、今年度の「田の歯科祭」はコロナ明けで四年ぶりの開催になったにも関わらず、福岡歯科大学同窓会のみなさまをはじめとする様々な方面からのご支援により、大変賑やかなものとなりましたことを厚く御礼申し上げます。

私は大学1年の時に学園祭に参加して以来、実行委員自体も初めての経験のなかでの四年ぶりの学園祭でしたので、今まで見えなかった学園祭の運営の難しさと楽しさを感じることができました。模擬店における各部活との連携や芸人さんの事務所との連絡など、学園祭に関わる様々な方々に連絡を欠かせない事に難しさを感じました。それと同時に、学園の会議に出席し先生方や学園職員の方と接する機会が多くなり、「組織」というものを意識するきっかけとなりました。物事を進める上で、委員長としての責任を持ち行動することの大切さを知りました。



さて、今年度は例年に比べて引き継ぎ資料に頼らない形で、学園祭を計画する流れになりました。全ての物事において時期やタイミングがわからない状態で学務課の方と連携して作り上げていくことで今までにない学園祭になりました。そんな中でも模擬店やステージに関わる地域の方々との連絡や、部活対抗のレクリエーションの準備、時間の調整、景品等の買い出しなど、私が何も言わずとも積極的に仕事をこなしてくれた実行委員のメンバーに感謝してもしきれません。しかし、久しぶりの開催だからこそ、ゴミ処理や学園祭の進行などで様々な課題も浮き彫りになりました。今年やってみて準備不足だったところは来年実行委員をやってくれる後輩たちに引き継いで行こうと思います。

私は今年度の田の歯科祭、また実行委員長という経験を通して学んだことがありました。それは同じ



クラブ対抗パフォーマンス

チームの仲間を頼ることの大切さです。今までは部活動などでやらなければならないことをなんでも一人で抱え込んでやるが多々ありました。なので実行委員のみんなに仕事を任せることに迷いがありましたが、みんなで作業することによって自分自身の重荷はもちろん軽くなり、実行委員のみんなの尽力のおかげで、田の歯科祭の準備を円滑に進めることができました。

今回の実行委員は元々仲のいい友人の集まりで結成されました。新しくInstagramの公式アカウントを開設し、芸人さんやビンゴの景品の紹介など、実行委員による広報活動をSNSを利用して行いました。難しいことも楽しいこともありながら自分の成長へとつながる大きな経験ができたことに感

謝しております。実行委員のメンバー、学園教職員、地域のみなさま、ご来場のみなさま、ありがとうございました。



クラブ対抗パフォーマンス

## 広報からのご案内

広報委員会では次年度同窓会誌『背振43号』に向けて企画中です。

つきましては、下記の通り募集しています。自薦他薦は問いませんので、是非ご一報下さい。

1. **学位取得者** 今まで取得された先生で、会誌に掲載されていない方、本学以外で取得された方等。お知らせ頂きたい内容は下記の通りです。

①学位論文題目 ②取得年月日 ③学位専攻（所属・取得校）④学位番号（甲・乙別）⑤顔写真1枚

2. **巻頭フォト募集** 表紙の写真を募集しています。風景・植物・動物・抽象的な物、感動した物など何でも結構です。尚、その写真のコメントも一言お書き添え下さい。

3. **原稿募集** トーク、支部報告、OB会、個人の趣味・近況・旅行等、学会報告、結婚報告、開業報告等、何でも結構です。また、その原稿に因んだスナップ写真等も同封して頂ければ幸いです。どしどしご応募下さい。（最後尾の原稿用紙をご利用下さい。）

※お送り頂いた写真はお返し致します。

連絡先 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学同窓会事務局まで

TEL/092-863-2966 FAX/092-863-2967 E-mail : dousoukai@fdcnet.ac.jp

## 「(父) スキー部、(娘) サッカー部」

伊藤 天音 (45期)

今春、無事に歯科医師国家試験に合格し、前期は先輩であり父の友人でもある先生の元で、後期は本学の補綴科で研修をしています。

4、5、6年生の3年間は新型コロナウイルス感染症の影響で対面授業が受けられない、部活動停止、登院実習中止など様々な制限の中での学校生活でしたが、友人と沢山笑い、部活ではサッカー部に所属してOB OGの先生方に支援していただきながら先輩や後輩と活動し、周りの人に恵まれ充実した6年間で過ごすことができました。決して楽しいことばかりではなく、定期テスト、CBT、国家試験に向けての勉強は苦しくて夜中に半泣きで友人に電話をかけたこともありましたが、今振り返ればいい思い出です。

指導してくださった先生、アドバイスをくださる先輩、応援してくれる家族、そしてなにより楽しいことも辛いことも共有し、支え合って一緒に頑張ってくれる友人がいたから学校を卒業しこうして歯科医師になることができました。

長いようで短かった福岡歯科大学で過ごした時間、経験全てが私にとってかけがえない宝物です。

これからも周りの人への感謝を忘れず、立派な歯科医師になれるよう日々努力していきたいです。

伊藤 恒一 (2期)

福岡歯科大学同窓会の皆様こんにちは、2期生の伊藤恒一です、今年の春に次女天音が先生方の熱心な御指導とサッカー部の仲間や同級生の友情に包まれて無事国家試験に合格させて頂きました。勿論本人の努力は40年以上前の国家試験で合格した我々の想像以上のもので有ったと感じています。私は卒業後地元岐阜県に戻り開業しましたが研修後の娘との事を考えると、同窓や地元の親子で一緒に治療している歯科医院をみると他人同士より親子の方が難しいようですが私は同じ診療室で治療出来る事を希望しています、開業して40年以上の経験は大学では学べない事が沢山あります、是非一緒に治療しながら学んで欲しいと思いますが果たして娘の考えはどうでしょう。



後期の研修先の父と同期の茨木市、朝倉歯科にて。

## 「ありがとうございます」

大城 裕太郎 (43期)

私は今春、歯科医師国家試験に合格し、母と同じ歯科医師になりました。

学生時代は、先生方に何かとご迷惑をお掛け致しましたが、同期の友人や、部活のみならず多くの先輩・後輩の支えのお陰で充実した学生生活を送ることができました。本当にいい方々といい場所に恵まれたお陰でここまで頑張れて来れたのだと思っています。

福岡歯科大学医科歯科総合病院総合歯科米田教授のご指導のもと、研修医として研鑽を積んでいる現在も、母校の利を活かして所属科を越えた多くの先生方に質問・相談し、アドバイスを頂いています。一歩ずつではありますが、歯科医師としては勿論、人としても成長できるよう努めています。

これからの歯科医師人生は、母や先輩方に負けないくらい立派な歯科医師になって、今までお世話になった方々に成長した姿を見て頂けるよう精進していきます。



2017年デンタル3位



大城 希美子 (29期)

福岡歯科大学三十年史に載せて頂いた「二度目の学生生活」に、「将来は、息子に胸を張って『母さん頑張ったのよ』と言えるようにありたい」と書きました。あれから二十有余年。果たして私は胸を張れるのか、この機に考えてみました。頑張ったことも足りないこともある中で、後押し下さっているたくさんの方々を再認識しました。総じて人に恵まれてきているというのが実感です。学生時代から歯周病科入局後の現在に至るまで、諸先生方や同僚、年の離れた友人からの心温かい応援を今も頂いています。

息子が歯科医師になるなぞ夢にも思っていなかったのに、本学に入学し、どうなることかと案じていました。期せずして息子を書いた左記と内容が被ってしまいましたが、有難いことに息子も諸先生方や先輩、優秀な同級生に恵まれています。20年以上在籍している私よりも遥かに馴染んだ様子で楽しい学生生活を送った息子が、今春、歯科医師としてのスタートラインに立つことができました。

皆さまからのお力添えを頂いたお陰で、親子共に能力・努力以上に至ったことを有難く、ここに在籍していることを誇らしく思っております。また、息子を歯科医師の道へと導き支えて下さった皆様に感謝しかありません。ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

これからは、歯科医師となった息子が胸を張って「頑張ってるよ」と言ってくれるのを楽しみにしています。

## 「親子で大感謝！」

松浦 京香（44期）

私は今春、無事に歯科医師国家試験に合格し、今は研修医として日々の生活を送っています。

学生時代は、友人と遊んだり趣味に没頭したりと、何気ない幸せに囲まれながら淡々と毎日を過ごしていました。

しかし、4月から研修医となり今までの生活とは大きく変化しました。臨床の場に長くいなかった私は、初めて経験すること、わからないことばかりで自分の無力さに呆れてしまう日々です。

父はよく、家族に行く治療を患者さんに出来る歯科医師になりなさいと言っていました。父は何よりも患者さんの幸せを1番に考え、変化を恐れず常にアップデートしており、歯科医師としても本当に尊敬出来る存在です。

今こうやって歯科医師ができてるのは、ずっと支えてくれた家族、先生方、友人がいてくれたからだと思っています。これからは日々学ぶ姿勢を持ち続け、一人前の歯科医師となって、お世話になった全ての方々に恩返しをしていきたいと思っています。



松浦 明（11期）

11期生の松浦明です。

大学、同窓会には大変お世話になっています。ありがとうございます。

実は長男が卒業した際にも投稿させていただきまして、2度目になります。

長男は一度帰ってきましたが、残念ながらまた旅に出ていきました。

親子で一緒にやるってなかなか難しく、人生と一緒にですね。

次女が今年国家試験に合格したことは、我が家の今年一番のハッピーニュースです。

幸い三女も言語聴覚士になりまして、すべての子供たちが社会人になりました。

60歳前にして、やっと子育てが終わり夫婦でほっとしています。

次女の京香は、一番手がかからない娘で、とてもおりこうさんでした。

2度国家試験に落ちましたが、頑張り屋で今年合格したことをとても誇りに思います。

現在研修中で、四苦八苦していますが素晴らしい歯科医師になってくれることを信じています。

世間は大変な局面に向かっていますが、我々同窓生は、特に開業医の皆様は子供たちの明るい未来を創るためにより一層挑戦しなければいけません。

学術じゃ生活できない時代になりました。経営、教育をしっかりやっていきます。

子供たちは親の手を離れましたが、彼女たちの世代をしっかり教育する義務感をもって、今後とも診療、経営に励んでいきたいと思っています。

名門福岡歯科大学の名に恥じぬよう今後も精進していきます。

親子で同窓生、最高です。ありがとうございます。

## 昇格



令和5年2月1日  
福岡歯科大学  
口腔保健学講座  
口腔健康科学分野・講師  
  
内 藤 麻利江 (34期)

令和5年2月1日付で口腔保健学講座口腔健康科学分野の講師に任命されました。母校に貢献できるよう教育・研究・臨床に日々精進していく所存です。

今後とも同窓会の諸先生方をはじめ、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年3月1日  
福岡歯科大学  
総合歯科学講座  
総合歯科学分野・講師  
  
佐 藤 絢 子 (34期)

令和5年3月1日付で総合歯科学講座総合歯科学分野の講師を拝命いたしました。

教育、研究、臨床の更なる発展に貢献できるよう、日々精進して参ります。今後とも同窓会の諸先生方をはじめ、皆様のご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。



令和5年6月1日  
福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
障害者歯科学分野・講師  
  
天 野 郁 子 (29期)

令和5年6月1日付で障害者歯科学分野の講師に任命されました。障害者歯科センターで地域医療に携わった経験をもとに、障害のある方が必要な歯科医療を受けられる共生社会の実現に向けて、後進の教育、診療、研究に尽力していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

❖❖❖❖❖❖❖❖ 本学学位取得者（甲） ❖❖❖❖❖❖❖❖



福岡歯科大学  
総合歯科学講座  
総合歯科学分野

山 本 繁（39期）

博士（歯学）（甲第341号）

令和5年3月11日

学位論文題名

Maillard reaction product of rare sugar allulose decreases bacteria-derived and chemically-prepared hydrogen sulfide

（希少糖アルロースによるメイラード反応生成物の細菌由来及び化学的な硫化水素減少効果について）



福岡歯科大学  
総合歯科学講座  
総合歯科学分野

吉 田 瑞 姫（40期）

博士（歯学）（甲第343号）

令和5年3月11日

学位論文題名

Etoposide-induced cellular senescence suppresses autophagy in human keratinocytes

（エトポシドによる細胞老化はヒトケラチノサイトのオートファジーを抑制する）



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
成育小児歯科学分野

田 平 和 久（39期）

博士（歯学）（甲第344号）

令和5年3月11日

学位論文題名

Functional evaluation of mineral trioxide aggregate cement with choline dihydrogen phosphate

（リン酸二水素コリン添加MTAセメントの機能性評価）

# 本部会務報告

## 令和4年度 定時評議員会・総会報告

令和5年6月17日電気ビルにて、令和4年度福岡歯科大学同窓会 第59回定時評議員会、第45回定時総会が開催されました。

定時評議員会は、鹿児島県同窓会の要光評議員が議長、長崎県同窓会の渡邊知英評議員が副議長に選出され、7議案すべてが可決されました。



比嘉奈津美特別講演「歯科界の未来のために」

- 第1号議案 令和4年度福岡歯科大学同窓会事業報告・収支決算書について
- 第2号議案 特別会計令和4年度福岡歯科大学同窓会特別支援事業報告・収支決算書について
- 第3号議案 令和5年度福岡歯科大学同窓会事業計画（案）について
- 第4号議案 令和5年度福岡歯科大学同窓会収支予算（案）について



### ①一般会計 ②特別会計

- 第5号議案 特別会計令和5年度福岡歯科大学同窓会特別支援事業・収支予算（案）について
- 第6号議案 令和5年度会費免除の承認について
- 第7号議案 福岡歯科大学同窓会創立50周年記念事業準備特別委員会の設置について

その後、定時総会が開催され、終了後、参議院議員で母校8期卒の比嘉奈津美先生から、「歯科界の未来のために」というテーマで講演会が行われました。

昨年までは、評議員会の後、総会で同じ内容を再び行っておりましたが、今回は初の試みとして、評議員から事前質問を受け付け、総会当日は一般会員も評議員会にオブザーバー参加を可能として評議員会・総会全体の所要時間の短縮を図りました。

終了後、ホテルニューオータニ博多にて懇親会を開催して盛況の内に終了しました。

会員の先生方のご協力に感謝申し上げます。

専務理事 江藤ゆかり（12期）



## 第70回全国歯科大学歯学部 同窓会校友懇話会



会議の様様

令和5年11月18日（土曜日）一般社団法人東京医科歯科大学歯学部同窓会の当番校にてホテルオークラ東京で第70回全国歯科大学歯学部 同窓会校友懇話会が開催され、各大学3名から5名程度の出席があり、福岡歯科大学同窓会からは吉永修会長、江藤ゆかり専務理事と私にて参加して参りました。

東京医科歯科大学歯学部同窓会、専務理事 齊藤馨先生の司会で始まり、同会副会長 三上周二先生の開会の辞、同会会長 浅野正樹先生の当番校挨拶、日本歯科医師会副会長 蓮池芳浩先生、日本歯科医師連盟副会長 村上恵一先生、東京医科歯科大学学長 田中雄二郎先生の来賓挨拶及び、東京都歯科医師会会長 井上恵司先生、東京医科歯科大学歯学部長 依田哲也先生の来賓紹介の後、報告、協議に移りました。

報告事項といたしましては、卒後、10年程度の若手同窓会員に対し、同窓会として何か特別な優遇措置などをされていればとの事前質問に対し、16校が会費の減免、学術講演会の割引などを行っており、今後、各校の優遇内容を精査し、母校同窓会会員の役に立てればと考えております。

協議事項については、次期当番校に神奈川歯科大学同窓会が選出承認され、神奈川歯科大学同窓会会長 大館満先生よりご挨拶、東京医科歯科大学同窓会副会長 中村勝文先生より閉会の辞にて懇話会を終了いたしました。

その後、「超高齢化、人口減少社会を見据えて」



村上日本歯科医師連盟副会長と  
吉永会長、江藤専務理事、私（中岡俊智）



大島事務次官と吉永会長

と言うテーマで、厚生労働省事務次官、大島一博先生の特別講演がありました。内容につきましては、紙面の都合上、割愛させていただきますが、総会、懇親会などで、個別に会員の先生方にお話し出来れば幸いです。

尚、日本歯科医師連盟副会長 村上恵一先生より、11月10日の選考委員会では、全会一致で我々の同窓会であります参議院議員 比嘉奈津美先生が次期参議院選挙の歯科の職域代表に決定したとの報告があり、12月7日の評議員会で最終決定した後には、力強い協力を全大学歯学部同窓会にお願いに上がる事を壇上にて発表されました。その為にも、先ずは福岡歯科大学同窓会が色々な利害関係を振払い、一丸となって歯科界の為に協力して欲しいとのお言葉も賜っております。

又、余談ではありますが、吉永同窓会会長は大島厚生労働省事務次官とも旧知の中で、講演後は我々同窓会と福岡歯科大学の宣伝応援も精力的にして頂いた事も付け加えて報告しておきます。

総務常務理事 中岡俊智（12期）

## 比嘉なつみ報告

同窓生の皆様こんにちは。今回、比嘉奈津美先生の後援会組織である「なつみの会」についての原稿の依頼を受け、現状について報告させていただきます。

既にご承知の先生方もいらっしゃると思いますが、まずは比嘉奈津美先生のプロフィールについてです。先生は福岡歯科大学の8期生として卒業(1986年)、卒後沖縄県の離島久米島にて勤務を経て、地元沖縄市でなつみ歯科医院を開業。開業医として忙しい中、カンボジアへの歯科医療ボランティア活動をはじめ、歯科医師会においても全国で初めての女性の歯科医師会副会長として活躍されました。そのような功績が認められ、2012年12月第46回衆議院選挙において沖縄第3選挙区から立候補し当選。衆議院議員を2期務めました。3期目は果たすことが出来ず。その後2019年7月の第25回参議院議員通常選挙において日本歯科医師連盟の支援を受け立候補しましたが次点。2021年10月繰り上げ当選にて参議院議員として現在に至っております。

衆議院議員の2期目には環境大臣政務官を務め、現在参議院においては厚生労働委員会委員長(令和5年10月)としての議員活動中です。

また日本歯科医師連盟の顧問として我々歯科医師の代弁者として、国政の場において歯科医療の重要性について伝え、「歯科界みんなの笑顔のために!」全国のデンタルファミリーが安心して診療できるよう東奔西走し全力で頑張っております。また、令和7年に行われる次期参議院選挙においても組織代表として立候補予定です。

このように歯科界のために議員活動中の比嘉先生を、同窓会が中心となって応援したいとの思いで2022年5月に「なつみの会」を立ち上げました。現在(2023年12月)サポーターを含めた会員数が1,867人で、継続して会員及びサポーターを募集しているところです。比嘉先生を応援していただける方であれば、どなたでも入会可能でございます。

国政の場で歯科界のために頑張っている同窓生を、一丸となって支えていきましょう。

松島一夫(8期)

## 学術事業報告

### ●第35回学術講演会



白石和仁先生



企業展示

第35回同窓会主催学術講演会を、2022年7月に完成した50周年記念講堂にて開催いたしました。

福岡歯科大学開校50周年を迎え、「これまでの50年、これからの50年を考える歯科医療」をメインテーマに企画いたしました。福岡歯科大学卒業の著名な4名の講師に、それぞれのテーマから「卒業して何を学び、何を重んじて歯科臨床を研鑽され、歯

科医療が行われているのか？」をご専門の立場からご講演していただきました。当日は約180名の先生方の参加があり、会場に出来ない方のために後日オンデマンド配信もしました。

歯周治療のパートで白石和仁先生（9期）に「Challenging periodontal regenerative therapy for severe case」、インプラント治療のパートで城戸寛史先生（6期）に「欠損補綴治療の進歩と未来」、包括歯科治療のパートで上田秀朗先生（5期）に「咬合再構成を極める歯列不正、歯周疾患、多数歯欠損を読み解く」、精密歯科治療のパートで松永興昌先生（16期）に「今、必要とされる精密歯科診療の必要性、感覚治療から確認治療による臨床経験の研鑽」という演題でそれぞれの演者に講演していただきました。また、当日は新医科歯科総合病院の見学ツアーも開催され、盛況のうちに幕を閉じました。

坂田憲彦（20期）

## ●2023年度臨床スキルアップセミナー



第1回『咬合基礎理論と臨床的与え方』



第2回『審美性を考慮した実践補綴』



第3回『インプラント治療の現状と到達点』



第4回『最期まで関わる歯科医療～歯科訪問診療の今～』

平素より福岡歯科大学同窓会活動にご協力、ご理解賜り誠にありがとうございます。

社会も少しずつコロナ前のように活気が戻り、我々学術員も以前にまして活発な発信ができるよう引き締め、盛り上げていこうと思います。

2023年度の同窓会主催臨床スキルアップセミナーは久しぶりのリアル開催となり、現地で顔を向き合わせ、空気感を感じながら以前と同じ状況を取り戻すことができました。

リアルでは講演後の質疑応答でのやりとりがWEBとは異なり、熱のこもった意見も出て、さらに学び吸収するものが多いと感じます。

第1回目は『咬合基礎理論と臨床的与え方』第2回目は『審美性を考慮した実践補綴』第3回目は『インプラント治療の現状と到達点』第4回目は『最期まで関わる歯科医療～歯科訪問診療の今～』と4回の開催で、大学から1名、開業医2名と各

テーマに応じた内容で、毎回素晴らしく時間の経過を忘れるほどです。

スキルアップセミナーは卒後間もない先生から経験豊富な先生に対し、日常臨床でのさらなる気づき、精度の向上、目的意識、モチベーションアップができるよう毎年企画しております。

またオンデマンド配信も同時に行っており、約2週間見直し視聴が可能となっております。同窓会学術事業はHPでも案内されていますのでご覧いただくと嬉しく思います。

西 耕作 (15期)

### ●第39回臨床セミナー



令和5年6月11日(日)に、福岡歯科大学4階実習室にて福岡歯科大学同窓会主催第39回福岡歯科大学臨床セミナーが開催されました。テーマは「歯内療法に自信を持って取り組むために実践!! 歯内療法コース」と題し、上田秀朗先生から歯内療法の予知性を高めるための臨床的なアプローチをご紹介いただきました。歯内療法の上達は、臨床医のステップアップに避けて通れない関門であるとのことから、そのステップアップのために日常臨床においてより良い臨床結果を求め、かつ安全である治療法を研鑽され続けた中でたどり着いた様々な状況における考えやテクニックをご教授いただきました。コロナの感染症法上の位置付けも変わり、ハンズオン形式での開催を実施することができ、多くの先生方に参加

していただきました。また今後も臨床スキルアップセミナー等の今年度の同窓会事業開催が予定されておりますので、ぜひ多くの皆様にご参加頂ければと思います。

松本和磨 (15期)

### ●第40回臨床セミナー



第40回福岡歯科大学学術セミナーでは「歯周外科トレーニングコース」と題して、本学の臨床教授を務められている上田秀朗先生(北九州市ご開業)を講師にお迎えし、ブタの下顎を使用した歯周外科のハンズオンコースを開催いたしました。歯科医師の原点である天然歯とその歯周組織の再生・保存をコンセプトに、午前中は基本的な切開、剥離、縫合に始まり、午後はオープンスラップ、根尖側移動術、減張切開、遊離歯肉移植術に加え各種縫合などの実践的な実習を行いました。上田先生が実際にデモをされながら、歯周外科手技の勘所をわかりやすく解説いただきました。「美しく、よく噛めて、丈夫で長持ち」という患者さんの治療への期待を忘れずに、なるべく天然歯でこのことを実現させたいと改めて思いました。現在もコロナ禍ではありますが、

その中でも学びの場を復元していけるよう模索し、ハンズオンセミナーだけでなく2月の学術講演会も対面形式のみで開催することとしております。是非、多くの先生方にもご参加いただければ幸いです。

学術委員 田中 宏 (35期)

## ●第41回臨床セミナー



福岡歯科大学同窓会主催 第41回福岡歯科大学臨床セミナーは、今年度はハンズオン形式にて福岡歯科大学4階実習室で開催することになりました。テーマは「支台歯形成とデジタル印象採取の実践」と題し、西耕作先生と松永興昌先生からデジタル補綴治療に対応するため知識と技術を高めるために臨床的アプローチをご紹介いただきました。実際に、その場で支台歯形成とデジタル印象を行い、リアルタイムで評価でき、最新のワイヤレスの光学印象機器を用いて実習を行いました。ハンズオン形式で開催し、多くの先生方が参加していただきました。また今年度行われる臨床スキルアップセミナーも開催しますので、是非多くの皆様にご参加いただければと思います。

宮園祥爾 (37期)

## 第39回全国歯科大学同窓会・ 校友会学術担当者連絡会



令和5年8月26日(土)、広島大学歯学部同窓会が主催し、第39回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会が広島県歯科医師会館で4年ぶり現地開催された。参加校は28校で53名参加した。

今回、各大学に「アフターコロナ時代に学術講演会はどうあるべきか～コロナ下でのオンライン講演会の検証～」の事前アンケートを取り、過去3年間に及ぶコロナ禍において従来の対面形式での学術講演会が困難になった反面、デジタル技術を利用した学術講演会が急速に一般に浸透し、大きく進化を成し遂げた。スタイルが大きく変化した学術講演会について検証を行うことで、今後の講演会活動の参考のために、調査結果の報告と各内容に関するディスカッションが行われた。

### 1. コロナ禍に開催した講演会について

#### ①オンライン形式で開催

#### ②ハイブリッド形式で開催

- ・どのようなデジタルメディアを使用したか
- ・メリット
- ・デメリット(生じた問題)
- ・価格設定(平常時の対面式の開催と比較して)
- ・収支(平常時の対面形式の開催と比較して)
- ・録画した講演をアーカイブとして後日配信したか、またその理由

### ③対面形式で開催

- ・なぜデジタルメディアを使用しなかったか
- ・メリット
- ・デメリット（生じた問題）
- ・価格設定（平常時と比較して）

### ④募集・集金方法について（デジタル技術を活用している場合）

- ・募集方法と経費、使用感等
- ・集金方法と経費、使用感等

## 2. 今後予定する開催方式とその理由（複数回答可）

オンライン      7校   21%

ハイブリット   14校   43%

対面（リアル） 12校   36%

以上のアンケート結果により講演会、セミナーは、対面形式を望む声が多く対面形式で得られるメリットを優先させたいが、ハイブリッド形式にした理由はコロナ禍で参加者がオンラインの受講に慣れているためと対面での参加者よりオンラインでの参加者人数が多くなっているためハイブリッド形式にした。今後も暫くハイブリッド形式で開催予定である。またハンズオンセミナーは対面形式で得られるメリットを優先できる為、開催を検討している等の意見があった。

また、募集・集金方法について、募集は Google フォームが多く、集金は銀行振込が多かった。集金については50%デジタルメディア、10%クレジット、40%はデジタルメディア不使用との結果であった。

コロナ禍における現状、様々な取り組みや情報を集積しアフターコロナ時代に学術講演会はどうあるべきかについて、今後の学術活動に大いに参考になった。引き続き広島大学病院感染症科教授大毛宏喜先生の講演会が行われた。演題は「新興感染症対応の振り返りと展望」と題して新型コロナ感染対策を振り返り、考察について有意義なお話があった。また、今年冬はインフルエンザが流行する予測、新型コロナは来年春まで注意が必要の見解を示され、ワクチンは副反応が強くない人は接種が望ましいとのことだった。

最後に2024年度、第40回校友会学術担当者連絡会主幹校の大阪大学より挨拶があり閉会となった。

葛西秀夫（6期）

## 厚生福祉委員会報告

日頃より福祉厚生活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。前期、同窓会災害対策緊急連絡網を LINE グループを使用して立ち上げました。多くの府県同窓会と連携が整ったと思っております。最近ではニュース、天気予報が気になりすぐ携帯で撮影して注意をしておりますがあまり多すぎて天気予報士みたいと言われております。各都府県同窓会におかれましては地区の役員と連絡を密にいただき、もし災害発生がありましたらご相談でも結構ですので出来るだけ早目にご報告をお願いします。

会員のためになる情報を提供するということで歯科医師会でも実施されているところもありますが、テーマ「若い頃からの備えと老後に至るまでの人生設計」について同窓生として少しでもお役に立ちたいというコンセプトで準備をして参りました。若い頃からの備え①は病気です。先生ご自身、ご家庭の生活費、お子様の学費、歯科医院の経費（以前に比べてとても充実した内容となっております）それと人生100年時代といわれる老後の貯蓄です。そのためには有効な資産の運用が必要です。これまでの経験豊富な（株）ガウディの杉原様、ソニー生命の辻様に講師を務められます。医院承継に関しては法外な経費を請求したり、双方が納得いかず裁判にいたったケースも発生しています。こちらも多くのかすを経験されている（株）メディアの松村様にお願いしました。今後も会員のためになる情報発信に努力する所存です。

俣野正神（5期）

## ご逝去のお知らせ

### 【大学関係】

富岡 徳也（享年91）

口腔外科学第1講座 元教授 令和6年1月20日

### 【同窓生】

橋本 敏昭（1期 福岡北） 令和4年11月8日

宮崎 弘幸（6期 福岡北） 令和4年12月28日

奥村 勉（3期 福岡西） 令和5年2月23日

佐藤 雅美（5期 福岡西） 令和5年3月14日

坂口 秀平（2期 長崎） 令和5年4月4日

武田 聡（7期 福岡東） 令和5年5月7日

中村 和義（16期 山口） 令和5年5月7日

狭川 正（11期 大阪） 令和5年5月16日

下川信治郎（8期 福岡北） 令和5年5月18日

山田 恭央（6期 愛媛） 令和5年6月7日

和田 伸一（3期 福岡北） 令和5年6月9日

武部 祥宗（23期 佐賀） 令和5年7月1日

藤田 明弘（1期 福岡南） 令和5年8月1日

佐藤 洋（25期 福岡南） 令和5年8月11日

生田 正信（3期 福岡南） 令和5年8月25日

矢野 秀明（9期 福岡北） 令和5年9月6日

田中伸一郎（14期 福岡南） 令和5年9月15日

朝月 豊（22期 福岡西） 令和5年9月18日

一田 英二（2期 所属なし） 令和5年10月9日

山鹿 茂彦（2期 福岡西） 令和5年11月17日

橋本 滋（1期 福岡西） 令和5年11月24日

寺崎 茂（3期 福岡南） 令和5年12月11日

有川 公仁（6期 鹿児島） 令和5年12月21日

空田 安博（5期 福岡北） 令和6年1月8日

加藤田浩志（23期 福岡西） 令和6年1月17日

## 福岡歯科大学学内同窓会・学術振興事業の実施について

本事業は、福岡歯科大学学内同窓会に属する正会員、準会員を対象とする学術および研究活動を支援するものです。同窓会年会費を滞りなく納めている者が対象です。4つの事業により成り立っており、同窓会特別委員会により管理運営されています。本事業の申請については、同窓会本部事務局へお尋ね下さい。

### 対象項目

- 1）研究助成金（学内同窓会正会員の研究を対象とする）
- 2）研究奨励賞（学内同窓会正会員の論文を対象とする）
- 3）旅費援助金（国内外で開催される国際学会の発表に対する旅費の援助）
- 4）留学援助金（外国・国内留学への援助金）

### 福岡歯科大学同窓会・学術振興事業内訳

| 事業名   | 対象者                | 金額                                                       | 申請書類                          | 備考                                    |
|-------|--------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| 研究助成金 | 同窓会学内支部に属する正会員     | 50万円を上限とする。                                              | 様式1、様式2<br>推薦状                | 大学経理、推薦者を経て、申請者の研究費となる。               |
| 研究奨励賞 | 同窓会学内支部に属する正会員     | 3万円                                                      | 様式1、様式3<br>推薦状、別刷2部           | 本賞金は同窓会総会等において同窓会長が賞状と共に授与し、2名を限度とする。 |
| 旅費援助金 | 同窓会学内支部に属する正会員、準会員 | 正会員 国内 5万円<br>海外 10万円<br>準会員 国内 3万円<br>海外 5万円<br>を上限とする。 | 様式1、様式4<br>発表演題の受領を証明する書類を添付  | 国際学会を対象とし、原則として正規の旅費以内で援助限度額以内とする。    |
| 留学援助金 | 同窓会学内支部に属する正会員     | 国内 10万円<br>海外 30万円                                       | 様式1、様式5<br>留学先の受け入れを証明する書類を添付 |                                       |

\*平成28年1月1日より施行する。

# 第18期福岡歯科大学同窓会本部役員

令和3年4月1日～5年3月31日

| 役 職  | 氏 名     | 期 | 地 区    |
|------|---------|---|--------|
| 名誉会長 | 宮 口 厳   | 1 | 長崎     |
|      | 高 橋 裕   | 3 | 学内/福岡北 |
| 最高顧問 | 寺 尾 隆 治 | 1 | 佐賀     |
| 顧 問  | 長 尾 博 通 | 1 | 大分     |
| 顧 問  | 岩 本 憲 明 | 2 | 福岡西    |
| 顧 問  | 伊 藤 明 彦 | 5 | 熊本     |
| 顧 問  | 比 嘉 奈津美 | 8 | 沖縄     |

|        |           |         |    |        |
|--------|-----------|---------|----|--------|
| 同窓会長   |           | 吉 永 修   | 4  | 熊本     |
| 副会長    | (総合対策)    | 高 嶺 明 彦 | 6  | 沖縄     |
|        | (総合対策)    | 石 田 哲 也 | 9  | 大阪     |
|        | (総合対策)    | 馬 場 篤 子 | 12 | 学内/福岡西 |
|        | (総合対策)    | 田 中 靖 彦 | 12 | 長崎     |
|        | (会員拡大対策)  | 中 四 良   | 5  | 福岡西    |
|        | (組織)      | 神 田 晋 爾 | 4  | 福岡西    |
|        | (学術)      | 上 田 秀 朗 | 5  | 福岡北    |
|        | (学内統括)    | 都 築 尊   | 18 | 学内/愛媛  |
|        | (広報・企画情報) | 小 柳 進 祐 | 12 | 佐賀     |
|        | (福祉厚生)    | 水 谷 匡 秀 | 6  | 福岡西    |
|        | (選挙対策)    | 松 島 一 夫 | 8  | 沖縄     |
|        | (関東地区)    | 槇 原 政 博 | 7  | 関東     |
|        | (近畿地区)    | 藤 田 忠 篤 | 2  | 兵庫     |
|        | (近畿地区)    | 森 直 樹   | 6  | 奈良     |
|        | (中国地区)    | 大 橋 義 文 | 13 | 岡山     |
|        | (九州地区)    | 黒 木 康 夫 | 6  | 宮崎     |
| (専務理事) |           | 江 藤 ゆかり | 12 | 宮崎     |
| 常務理事   | 総務        | 芝 池 覚   | 4  | 大阪     |
|        |           | 中 岡 俊 智 | 12 | 大阪     |
|        | 厚生福祉      | 俣 野 正 仁 | 5  | 長崎     |
|        | 組織        | 吉 兼 透   | 22 | 福岡西    |
|        | 広報・企画情報   | 大 川 伊 織 | 23 | 福岡南    |

| 役 職     |         | 氏 名     | 期       | 地 区    |
|---------|---------|---------|---------|--------|
| 常務理事    | 学術      | 葛 西 秀 夫 | 6       | 福岡西    |
|         |         | 松 永 興 昌 | 16      | 福岡西    |
|         | 学内統括    | 内 田 竜 司 | 18      | 学内/熊本  |
|         | 会計      | 浦 嘉 訓   | 12      | 佐賀     |
| 総務      | 理事（委員長） | 石 本 圭   | 16      | 福岡西    |
|         | 理事      | 友 添 秀 樹 | 2       | 福岡南    |
|         | 理事      | 岡 浩 司   | 7       | 福岡南    |
|         | 理事      | 浅 尾 武   | 10      | 福岡北    |
|         | 理事      | 村 川 昇   | 10      | 大阪     |
|         | 理事      | 原 田 裕 教 | 12      | 大分     |
|         | 理事      | 平 川 俊 洋 | 14      | 鹿児島    |
|         | 理事      | 新 垣 斉   | 14      | 沖縄     |
|         | 理事      | 椿 誠     | 16      | 熊本     |
|         | 厚生福祉    | 理事      | 北 村 勝 文 | 9      |
| 理事      |         | 大 塚 秀 一 | 9       | 福岡西    |
| 理事      |         | 東 義 隆   | 21      | 長崎     |
| 組織      | 理事（委員長） | 杉 本 大 輔 | 24      | 福岡西    |
|         | 理事      | 花 水 麻 美 | 30      | 福岡西    |
| 広報・企画情報 | 理事      | 劉 中 憲   | 14      | 福岡西    |
|         | 理事      | 田 代 剛   | 26      | 佐賀     |
| 学術      | 理事      | 江 崎 和 久 | 8       | 福岡南    |
|         | 理事      | 西 耕 作   | 15      | 福岡西    |
|         | 理事      | 中 村 恵 子 | 18      | 学内/福岡北 |
|         | 理事      | 坂 田 憲 彦 | 20      | 福岡西    |
| 学内統括    | 理事      | 吉 田 兼 義 | 28      | 学内／福岡南 |
|         | 理事      | 大 城 希美子 | 29      | 学内／福岡西 |
|         | 理事      | 山 口 雄一郎 | 32      | 学内／福岡西 |
|         | 理事      | 谷 口 祐 介 | 33      | 学内／大阪  |
| 会計      | 理事      | 加 倉 加 恵 | 24      | 学内／広島  |

|    |         |   |        |
|----|---------|---|--------|
| 監事 | 今 本 道 也 | 2 | 福岡南    |
|    | 城 戸 寛 史 | 6 | 学内/福岡西 |

|         |       |    |     |
|---------|-------|----|-----|
| 選挙管理委員長 | 粉 泰 生 | 11 | 福岡西 |
|---------|-------|----|-----|

## 第18期福岡歯科大学同窓会委員会

### 総務委員会

| 役 職       | 氏 名   | 期  | 府 県   |
|-----------|-------|----|-------|
| 常務理事      | 芝池 覚  | 4  | 大 阪   |
| 常務理事      | 中岡 俊智 | 12 | 大 阪   |
| 理事（総務委員長） | 石本 圭  | 16 | 福 岡 西 |
| 理事（総務）    | 岡 浩司  | 7  | 福 岡 南 |
| 理事（総務）    | 友添 秀樹 | 2  | 福 岡 南 |
| 理事（総務）    | 浅尾 武  | 10 | 福 岡 北 |
| 理事（総務）    | 村川 昇  | 10 | 大 阪   |
| 理事（総務）    | 原田 裕教 | 12 | 大 分   |
| 理事（総務）    | 平川 俊洋 | 14 | 鹿 児 島 |
| 理事（総務）    | 新垣 斉  | 14 | 沖 縄   |
| 理事（総務）    | 椿 誠   | 16 | 熊 本   |

### 厚生福祉委員会

| 役 職      | 氏 名   | 期  | 府 県   |
|----------|-------|----|-------|
| 副会長      | 水谷 匡秀 | 6  | 福 岡 西 |
| 常務理事     | 俣野 正仁 | 5  | 長 崎   |
| 理事（福祉厚生） | 北村 勝文 | 9  | 福 岡 西 |
| 理事（福祉厚生） | 大塚 秀一 | 9  | 福 岡 西 |
| 理事（福祉厚生） | 東 義隆  | 21 | 長 崎   |
| 委員（福祉厚生） | 三箇 正賢 | 18 | 福 岡 北 |
| 委員（福祉厚生） | 椿 賢   | 18 | 熊 本   |
| 委員（福祉厚生） | 今田 圭二 | 21 | 福 岡 東 |

### 組織委員会

| 役 職       | 氏 名   | 期  | 府 県   |
|-----------|-------|----|-------|
| 副会長       | 神田 晋爾 | 4  | 福 岡 西 |
| 常務理事      | 吉兼 透  | 22 | 福 岡 西 |
| 理事（組織委員長） | 杉本 大輔 | 24 | 福 岡 西 |
| 理事（組織副）   | 花水 麻美 | 30 | 福 岡 西 |

### 学内統括委員会

| 役 職  | 氏 名   | 期  | 府 県       |
|------|-------|----|-----------|
| 副会長  | 都築 尊  | 18 | 学 内 / 愛 媛 |
| 常務理事 | 内田 竜司 | 18 | 学 内 / 熊 本 |
| 理事   | 吉田 兼義 | 28 | 学内/福岡南    |
| 理事   | 大城希美子 | 29 | 学内/福岡西    |
| 理事   | 山口雄一郎 | 32 | 学内/福岡西    |
| 理事   | 谷口 祐介 | 33 | 学 内 / 大 阪 |

### 学術委員会

| 役 職        | 氏 名   | 期  | 府 県       |
|------------|-------|----|-----------|
| 副会長（学術）    | 上田 秀朗 | 5  | 福 岡 北     |
| 常務理事（渉外担当） | 葛西 秀夫 | 6  | 福 岡 西     |
| 常務理事（学術企画） | 松永 興昌 | 16 | 福 岡 西     |
| 理事         | 江崎 和久 | 8  | 福 岡 南     |
| 理事         | 坂口佳代子 | 14 | 福 岡 北     |
| 理事         | 西 耕作  | 15 | 福 岡 南     |
| 理事         | 中村 恵子 | 18 | 学内/福岡北    |
| 理事         | 坂田 憲彦 | 20 | 福 岡 西     |
| 委員         | 鈴木 宏樹 | 23 | 福 岡 西     |
| 委員         | 青木 隆宜 | 26 | 福 岡 西     |
| 委員         | 園田 晋平 | 29 | 福 岡 東     |
| 委員         | 森川 秀典 | 31 | 福 岡 南     |
| 委員         | 田中 宏  | 35 | 福 岡 北     |
| 委員         | 熊谷 徹弥 | 36 | 学内/福岡西    |
| 委員         | 松本 和磨 | 36 | 学 内 / 宮 崎 |
| 委員         | 宮園 祥爾 | 37 | 学内/福岡南    |
| 委員         | 荒川 未来 | 43 | 学内/福岡南    |

### 広報・企画情報委員会

| 役 職       | 氏 名   | 期  | 府 県       |
|-----------|-------|----|-----------|
| 副会長       | 小柳 進祐 | 12 | 佐 賀       |
| 常務理事（委員長） | 大川 伊織 | 23 | 福 岡 南     |
| 理事        | 劉 中憲  | 12 | 福 岡 西     |
| 理事        | 田代 剛  | 26 | 佐 賀       |
| 委員        | 香川 豊宏 | 15 | 学 内 / 香 川 |
| 委員        | 後藤加寿子 | 21 | 学内/福岡西    |
| 委員        | 津江 文武 | 25 | 学内/福岡南    |
| 委員        | 川口 智弘 | 29 | 学内/福岡西    |
| 委員        | 廣松 亮  | 32 | 福 岡 南     |
| 委員        | 白本 和志 | 38 | 福 岡 西     |
| 委員        | 田平 和久 | 39 | 学内/鹿児島    |

### 会計委員会

| 役 職        | 氏 名   | 期  | 府 県       |
|------------|-------|----|-----------|
| 常務理事       | 浦 嘉訓  | 12 | 佐 賀       |
| 理事（会計副委員長） | 加倉 加恵 | 24 | 学 内 / 広 島 |
| 委員（学術担当会計） | 松本 彩子 | 35 | 学内/福岡南    |

# 学内・府県同窓会会長・評議員

| 地区会   | 府県  | 役 職                   | 氏 名     | 期  | 勤 務 先                  |
|-------|-----|-----------------------|---------|----|------------------------|
| 学 内   |     | 地区会会長・学内会長<br>(本部副会長) | 都 築 尊   | 18 | 咬合修復学講座<br>有床義歯学分野     |
|       |     | 評 議 員                 | 橋 本 憲一郎 | 23 | 口腔・顎顔面外科学講座<br>口腔腫瘍学分野 |
| 福 岡 県 | 福岡東 | 府県会長・評議員              | 平 岡 貴 礼 | 22 | ひらおか歯科医院               |
|       |     | 評 議 員                 | 山 下 尚 志 | 2  | 医) 尚美会 山下歯科            |
|       | 福岡西 | 地区会会長・府県会長            | 持 山 達 郎 | 13 | 持山歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 日 高 英 治 | 5  | 日高歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 小 河 清 裕 | 8  | 小河歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 中 田 宏   | 13 | 中田歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 赤 間 圭   | 14 | たくみ歯科医院                |
|       |     | 評 議 員                 | 西 原 浩 平 | 10 | 西原歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 飯 田 聖 子 | 17 | まえばる歯科医院               |
|       |     | 評 議 員                 | 池 田 正 博 | 18 | いけだ歯科医院                |
|       |     | 評 議 員                 | 重 富 澄 保 | 24 | 重富歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 牧 野 正 敬 | 25 | 牧野歯科医院                 |
|       | 福岡南 | 府 県 会 長<br>(本部理事)     | 岡 浩 司   | 7  | 岡歯科医院                  |
|       |     | 評 議 員                 | 吉 田 亨   | 11 | よしだ歯科                  |
|       |     | 評 議 員                 | 蒔 江 拓   | 13 | しぶえ歯科・小児歯科             |
|       |     | 評 議 員                 | 姫 野 尚 宏 | 11 | 姫野歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 野 田 慎一朗 | 21 | のだ歯科・小児歯科              |
|       | 福岡北 | 府 県 会 長<br>(本部理事)     | 浅 尾 武   | 10 | 浅尾歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 有 松 靖 弘 | 13 | 有松歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 友 岡 和 紀 | 17 | 友岡歯科診療所                |
|       |     | 評 議 員                 | 向 坊 明 浩 | 24 | むかいぼう歯科                |
| 九 州   | 佐 賀 | 地区会会長・府県会長<br>(本部副会長) | 小 柳 進 祐 | 12 | 小柳歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 山 口 倫 仁 | 7  | やまぐち歯科医院               |
|       |     | 評 議 員                 | 寺 谷 烈   | 18 | 医) TERRA 矯正歯科<br>クリニック |
|       |     | 評 議 員                 | 酒 井 正 男 | 14 | 酒井歯科医院                 |
|       | 長 崎 | 府県会長・評議員              | 渡 邊 知 英 | 13 | わたなべ TOMO 歯科医院         |
|       |     | 評 議 員                 | 原 精一郎   | 21 | はら歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 東 義 隆   | 21 | 東歯科医院                  |
|       |     | 評 議 員                 | 橋 一 史   | 27 | たちばな歯科                 |
|       | 熊 本 | 府県会長・評議員              | 渡 辺 猛 士 | 5  | 渡辺歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 武 藤 健 史 | 6  | 武藤歯科医院                 |
|       |     | 評 議 員                 | 渡 辺 洋   | 9  | 渡辺歯科クリニック              |
|       |     | 評 議 員                 | 井 上 裕 邦 | 15 | 井上歯科クリニック              |

| 地区会 | 府県                   | 役 職                   | 氏 名     | 期                    | 勤 務 先                |
|-----|----------------------|-----------------------|---------|----------------------|----------------------|
| 九州  | 大 分                  | 府県会長・評議員              | 山 田 道 男 | 6                    | 高城やまだ歯科              |
|     |                      | 評 議 員                 | 茂 山 裕 之 | 20                   | 南立石イトセ歯科医院           |
|     |                      | 評 議 員                 | 三 宮 一 仁 | 22                   | はっぴー一歯科・<br>小児歯科     |
|     | 宮 崎                  | 府 県 会 長<br>(本部副会長)    | 黒 木 康 夫 | 6                    | 黒木康夫歯科医院             |
|     |                      | 評 議 員                 | 陶 山 隆   | 6                    | 陶山歯科医院               |
|     |                      | 評 議 員                 | 小 田 瑞 恵 | 12                   | 恵歯科クリニック             |
|     | 鹿児島                  | 府県会長・評議員              | 要 光     | 11                   | かなめ歯科医院              |
|     |                      | 評 議 員                 | 山之内 伸   | 1                    | 山之内歯科医院              |
|     | 沖 縄                  | 府 県 会 長<br>(本部副会長)    | 松 島 一 夫 | 8                    | まつしま歯科医院             |
|     |                      | 評 議 員                 | 根 間 政 宏 | 21                   | ねま歯科医院               |
|     |                      | 評 議 員                 | 城 間 吉 弘 | 4                    | しろま歯科医院              |
| 中国  | 山 口                  | 府県会長・評議員              | 佐々木 猛   | 1                    | 佐々木歯科医院              |
|     |                      | 評 議 員                 | 児 玉 昭 彦 | 5                    | 児玉歯科医院               |
|     | 広 島                  | 府県会長・評議員              | 西 谷 展   | 9                    | にしや歯科医院              |
|     |                      | 評 議 員                 | 佐 藤 美穂子 | 4                    | 医療法人社団裕穂会<br>さとう歯科医院 |
|     | 島 根                  | 府県会長・評議員              | 青 笹 之 夫 | 2                    | 青笹歯科医院               |
|     | 岡 山                  | 地区会長 (本部副会長)          | 大 橋 義 文 | 13                   | 大橋歯科医院               |
|     |                      | 府県会長・評議員              | 平 和 義   | 7                    | ひら歯科クリニック            |
|     | 四国                   | 愛 媛                   | 府 県 会 長 | 小 林 悟                | 4                    |
| 高 知 |                      | 府県会長・評議員              | 矢 野 宗 憲 | 9                    | 矢野歯科医院               |
| 香 川 |                      | 府 県 会 長               | 濱 岡 宏 典 | 9                    | はまおか歯科医院             |
| 徳 島 |                      | 地区会長・府県会長・評議員         | 野 口 圭 司 | 2                    | 野口歯科医院               |
| 近畿  | 大 阪                  | 府県会長・評議員              | 尾 川 善 信 | 5                    | 医療法人おがわ歯科            |
|     |                      | 評 議 員                 | 加 藤 秀 治 | 13                   | 医療法人昭成会加藤歯科          |
|     | 京・滋                  | 府 県 会 長               | 金 谷 徹   | 15                   | 金谷歯科医院               |
|     |                      | 府県会長代理                | 葉 山 義 則 | 6                    | 藤田歯科診療所              |
|     | 兵 庫                  | 地区会会長・府県会長<br>(本部副会長) | 藤 田 忠 篤 | 2                    | フジタ歯科医院              |
|     |                      | 評 議 員                 | 宮 脇 正 樹 | 10                   | 宮脇歯科医院               |
|     | 和歌山                  | 府 県 会 長               | 藤 田 知 則 | 8                    | 藤田歯科診療所              |
|     | 奈 良                  | 府 県 会 長               | 上 林 融   | 3                    | 上林歯科医院               |
| 中部  | 地区会長・府県会長・評議員        | 伊 藤 恒 一               | 2       | 中津第一歯科医院             |                      |
| 関東  | 地 区 会 会 長<br>(本部副会長) | 榎 原 政 博               | 7       | 榎原歯科新橋<br>インプラントセンター |                      |
|     | 府県会長・評議員             | 中 野 裕 次               | 6       | なかの歯科医院              |                      |

# 会 務 報 告

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

| 月日   | 曜日 | 詳 細                           | 出 席 者                       | 場 所                             |
|------|----|-------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 4/8  | 金  | 福岡歯科大学入学式                     |                             | 本学園                             |
| 4/11 | 月  | 第1回学術委員会                      | 学術委員会                       | WEB                             |
| 4/13 | 水  | 令和4年度監査                       | 今本、城戸監事、浦常務理事、<br>加倉理事、松本委員 | WEB                             |
| 4/16 | 土  | 尾崎正雄先生退職記念祝賀会                 | 吉永会長                        | 西鉄グランドホテル                       |
| 4/19 | 火  | 法人理事会/50周年記念事業準備委員会           | 宮口名誉会長、吉永会長                 | 本学園                             |
| 4/22 | 金  | 福岡県北同窓会総会                     |                             | 小倉歯科医師会                         |
| 4/25 | 月  | 第1回府県会長 Web 会議                | 府県会長会                       | WEB 会議                          |
| 5/13 | 金  | 第2回学術委員会 Web 会議               | 学術委員会                       | WEB                             |
| 5/16 | 月  | 令和4年度理事会 Web 会議               |                             | WEB                             |
| 5/21 | 土  | 福岡県南同窓会総会・学術講演会               |                             | 久留米歯科医師会                        |
| 〃    | 〃  | 長崎県同窓会総会並びに宮口先生県歯顧問・七熊先生叙勲祝賀会 | 俣野常務理事                      | 出島メッセ長崎/ホテルヒルトン長崎               |
| 5/22 | 日  | 第38回臨床セミナー                    | 学術委員会                       | 福岡歯科大学4階実習室                     |
| 5/23 | 月  | 第2回府県会長 Web 会議                | 府県会長会                       | WEB                             |
| 5/25 | 水  | 日本歯科医師連盟参与会議                  | 吉永会長                        | 日本歯科医師会館7階(701号)                |
| 5/31 | 火  | 学校法人福岡学園 理事会・評議員会             | 吉永会長、神田・中副会長、<br>宮口名誉会長     | 本学園                             |
| 6/9  | 木  | 第3回学術委員会 Web 会議               | 学術委員会                       | WEB                             |
| 6/11 | 土  | 令和4年度定時評議員会・総会・特別講演会・懇親会      |                             | 福岡国際会議場                         |
| 6/12 | 日  | 福岡歯科大学同窓生対象オープンキャンパス          | 吉永会長                        | 本学園                             |
| 6/18 | 土  | 関東同窓会総会                       |                             | 両国ビューホテル                        |
| 6/19 | 日  | 大阪府同窓会総会並びに成瀬悟名誉教授の卒寿を祝う会     | 吉永会長、高嶺副会長、<br>宮口名誉会長       | 松下IMPビル2F-A会議室/<br>ホテルニューオータニ大阪 |
| 6/21 | 火  | 法人理事会/50周年記念事業準備委員会           | 宮口名誉会長、吉永会長                 | 本学園                             |
| 6/25 | 土  | 2022年度臨床スキルアップセミナー第1回<br>配信開始 |                             | WEB                             |
| 6/30 | 木  | 福岡県西同窓会総会                     |                             | WEB                             |
| 7/3  | 日  | 広島県同窓会総会・学術講演会                | 吉永会長                        | おりづるタワー                         |
| 7/6  | 水  | 福岡学園50周年記念講堂グランドピアノ搬入         | 吉永会長                        | 本学園50周年記念館                      |
| 7/11 | 月  | 第4回学術委員会 Web 会議               | 学術委員会                       | WEB                             |
| 7/17 | 日  | 新潟大学歯学部同窓会創立50周年記念事業          | 吉永会長                        | ANAクラウンプラザホテル新潟                 |

|       |   |                                   |                        |                   |
|-------|---|-----------------------------------|------------------------|-------------------|
| 7/19  | 火 | 第1回常務理事会 Web 会議                   |                        | WEB               |
| 7/20  | 水 | 法人理事会/50周年記念事業準備委員会               | 宮口名誉会長、吉永会長            | 本学園               |
| 7/23  | 土 | 日歯副会長佐藤保先生・明海大学学長安井利一先生との懇談会      | 吉永会長、高嶺副会長、宮口名誉会長      | 福岡市               |
| 7/24  | 日 | 福岡学園創立50周年事業                      | 吉永会長他                  | 本学園50周年記念館        |
| 7/25  | 月 | 第3回府県会長 Web 会議                    | 府県会長会                  | WEB               |
| 7/27  | 水 | 企画情報委員会                           | 小柳副会長、大川常務理事           | WEB               |
| 8/6   | 土 | 鹿児島県同窓会総会                         | 吉永会長                   | 鹿児島県歯科医師会         |
| 8/16  | 火 | 第2回常務理事会 Web 会議                   |                        | WEB               |
| 8/18  | 木 | 第5回学術委員会 Web 会議                   | 学術委員会                  | WEB               |
| 8/19  | 金 | 令和4年度第1回広報・企画情報委員会                | 広報・企画情報委員会             | WEB               |
| 8/20  | 土 | 大阪歯科大学同窓会設立100周年記念大会              | 高嶺副会長、宮口名誉会長           | リーガロイヤルホテル        |
| 8/22  | 月 | 第4回府県会長 Web 会議                    | 府県会長会                  | WEB               |
| 8/27  | 土 | 2022年度臨床スキルアップセミナー第2回配信開始         |                        | WEB               |
| 9/3   | 土 | 宮崎県同窓会総会・学術講演会                    |                        | 宮崎県歯科医師会館         |
| 9/11  | 日 | 近畿ブロック同窓会学術講演会/大阪府同窓会懇親会          | 吉永会長                   | ホテル阪神             |
| 9/12  | 月 | 第3回常務理事会 Web 会議                   |                        | WEB               |
| 9/20  | 火 | 法人理事会                             | 宮口名誉会長                 | 本学園               |
| 9/26  | 月 | 第5回府県会長 Web 会議                    | 府県会長会                  | WEB               |
| 9/28  | 水 | 第6回学術委員会 Web 会議                   | 学術委員会                  | WEB               |
| 9/30  | 金 | 12校会議                             | 吉永会長、江藤常務理事            | WEB               |
| 10/13 | 木 | 第47回福岡歯科大学献体者慰霊祭                  |                        | 万行寺               |
| 10/15 | 土 | 大阪大学歯学部同窓会大阪府同窓会設立50周年記念祝賀会       |                        | リーガロイヤルホテル        |
| 10/17 | 月 | 第4回常務理事会 Web 会議                   |                        | WEB               |
| 10/19 | 水 | 第7回学術委員会 Web 会議                   | 学術委員会                  | WEB               |
| 10/20 | 木 | 障害者歯科教授小島寛先生最終講義                  |                        | 本学園               |
| 10/22 | 土 | 第74回九州歯科医学大会                      | 吉永会長、高嶺副会長、城戸顧問、宮口名誉会長 | 鹿児島県              |
| 10/24 | 月 | 第6回府県会長 Web 会議                    | 府県会長会                  | WEB               |
| 10/29 | 土 | 2022年度臨床スキルアップセミナー第3回配信開始         |                        | WEB               |
| 11/2  | 水 | 第8回学術委員会 Web 会議                   | 学術委員会                  | WEB               |
| 11/5  | 土 | 第69回全国歯科大学同窓・校友会懇話会(岩手大学歯学部同窓会主催) | 吉永会長、高嶺副会長、江藤常務        | ホテルメトロポリタン盛岡本館    |
| 11/14 | 月 | 衆議院議員「井原たくみ君を育てる会」                | 吉永会長                   | ルポール麹町2Fロイヤルクリスタル |
| 11/15 | 火 | 法人理事会・評議員会                        | 宮口名誉会長、吉永会長、神田・中副会長    | 本学園               |

|       |   |                               |                           |                   |
|-------|---|-------------------------------|---------------------------|-------------------|
| 11/21 | 月 | 口腔医学研究センター教授大野純先生最終講義         |                           | 本学園601号           |
| 〃     | 〃 | 第2回理事会 Web 会議                 |                           | WEB               |
| 11/28 | 月 | 第7回府県会長 Web 会議                | 府県会長会                     | WEB               |
| 12/3  | 土 | 第9回 JUC 発表会・懇親会               | 吉永会長                      | ホテルニューオータニ博多      |
| 12/4  | 日 | 第9回 JUC 発表会                   |                           | 福岡電気ビル共創館         |
| 12/7  | 水 | 第9回学術委員会 Web 会議               | 学術委員会                     | WEB               |
| 12/10 | 土 | 九州歯科大学福岡県同窓会福岡支部忘年懇親会         | 吉永会長                      | 稚加栄               |
| 12/11 | 日 | 福岡歯科大学学会総会学術大会                |                           | 本学園50周年記念館        |
| 12/19 | 月 | 第5回常務理事会 Web 会議               |                           |                   |
| 12/26 | 月 | 第8回府県会長 Web 会議                |                           | WEB               |
| 12/28 | 水 | 仕事納め                          |                           |                   |
| 1/4   | 水 | 仕事初め                          |                           | 同窓会室              |
| 1/11  | 水 | 第10回学術委員会 Web 会議              | 学術委員会                     | WEB               |
| 1/14  | 土 | 福岡県歯科医師会会長選挙神田先生事務所開き         | 吉永会長、江藤専務                 | 神田事務所             |
| 1/16  | 月 | 第6回常務理事会 Web 会議               |                           | WEB               |
| 1/21  | 土 | 沖縄県同窓会令和4年度新年会                | 吉永会長                      | バルコラボ那覇新都心店       |
| 1/28  | 土 | 長崎県同窓会学術講演会                   | 江藤専務                      | 平安閣サンプリエール        |
| 〃     | 〃 | 2022年度臨床スキルアップセミナー第4回配信開始     |                           | WEB               |
| 1/29  | 日 | 東京医科歯科大学歯科同窓会一般社団法人化記念新年賀詞交歓会 | 吉永会長                      | ホテルメトロポリタンエドモンド   |
| 1/30  | 月 | 第9回府県会長 Web 会議                |                           | WEB               |
| 2/1   | 水 | 第11回学術委員会 Web 会議              | 学術委員会                     | WEB               |
| 2/20  | 月 | 第7回常務理事会 Web 会議               |                           | WEB               |
| 2/25  | 土 | 第35回学術講演会懇親会                  | 本部常務理事以上役員・学術委員会・35回講演会演者 | 稚加栄               |
| 2/26  | 日 | 第35回学術講演会                     | 学術委員会                     | 本学園50周年記念館        |
| 2/27  | 月 | 第10回府県会長 Web 会議               |                           | WEB               |
| 2/28  | 火 | 福岡歯科大学学生後援会理事会・評議員会合同会議       | 吉永会長                      | 本学園502教室          |
| 3/1   | 水 | 第12回学術委員会 Web 会議              | 学術委員会                     | WEB               |
| 3/5   | 日 | 宮崎県冬季総会・学術講演会                 | 江藤専務、中岡常務                 | 宮崎県歯科医師会館         |
| 3/11  | 土 | 四国地区同窓会総会                     | 吉永会長、江藤専務                 | ザ・クラウンパレス新阪急高知ホテル |
| 3/11  | 土 | 第45回福岡歯科大学卒業式                 |                           | 本学園50周年記念館        |
| 3/13  | 月 | 令和4年度総務委員会                    |                           | WEB               |
| 3/20  | 月 | 法人理事会・評議員会                    | 宮口名誉会長、吉永会長、神田・中副会長       | 本学園               |

|      |   |                               |                                          |          |
|------|---|-------------------------------|------------------------------------------|----------|
| 3/20 | 月 | 第8回常務理事会 Web 会議               |                                          | WEB      |
| 3/25 | 土 | 九州5大学歯学部同窓会連絡協議会              | 吉永会長、中岡常務、伊藤顧問、<br>渡辺熊本県同窓会長、<br>宇治熊本県専務 | 熊本市「仲むら」 |
| 3/27 | 月 | 第11回府県会長 Web 会議/<br>第1回学術連携会議 |                                          | WEB      |

一般会計

令和4年度 福岡歯科大学同窓会会計収入支出決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部

単位：円

| 款 | 項 | 科 目        | 予 算 額      | 決 算 額      | 予算との差額     | 執 行 率  | 備 考                         |
|---|---|------------|------------|------------|------------|--------|-----------------------------|
| 1 |   | 会費・入会金     | 24,410,000 | 25,240,000 | 830,000    | 103.4% |                             |
|   | 1 | 会員         | 22,340,000 | 24,280,000 | 1,940,000  | 108.7% | 会費及び入会金                     |
|   | 2 | 準会員        | 2,070,000  | 960,000    | -1,110,000 | 46.4%  | 入会金                         |
| 2 |   | 学術         | 3,800,000  | 6,982,000  | 3,182,000  | 183.7% |                             |
|   | 1 | 講演会        | 1,050,000  | 2,530,200  | 1,480,200  | 241.0% |                             |
|   | 2 | 臨床セミナー     | 1,000,000  | 979,000    | -21,000    | 97.9%  |                             |
|   | 3 | スキルアップセミナー | 1,200,000  | 1,287,800  | 87,800     | 107.3% |                             |
|   | 4 | 抄録広告・CM料   | 550,000    | 1,628,000  | 1,078,000  | 296.0% |                             |
|   | 5 | 助成金        |            | 557,000    | 557,000    |        |                             |
| 3 |   | 雑収入        | 1,001,000  | 1,240,084  | 239,084    | 123.9% |                             |
|   | 1 | 預金利息       | 1,000      | 84         | -916       | 8.4%   | 一般会計分利息                     |
|   | 2 | 広告料        | 800,000    | 875,000    | 75,000     | 109.4% |                             |
|   | 3 | 求人広告       | 100,000    | 185,000    | 85,000     | 185.0% | 同窓会誌・同窓生名簿広告                |
|   | 4 | その他        | 100,000    | 60,000     | -40,000    | 60.0%  | 同封手数料                       |
|   | 5 | 寄付金        |            | 120,000    | 120,000    |        | 同封手数料                       |
|   |   | 小 計        | 29,211,000 | 33,462,084 | 4,251,084  | 114.6% |                             |
| 4 |   | 前受金        |            | 331,000    |            |        |                             |
|   | 1 | 前受金        |            | 331,000    |            |        | 学術セミナー受講料                   |
| 5 |   | 預り金        | -19,200    | -277,280   |            |        |                             |
|   | 1 | 預り金        | -19,200    | -277,280   |            |        | 源泉徴収分・懇親会・会議費用<br>弁償費一時預かり分 |
| 6 |   | 未収入金       |            | -179,000   |            |        |                             |
|   | 1 | 未収入金       |            | -179,000   |            |        | 講演会クレジット決済分                 |
| 7 |   | 前年度繰越金     | 17,110,927 | 17,110,927 | 0          |        |                             |
|   | 1 | 前年度繰越金     | 17,110,927 | 17,110,927 | 0          |        |                             |
|   |   | 合 計        | 46,302,727 | 50,447,731 | 4,145,004  | 109.0% |                             |

支出の部

| 款  | 項 | 科 目        | 予 算 額      | 決 算 額      | 予算との差額     | 執 行 率  | 備 考                    |
|----|---|------------|------------|------------|------------|--------|------------------------|
| 1  |   | 人件費        | 6,900,000  | 5,158,532  | 1,741,468  | 74.8%  |                        |
|    | 1 | 人件費        | 6,900,000  | 5,158,532  |            |        |                        |
| 2  |   | 通信費        | 1,100,000  | 946,895    | 153,105    | 86.1%  |                        |
|    | 1 | 通信費        | 1,100,000  | 946,895    |            |        | 通常郵送の他、選挙案内・50周年案内2回含む |
| 3  |   | 事務費        | 520,000    | 841,439    | -321,439   | 161.8% |                        |
|    | 1 | 事務費        | 520,000    | 841,439    |            |        |                        |
| 4  |   | 連絡会議費      | 2,470,000  | 2,750,456  | -280,456   | 111.4% |                        |
|    | 1 | 連絡会議費      | 2,470,000  | 2,750,456  |            |        |                        |
| 5  |   | 広報印刷費      | 2,300,000  | 2,085,966  | 214,034    | 90.7%  |                        |
|    | 1 | 広報印刷費      | 2,300,000  | 2,085,966  |            |        | 同窓会誌41号・送料             |
| 6  |   | 慶弔費        | 330,000    | 152,996    | 177,004    | 46.4%  |                        |
|    | 1 | 慶弔費        | 330,000    | 152,996    |            |        |                        |
| 7  |   | 学術費        | 3,050,000  | 3,711,038  | -661,038   | 121.7% | 学術事業                   |
|    | 1 | 学術費        | 3,050,000  | 3,711,038  |            |        |                        |
| 8  |   | 渉内費        | 2,650,000  | 2,224,365  | 425,635    | 83.9%  |                        |
|    | 1 | 渉内費        | 2,650,000  | 2,224,365  |            |        |                        |
| 9  |   | 渉外費        | 2,830,000  | 3,045,894  | -215,894   | 107.6% |                        |
|    | 1 | 渉外費        | 2,830,000  | 3,045,894  |            |        |                        |
| 10 |   | 雑費         | 100,000    | 9,502      | 90,498     | 9.5%   |                        |
|    | 1 | 雑費         | 100,000    | 9,502      |            |        |                        |
| 11 |   | 予備費        | 1,000,000  | 0          | 1,000,000  | 0.0%   |                        |
|    | 1 | 予備費        | 1,000,000  | 0          |            |        |                        |
| 12 |   | 積立金        | 4,500,000  | 4,500,000  | 0          | 100.0% |                        |
|    | 1 | 名簿積立金      | 600,000    | 600,000    | 0          |        |                        |
|    | 2 | 退職金積立金     | 200,000    | 200,000    | 0          |        |                        |
|    | 3 | 備品積立金      | 200,000    | 200,000    | 0          |        |                        |
|    | 4 | 周年記念準備基金   | 1,000,000  | 1,000,000  | 0          |        |                        |
|    | 5 | 学園改修等協力積立金 | 2,500,000  | 2,500,000  | 0          |        |                        |
|    |   | 小 計        | 27,750,000 | 25,427,083 | 2,322,917  | 91.6%  |                        |
| 13 |   | 前払費用       |            | 267,195    |            |        | 次年度経費分                 |
|    | 1 | 前払費用       |            | 267,195    |            |        |                        |
|    |   | 小 計        |            | 25,694,278 |            |        |                        |
| 14 |   | 次年度繰越金     | 18,552,727 | 24,753,453 | -6,200,726 | 133.4% |                        |
|    | 1 | 次年度繰越金     | 18,552,727 | 24,753,453 |            |        |                        |
|    |   | 合 計        | 46,302,727 | 50,447,731 | -4,145,004 | 109.0% |                        |

## 令和4年度積立金会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

単位：円

| 基 本 財 産 積 立 金      |            |
|--------------------|------------|
| 過年度積立金             | 76,736,307 |
| 計上利息（普通・定期預金利息90%） | 756        |
| 合 計（次年度繰越金）        | 76,737,063 |

| 退 職 金 積 立 金   |           |
|---------------|-----------|
| 過年度積立金        | 5,749,926 |
| 本年度積立金        | 200,000   |
| 利息（西日本シティ/野芥） | 48        |
| 合 計（次年度繰越金）   | 5,949,974 |

| 備 品 積 立 金     |           |                  |           |
|---------------|-----------|------------------|-----------|
| 収 入           |           | 支 出              |           |
| 過年度積立金        | 1,903,863 | インクジェットプリンター・SSD | 53,400    |
| 本年度積立金        | 200,000   | デスクトップパソコン2台一式   | 372,920   |
| 利息（西日本シティ/野芥） | 14        | NAS（HD）          | 140,000   |
|               |           | デジタルカメラ・バッテリー購入  | 63,008    |
|               |           | 合 計              | 629,328   |
| 合 計           | 2,103,877 | 合 計（次年度繰越金）      | 1,474,549 |

| 周年記念準備基金      |            |             |            |
|---------------|------------|-------------|------------|
| 収 入           |            | 支 出         |            |
| 過年度積立金        | 13,106,766 | 残高証明書       | 330        |
| 本年度積立金        | 1,000,000  |             |            |
| 利息（西日本シティ/野芥） | 106        | 合 計         | 330        |
| 合 計           | 14,106,872 | 合 計（次年度繰越金） | 14,106,542 |

| 学 園 等 協 力 金          |            |                   |            |
|----------------------|------------|-------------------|------------|
| 過年度積立金               | 35,794,411 | 残高証明書発行手数料        | 550        |
| 本年度積立金               | 2,500,000  | 学園50周年記念講堂ピアノ一式寄贈 | 5,060,165  |
| 利息（ゆうちょ銀行/通常貯金4月10月） | 12         |                   |            |
| 利息（ゆうちょ銀行/定額貯金）      |            |                   |            |
| 利息（ゆうちょ銀行/定額貯金）      |            | 小 計               | 5,060,715  |
| 合 計                  | 38,294,423 | 合 計（次年度繰越金）       | 33,233,708 |

| 名 簿 積 立 金    |           |               |           |
|--------------|-----------|---------------|-----------|
| 過年度積立金       | 3,227,208 | 名簿印刷費（3,700部） | 1,355,380 |
| 本年度積立金       | 600,000   | 名簿発送郵送料       | 246,464   |
| 利息（西日本シティ/原） | 17        | 小 計           | 1,601,844 |
| 合 計          | 3,827,225 | 合 計（次年度繰越金）   | 2,225,381 |

## 特別会計

## 令和4年度福岡歯科大学同窓会特別支援事業収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

単位：円

## 収入の部

| 款       | 項 | 科 目 | 予 算 案   | 決 算 額     | 予算との差額    | 備 考             |
|---------|---|-----|---------|-----------|-----------|-----------------|
| 1       |   | 参加費 | 0       | 0         | 0         |                 |
|         | 1 | 参加費 | 0       | 0         |           |                 |
| 2       |   | 雑収入 | 0       | 1         | 1         |                 |
|         | 1 | 雑収入 | 0       | 1         |           | 預金利息            |
| 収 入 合 計 |   |     | 0       | 1         | 1         |                 |
| 3       |   | 前受金 | 0       | 5,350,000 |           |                 |
|         | 1 | 前受金 | 0       | 5,350,000 |           | 2023年度 ICOI 受講料 |
| 小 計     |   |     | 0       | 5,350,000 | 5,350,000 |                 |
| 4       |   | 繰入金 | 283,239 | 283,239   |           | 前期繰越金           |
|         | 1 | 繰入金 | 283,239 | 283,239   |           |                 |
| 小 計     |   |     | 283,239 | 283,239   | 0         |                 |
| 合 計     |   |     | 283,239 | 5,633,240 | 5,350,001 |                 |

## 支出の部

| 款       | 項 | 科 目   | 予 算 案   | 決 算 額     | 予算との差額     | 備 考   |
|---------|---|-------|---------|-----------|------------|-------|
| 1       |   | 人件費   | 90,000  | 60,000    | 30,000     |       |
|         | 1 | 人件費   | 90,000  | 60,000    |            | 通訳礼金  |
| 2       |   | 通信費   | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 1 | 通信費   | 0       | 0         |            |       |
| 3       |   | 会場費   | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 1 | 会場費   | 0       | 0         |            |       |
| 4       |   | 講演費   | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 1 | 講師料   | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 2 | 材料費   | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 3 | 昼食費   | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 4 | 印刷費   | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 5 | その他   | 0       | 0         | 0          |       |
| 5       |   | 事務費   | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 1 | 事務費   | 0       | 0         |            |       |
| 6       |   | 会議費   | 0       | 37,460    | -37,460    |       |
|         | 1 | 会議費   | 0       | 37,460    |            | 会議出張費 |
| 7       |   | 雑費    | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 1 | 雑費    | 0       | 0         |            |       |
| 8       |   | 予備費   | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 1 | 予備費   | 0       | 0         |            |       |
| 9       |   | 学会関連費 | 100,000 | 177,391   | -77,391    |       |
|         | 1 | 学会関連費 | 100,000 | 177,391   |            | 学会出張費 |
| 10      |   | 大学関連費 | 0       | 0         | 0          |       |
|         | 1 | 大学関連費 | 0       | 0         |            |       |
| 支 出 合 計 |   |       | 190,000 | 274,851   | -84,851    |       |
| 11      |   | 繰越金   | 93,239  | 5,358,388 |            | 次年度繰越 |
|         | 1 | 繰越金   | 93,239  | 5,358,388 |            |       |
| 合 計     |   |       | 283,239 | 5,633,239 | -5,350,000 |       |

# 令和5年度福岡歯科大学同窓会会計収支予算書

収 入 額 32,601,000円 支 出 額 32,560,000円  
前年度繰越金 24,753,453円 次年度繰越金 24,794,453円

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

## 収入の部

単位：円

| 款 項 | 科 目          | 前年度決算額     | 本年度予算額     | 決算額との差額    | 備 考                        |
|-----|--------------|------------|------------|------------|----------------------------|
| 1   | 会費・入会金       | 25,240,000 | 26,000,000 | 760,000    |                            |
| 1   | 1 会員         | 24,280,000 | 24,000,000 | -280,000   | 会費及び入会金（国試合格者34名含み）        |
| 2   | 2 準会員        | 960,000    | 2,000,000  | 1,040,000  | 入会金（学生）                    |
| 2   | 学術           | 6,982,000  | 5,600,000  | -1,382,000 |                            |
| 1   | 1 講演会        | 2,530,200  | 1,300,000  | -1,230,200 | b 講演会                      |
| 2   | 2 臨床セミナー     | 979,000    | 2,300,000  | 1,321,000  | 第39～41回臨床セミナー              |
| 3   | 3 スキルアップセミナー | 1,287,800  | 1,200,000  | -87,800    | 2023年度臨床スキルアップセミナー（ハイブリット） |
| 4   | 4 抄録広告・CM料   | 1,628,000  | 800,000    | -828,000   | 講演会・スキルアップセミナー企業CM/ 広告料    |
| 5   | 5 助成金        | 557,000    | 0          | -557,000   |                            |
| 3   | 雑収入          | 1,240,084  | 1,001,000  | -239,084   |                            |
| 1   | 1 預金利息       | 84         | 1,000      | 916        | 普通預金利息                     |
| 2   | 2 広告料        | 875,000    | 800,000    | -75,000    | 同窓会誌広告                     |
| 3   | 3 求人広告       | 185,000    | 100,000    | -85,000    |                            |
| 4   | 4 その他        | 60,000     | 100,000    | 40,000     |                            |
| 5   | 5 寄付金        | 120,000    | 0          | -120,000   | 同封手数料                      |
|     | 小 計          | 33,462,084 | 32,601,000 | -861,084   |                            |
| 4   | 前受金          | 331,000    | 0          |            |                            |
| 1   | 1 前受金        | 331,000    | 0          |            | 学術セミナー受講料                  |
| 5   | 預り金          | -277,280   | 0          |            |                            |
| 1   | 1 預り金        | -277,280   | 0          |            | 一時預かり分                     |
| 6   | 未収入金         | -179,000   | 0          |            |                            |
| 1   | 1 未収入金       | -179,000   | 0          |            | 講演会クレジット決済分                |
| 7   | 前年度繰越金       | 17,110,927 | 24,753,453 | 7,642,526  | 前年度から繰越                    |
| 1   | 1 前年度繰越金     | 17,110,927 | 24,753,453 | 7,642,526  |                            |
|     | 合 計          | 50,447,731 | 57,354,453 | 6,906,722  |                            |

## 支出の部

| 款 項 | 科 目        | 前年度決算額     | 本年度予算額     | 決算額との差額    | 備 考                  |
|-----|------------|------------|------------|------------|----------------------|
| 1   | 人件費        | 5,158,532  | 6,910,000  | 1,751,468  |                      |
| 1   | 1 人件費      | 5,158,532  | 6,910,000  | 1,751,468  | 外部委託、パート・アルバイト込      |
| 2   | 通信費        | 946,895    | 1,100,000  | 153,105    |                      |
| 1   | 1 通信費      | 946,895    | 1,100,000  | 153,105    | 通信費・郵送料他             |
| 3   | 事務費        | 841,439    | 710,000    | -131,439   |                      |
| 1   | 1 事務費      | 841,439    | 710,000    | -131,439   | コピー代、消耗品他            |
| 4   | 連絡会議費      | 2,750,456  | 2,700,000  | -50,456    |                      |
| 1   | 1 連絡会議費    | 2,750,456  | 2,700,000  | -50,456    | 各会議・WEB 会議費用弁償等      |
| 5   | 広報印刷費      | 2,085,966  | 2,380,000  | 294,034    |                      |
| 1   | 1 広報印刷費    | 2,085,966  | 2,380,000  | 294,034    | 同窓会誌                 |
| 6   | 慶弔費        | 152,996    | 430,000    | 277,004    |                      |
| 1   | 1 慶弔費      | 152,996    | 430,000    | 277,004    |                      |
| 7   | 学術費        | 3,711,038  | 5,600,000  | 1,888,962  |                      |
| 1   | 1 学術費      | 3,711,038  | 5,600,000  | 1,888,962  | 学術事業関係               |
| 8   | 渉内費        | 2,224,365  | 3,200,000  | 975,635    |                      |
| 1   | 1 渉内費      | 2,224,365  | 3,200,000  | 975,635    | 府県同窓会総会・学術講演会助成金・出張費 |
| 9   | 渉外費        | 3,045,894  | 3,930,000  | 884,106    |                      |
| 1   | 1 渉外費      | 3,045,894  | 3,930,000  | 884,106    | 渉外活動費・学会助成金          |
| 10  | 雑費         | 9,502      | 100,000    | 90,498     |                      |
| 1   | 1 雑費       | 9,502      | 100,000    | 90,498     |                      |
| 11  | 予備費        | 0          | 1,000,000  | 1,000,000  |                      |
| 1   | 1 予備費      | 0          | 1,000,000  | 1,000,000  |                      |
| 12  | 積立金        | 4,500,000  | 4,500,000  | 0          |                      |
| 1   | 1 名簿積立金    | 600,000    | 600,000    | 0          |                      |
| 2   | 2 退職金積立金   | 200,000    | 200,000    | 0          |                      |
| 3   | 3 備品積立金    | 200,000    | 200,000    | 0          |                      |
| 4   | 4 周年記念準備基金 | 1,000,000  | 2,500,000  | 1,500,000  | 同窓会周年記念事業の積立金        |
| 5   | 5 学園協力積立金  | 2,500,000  | 1,000,000  | -1,500,000 | 学園施設改修等事業協力基金        |
|     | 小 計        | 25,427,083 | 32,560,000 | 7,132,917  |                      |
| 13  | 前払費用       | 267,195    | 0          |            | 次年度経費分               |
| 1   | 1 前払費用     | 267,195    | 0          |            |                      |
|     | 小 計        | 25,694,278 | 32,560,000 |            |                      |
| 14  | 次年度繰越金     | 24,753,453 | 24,794,453 | 41,000     |                      |
| 1   | 1 次年度繰越金   | 24,753,453 | 24,794,453 | 41,000     |                      |
|     | 合 計        | 50,447,731 | 57,354,453 | 6,906,722  |                      |

特別会計

令和5年度福岡歯科大学同窓会特別支援事業収支予算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

収入の部

単位：円

| 款 項     | 科 目   | 前年度決算額    | 予 算 案      | 予算との差額    | 備 考                      |
|---------|-------|-----------|------------|-----------|--------------------------|
| 1       | 参加費   | 0         | 7,000,000  | 7,000,000 |                          |
|         | 1 参加費 | 0         | 7,000,000  |           | 2023年度 ICOI 受講料（10名参加予定） |
| 2       | 雑収入   | 1         | 0          | -1        |                          |
|         | 1 雑収入 | 1         |            |           | 預金利息                     |
| 小 計     |       | 1         | 7,000,000  | 6,999,999 |                          |
| 3       | 前受金   | 5,350,000 | -5,350,000 |           |                          |
|         | 1 前受金 | 5,350,000 | -5,350,000 |           | 前年受付振替                   |
| 小 計     |       | 5,350,000 | -5,350,000 |           |                          |
| 4       | 繰入金   | 283,239   | 5,358,389  | 5,075,150 | 前期繰越金                    |
|         | 1 繰入金 | 283,239   | 5,358,389  |           |                          |
| 小 計     |       | 283,239   | 5,358,389  | 5,075,150 |                          |
| 収 入 合 計 |       | 5,633,240 | 7,008,389  | 1,375,149 |                          |

支出の部

| 款 項     | 科 目     | 前年度決算額    | 予 算 案     | 予算との差額     | 備 考                   |
|---------|---------|-----------|-----------|------------|-----------------------|
| 1       | 人件費     | 60,000    | 90,000    | 30,000     | NYU コース インストラクター費用    |
|         | 1 人件費   | 60,000    | 90,000    |            |                       |
| 2       | 通信費     | 0         | 50,000    | 50,000     |                       |
|         | 1 通信費   | 0         | 50,000    |            | 郵送料等（一般会計へ振替）         |
| 3       | 会場費     | 0         | 0         | 0          |                       |
|         | 1 会場費   | 0         |           |            |                       |
| 4       | 講演費     | 0         | 3,400,000 | 3,400,000  |                       |
|         | 1 講師料   | 0         | 2,500,000 | 2,500,000  | 講師・インストラクター礼金、交通費・宿泊代 |
|         | 2 材料費   | 0         | 500,000   | 500,000    | 材料・機材費                |
|         | 3 昼食費   | 0         | 300,000   | 300,000    |                       |
|         | 4 印刷費   | 0         | 100,000   | 100,000    |                       |
|         | 5 その他   | 0         |           | 0          |                       |
| 5       | 事務費     | 0         | 0         | 0          |                       |
|         | 1 事務費   | 0         |           |            | 事務手数料                 |
| 6       | 会議費     | 37,460    | 100,000   | 62,540     |                       |
|         | 1 会議費   | 37,460    | 100,000   |            |                       |
| 7       | 雑費      | 0         | 100,000   | 100,000    |                       |
|         | 1 雑費    | 0         | 100,000   |            |                       |
| 8       | 予備費     | 0         | 200,000   | 200,000    |                       |
|         | 1 予備費   | 0         | 200,000   |            |                       |
| 9       | 学会関連費   | 177,391   | 1,600,000 | 1,422,609  |                       |
|         | 1 学会関連費 | 177,391   | 1,600,000 |            | 学会関連関係（学会本部へ納める会費を含む） |
| 10      | 大学関連費   | 0         | 0         | 0          |                       |
|         | 1 大学関連費 | 0         |           |            |                       |
| 小 計     |         | 274,851   | 5,540,000 | 5,265,149  |                       |
| 11      | 繰越金     | 5,358,389 | 1,668,389 | -3,690,000 | 次年度繰越                 |
|         | 1 繰越金   | 5,358,389 | 1,668,389 |            |                       |
| 支 出 合 計 |         | 5,633,240 | 7,208,389 | 1,575,149  |                       |

# 福岡歯科大学同窓会会則

## 第1章 総 則

### 第1条 名 称

本会は、福岡歯科大学同窓会と称する。

### 第2条 組 織

1. 本会は、福岡歯科大学（大学院を含む）を卒業（修了）した者及び福岡歯科大学在校生で組織する。
2. 本会は、各地区、学校法人福岡学園勤務の同窓との連携を計り、会務運営の円滑を期待するために地区会、学内同窓会を置くことができる。
3. 地区会の区割り及び学内同窓会、その他必要な事項については別に規則を定める。

### 第3条 目 的

本会は歯科界、並びに母校の発展に寄与し、併せて会員の福祉及び会員相互の親睦を図ることを目的とする。

### 第4条 事 業

本会は、第1章第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 母校の発展に関すること。
2. 会員の福祉増進及び親睦に関すること。
3. 歯科医学の向上に関すること。
4. その他本会の目的に関すること。

### 第5条 事務局

本会は事務局を福岡市早良区田村2丁目15-1、福岡歯科大学内に置き所在地とする。

## 第2章 会 員

### 第6条 会 員

本会は次の会員を以って組織する。

1. 正会員 福岡歯科大学（大学院を含む）卒業（修了）者で、第2章第7条第1項を満足するものとする。
2. 準会員 福岡歯科大学在校生。

### 第7条 会員の権利と義務

1. 会員は居住、又は就業する地域の地区会都道府県同窓会に所属することを原則とする（但

し、学内同窓会に所属する会員は、この限りではない）。

2. 会員は本会の主催する事業に参加し、本会の発行する機関誌及び印刷物の頒布を受け、若しくは購入することができる。
3. 会員は総会に出席し、意見を述べることができる。
4. 会員は、総会並びに評議員会の決定事項を遵守する義務を有する。
5. 会員は、住所を異動した場合、所属の都道府県同窓会を経由して本会に届け出なければならない。
6. 会員が死亡又は除名されたときは、本会会員の身分を失ったものとする。
7. 会員が本会を退会するときは、その旨を記載した書面を本会に提出しなければならない。
8. 正会員は、総会において議事を審議し、議決権を有する。また役員になることができる。
9. 準会員は、本校在学者とし、正会員としての権能は有しない。

## 第3章 名誉会長・名誉会員・特別会員・臨床研修会員

### 第8条 名誉会長・名誉会員・特別会員・臨床研修会員

本会に名誉会長、名誉会員、特別会員、臨床研修会員を置くことができる。また、前項の会員は、本会の研修会等に出席し学術研究を発表し、あるいは本会の会誌及び刊行物の配布を受けまたは購入することができる。本条の会員は前項のほか、正会員の権利を有しない。但し、本会員の正会員で名誉会員に推薦された者はこの限りではない。

1. 名誉会長は、理事会の議決を経て会長が推薦する。任期は、会長の在任期間とする。
2. 名誉会員は、母校並びに本会に対して特に功労があった者を評議員会の議決を経て会長が推薦する。
3. 特別会員は、退職した母校の教授、または母

## 〈会則〉

校並びに本会に対して特に功労があった者を理事会の議決を経て会長が推薦する。

4. 臨床研修会員は、他大学卒業の歯科医師法に定める臨床研修歯科医師で、本学で臨床研修を行っている者を会長が推薦する。また、会員の資格は臨床研修の期間とする。

## 第4章 会費及び負担金

### 第9条 会費及び負担金

1. 会員は本会所定の入会金、会費、及び負担金を本会へ納入しなければならない。
2. 入会金、会費及び負担金の額ならびに支払いの方法は、総会で決める。

### 第10条 会費の減免

本会の会員にして長期疾病及び災害等により本会所定の会費の支払いが極めて困難な者は、都道府県同窓会会長の申請に基づき理事会の議を経て、復帰するまでの期間を前提として会費を減免、またはその納入を猶予することができる。但し、都道府県同窓会を経由することが困難な場合には、本部へ直接減免願いを提出することができる。

### 第11条 会費の返還

本会に納入された入会金、年会費及び負担金はいかなる理由があっても返還しない。

### 第12条 負担金その他

本会は、評議員会、総会の承認を経て負担金を徴収することができる。

## 第5章 役員

### 第13条 役員の種別と定数

本会に次の役員を置く。

1. 会 長 1名
2. 副会長 若干名
3. 理 事 若干名
4. 監 事 3名以内

### 第14条 役員の選出

1. 会長、監事は選挙規則に従い、評議員会において正会員の中から選出する。但し、監事は他役員を兼任できない。
2. 副会長、理事、委員は会長が指名する。

## 〈会則〉

3. 理事の内、1名を専務理事、若干名を常務理事とする。

### 第15条 役員の職務

1. 会長は本会を代表し、会務を総理する。
2. 会長は総会、評議員会、理事会、委員会、地区会長会議を招集する。
3. 会長は、理事会の決議を要する事柄でありながら、緊急必要事項については専決することができる。但し、後日理事会へ報告しなければならない。
4. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時または欠けた時は会長の職務を代行する。
5. 専務理事は、会長の旨を受け会務を掌理し、会長及び副会長共に事故ある時または欠けた時はその職務を代行する。
6. 常務理事は、会長の旨を受けその担当業務を掌理して専務理事を補佐する。
7. 各前号に定める以外の理事は、会長の旨を受けて会務を分掌して会長を補佐する。
8. 監事は本会の業務と会計を監査し、評議員会、総会に報告しなければならない。

### 第16条 役員の任期

1. 会長、監事及び役員、委員の任期を2年とする。但し、再任を妨げない。
2. 役員は任期満了後も、後任が選出されるまでは、その職務を行う。

### 第17条 役員の補充

副会長、理事の欠員が生じた時は、本会会則5章第14条に従い補充することができる。その任期は前任者の残留任期とする。

### 第18条 顧問・最高顧問・特別顧問

本会は、顧問・最高顧問・特別顧問を置くことができる。顧問・最高顧問・特別顧問は会長が推薦し委嘱する。顧問・最高顧問・特別顧問は原則として本学同窓生とする。顧問・最高顧問・特別顧問の任期は、委嘱した会長の在任期間とする。顧問・最高顧問・特別顧問は会長の諮問にこたえ本会の各種会議に出席して意見を述べることができる。ただし表決に加わることはできない。

## 第6章 評 議 員

### 第19条 評議員

1. 本会に評議員を置く。
2. 評議員は第13条で規定する役員と兼ねることができない。

### 第20条 選任等

1. 評議員は正会員で地区会、学内同窓会より選出される。
2. 評議員の選任数は、地区会、学内同窓会における1月末日現在の本会会員50名までに対して1名、50名を超える場合は、50名までごとに1名の割合で加えた数の評議員を上限として選出するものとする。
3. 地区会、学内同窓会は評議員に変更がある場合は、速やかに本会に報告しなければならない。
4. 評議員の任期は2年とし、選任された年の4月1日に始まる。

### 第21条 職務及び権能

1. 評議員は評議員会に出席し、地区会、学内同窓会の同窓会会員の意見を反映させると共に、その決定事項を地区会、学内同窓会の同窓会会員に報告しなければならない。
2. 評議員は、評議員会で会則その他の規定で定められていることを審議し、又は、本会の目的、事業について意見を述べることができる。

### 第22条 職務代理及び代行

評議員に事故ある時または欠けた時は、当該地区より評議員会の議長宛に委任状を提出するか、または当該地区より代理人は書面をもって指定し届ける事とする。代理人は、評議員と同等の権利と義務を有する。

## 第7章 会 議

### 第23条 会議の種類

1. 本会の会議は、総会・評議員会・常務理事会・理事会・委員会・地区会会長会議とする。但し、会長は必要に応じ会議を開催することができる。
2. 評議員会を本会の最高議決会議とする。

## 第8章 総 会

### 第24条 構成・種別及び開催等

1. 総会は正会員を以って構成し、議決、報告及び承認する。
2. 総会は定時総会と臨時総会とする。
3. 定時総会は毎年1回原則として5月に開催する。
4. 臨時総会は、会長が必要と認めた場合に開催する。

### 第25条 招 集

1. 評議員の3分の2以上又は監事から、臨時総会の招集の要求があった場合は、会長はできるだけ早く臨時総会を招集しなければならない。
2. 会長は総会を招集しようとする時は、事前に日時、場所及び会議の目的を示した書面を以って会員に知らせなければならない。

### 第26条 総会の権能

総会では、次の事項を承認又は議決し会員へ報告しなければならない。

1. 評議員会の決議承認事項
2. 会務全般にわたる事項
3. その他、総会において必要と認めた事項

### 第27条 議長及び副議長

総会の議長及び副議長は出席正会員の中から選出する。

### 第28条 委任規定

議事規則は、別に定める。

## 第9章 評 議 員 会

### 第29条 構成・種別及び召集

評議員会は評議員を以って構成する決議機関である。

1. 評議員会は定時評議員会と臨時評議員会とする。
2. 定時評議員会は総会開催前に会長が招集する。
3. 臨時評議員会は会長が必要と認めた時、あるいは全評議員の4分の1以上の要求があった時に招集する。
4. 評議員会は、委任状を含む全評議員の3分の

## 〈会則〉

2以上の出席で成立する。

### 第30条 意見陳述

役員は評議員会に出席して意見を述べることができるが、表決に加わることはできない。

### 第31条 評議員会の権能と総会への上程

評議員会では次の事項を行い承認又は議決を経てこれを総会へ上程する。

1. 会則及び諸規則改正の審議
2. 会長選出
3. 前年度会計報告の審議並びに承認
4. 前年度会務及び事業報告の審議並びに承認
5. 新年度予算案の審議並びに承認
6. 役員の承認
7. 入会金、会費及び負担金の金額並びに徴収方法の決定
8. 本会の目標達成に必要な事業で経費を要するものの承認
9. その他の必要と認める事項

### 第32条 議長及び副議長

評議員会の議長及び副議長は評議員で互選する。

### 第33条 委任規定

議事規則は別に定める。

## 第10章 常務理事会

### 第34条 常務理事会の構成

常務理事会は、会長、副会長、専務理事、常務理事を以って構成し会長が随時必要な場合にこれを招集する。

### 第35条 権能

常務理事会は、常務会務並びに緊急を要する会務に関することを執行する機関であり、会長がこれを招集する。

1. 常務理事会で処理した事項は、理事会に報告しなければならない。

## 第11章 理 事 会

### 第36条 理事会の構成及び招集

1. 理事会は、本会の会務全般を執行する機関であり、会長がこれを招集する。
2. 理事会は、会長、副会長、専務理事、常務理

## 〈会則〉

事、理事、委員を以って構成し、会長が随時必要な場合にこれを招集する。

### 第37条 理事会の権能

理事会は本会の業務に必要な事項の審議を行う。

1. 総会及び評議員会の招集に関する事項とこれに付議する事項
2. 会費の減免に関する事項
3. その他本会の運営業務執行に関する事項

### 第38条 監事の権能

監事は随時出席して意見を述べることができるが表決に加わることはできない。

## 第12章 委 員 会

### 第39条 委員会

1. 会長は、必要に応じて理事会の同意を得て、委員会を置くことができる。
2. 委員会は、理事会の議を経て会長が委嘱した委員で構成する。
3. 委員会の種類、構成、活動は必要に応じ理事会で決定する。
4. 会長は随時必要な場合にこれを招集することができる。

### 第40条 委員会の事業

委員会は、会務処理の円滑を図るため次の事業部を置き、常務理事会が各委員会を統括をする。

1. 総務
2. 福祉厚生
3. 組織
4. 広報・企画情報
5. 学術
6. 学内統括
7. 会計

### 第41条 臨時委員会

1. 会長は、特別な行事及び重要な問題が生じた時に理事会の承認を経て臨時委員会を設置することができる。
2. 会長が委員長を指名し、会長及び委員長が必要に応じ委員を選任する。

### 第42条 特別委員会

1. 会長は、特別な行事及び重要な問題が生じた

ときに評議員会の承認を経て特別委員会を設置することができる。

2. 会長が委員長を指名し、会長及び委員長が必要に応じ委員を選任する。

### 第13章 地区会会長会議

#### 第43条 地区会会長会議

本会議は、会長が必要と認めたとき随時開催することができる。

### 第14章 選挙管理委員会

#### 第44条 選挙管理委員会

1. 本会に選挙管理委員会を置く。
2. 選挙管理委員会は、選挙管理委員をもって組織する。
3. 選挙管理委員会の構成及び任務その他必要なことは、選挙規則で定める。

### 第15章 会計及び財産

#### 第45条 会計年度

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

#### 第46条 財産の構成

本会の財産は、次にあげるものをもって構成する。

1. 入会金
2. 年会費
3. 寄付金
4. 前年度の繰越金
5. その他の収入

#### 第47条 財産の管理

本会の財産は、会長が代表としてこれを管理し、毎年その状況を評議員会、総会で報告しなければならない。

#### 第48条 経費の支弁

本会の経費は、財産をもって支弁する。

#### 第49条 委任規定

本規則に定める以外の財産の管理及び会計に関する規則は別に定める。

### 第16章 賞 罰

#### 第50条 表 彰

会員で本会に功労のあった者、及び医療界に貢献した者は、評議員会の議決によって表彰することができる。

#### 第51条 処 罰

会員で本会の目的趣旨に反し、またはその体面を汚したものは総会の議決によって適当な処置を講ずる。

### 第17章 会則の改正

#### 第52条 会則の改正

本会則の改正には、評議員会及び総会において出席者の3分の2の賛成を以って議決されることを要する。

#### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成20年5月24日から施行する。
3. この規則は平成23年5月28日から施行する。
4. この規則は平成26年4月1日から施行する。
5. この規則は平成29年5月27日から施行する。
6. この規則は令和元年5月25日から施行する。
7. この規則は令和4年6月11日から施行する。

## 〈地区会設置規則〉

# 福岡歯科大学同窓会地区会設置規則

第1条 本規則は本会会則第1章第2条第3項により定める。

1. 地区会は、地区会会長を選出できる。
2. 地区会に都道府県同窓会を置くことができる。

第2条 地区会の目的

1. 会務運営の円滑を期するため地区会を置く。
2. 地区会は当該地域内の都道府県同窓会、本部同窓会及び母校の発展に関する協議を行う機関とする。

第3条 地区会、都道府県同窓会の設置

各地区においては下記のように7地区（ブロック）に分割し地区の中に都道府県同窓会を置く。但し、福岡県に限っては4分割設置し、関東地区においてはこの限りでない。

福岡県地区会

（福岡県東、福岡県西、福岡県南、福岡県北）  
同窓会

九州地区会

（長崎県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、  
鹿児島県、沖縄県）同窓会

中国地区会

（山口県、広島県、島根県、鳥取県、岡山県）  
同窓会

四国地区会

（愛媛県、高知県、香川県、徳島県）同窓会

近畿地区会

（兵庫県、大阪府、京・滋、奈良県、和歌山県）  
同窓会

中部地区会

（福井県、岐阜県、愛知県、三重県、石川県、  
富山県、長野県、静岡県）同窓会

関東地区会

（関東以北の都道府県を含む）

第4条 地区会の任務

1. 地区会は評議員を選出する。
2. 地区会は次の事項を本会に届けなければならない。

（1）役員の名簿

（2）会員の異動

（3）会員の死亡、若しくは不慮の災害が生じた場合

第5条 地区会会長

地区会会長は、地区会から選出し、本部長が指名する。地区会会長は地区会を代表して次の任務を行う。

1. 地区会会長は地区の同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 地区会会長は本部との連絡を密にし、地区会の決定事項、実施した事項及び本会本部に対する要望事項、その他必要な事項を本部長に報告しなければならない

第6条 都道府県同窓会会長

都道府県同窓会会長は、都道府県同窓会会員から選出し、本部長が指名する。都道府県同窓会会長は都道府県同窓会を代表して次の任務を行う。

1. 都道府県同窓会会長は都道府県同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 都道府県同窓会会長は地区会、本部との連絡を密にし、都道府県同窓会の決定事項、実施した事項及び地区会、本部に対する要望事項、その他必要な事項を地区会会長に報告しなければならない。

第7条 会議

1. 地区会会長は、必要に応じて会議を開催することができる。
2. 地区会会長は、会議に本部役員の出席が必要な場合、必要な役員を招聘することができる。
3. 近隣の地区会との協議が必要な場合は、合同で開催することができる。

〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成20年5月24日から施行する。
3. この規則は平成26年4月1日から施行する。
4. この規則は平成28年6月11日から施行する。
5. この規則は平成30年6月2日から施行する。

## 〈地区会設置規則〉

## 福岡歯科大学同窓会学内同窓会規則

第1条 本規則は本会会則第1章第2条第3項により定める。

1. 学内同窓会は、学内同窓会会長を選出することができる。

第2条 組 織

1. 学内同窓会は、福岡歯科大学（大学院を含む）を卒業（修了）したもの、準会員及び学内勤務会員で組織する。

第3条 学内同窓会の目的

1. 会務運営の円滑を期するため学内同窓会を置く。
2. 学内同窓会は、本部同窓会及び母校の発展に関する協議を行う。

第4条 学内同窓会の任務

1. 学内同窓会は評議員を選出する
2. 学内同窓会は次の事項を本会に届けなければならない。
  - （1）会員の名簿
  - （2）会員の異動
  - （3）会員の死亡、若しくは不慮の災害が生じた場合

第5条 会 員

学内同窓会正会員

本会正会員で学校法人福岡学園勤務の者。

準会員

本会の準会員

第6条 学内勤務会員

学校法人福岡学園に5年以上勤務で、学内同窓会会長が推薦し本部理事会の議決を得て、会長が指名した者で、会費は正会員に準ずる。但し、正会員としての権能を有しない。

第7条 学内同窓会会長

学内同窓会会長は、学内同窓会会員から選出し本部の会長が指名する。学内同窓会会長は学内同窓会を代表して次の任務を行う。

1. 学内同窓会会長は学内同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 学内同窓会会長は本部との連絡を密にし、学内同窓会の決定事項、実施した事項及び本会に対する要望事項、その他必要な事項を本部長に報告しなければならない。

〔附 則〕

1. この規則は平成26年4月1日から施行する。

## 福岡歯科大学同窓会総会議事規則

### 第1章 会議の開閉

- 第1条 この規則は、本会会則第8章第28条に基づいて定めるものとする。
- 第2条 議事日程に記載した事項の議事が終わったときは、議長は散会を宣告する。会議を終わらない場合でも、議長は、過半数の賛成を得て延会又は散会をすることができる。
- 第3条 議長が会議を宣告する前、又は散会若しくは延会を宣告した後は、何人も議事について発言することはできない。
- 第4条 議事日程には、会議の日時及び会議に付する事項並びにその順序を記載しなければならない。

### 第2章 議 事

#### 第1節 審 議

- 第5条
1. 審議中発言せんとする会員は、手を挙げ議長の許しを得て発言しなければならない。
  2. 二人以上発言を求めたときは、議長はその発言の順序を決めることを要する。
- 第6条 すべての問答は、議長に向かってしなければならない。
- 第7条 一議案の審議中は、他の議案について発言することはできない。
- 第8条 発言は、個人の事柄にわたってはならない。
- 第9条
1. 会員が発議しようとするときは、その理由を付し、建議を添え、5人以上の賛成者とともに連署して会議の2週間前までに会長に提出しなければならない。
  2. 動議は、5人以上の賛成者を得て提出することができる。
  3. 議長は、第1項・第2項に規定する発議及び動議について議場に諮り、出席者の過半数の賛成を得た場合、これを議題とすることができる。

#### 第2節 決 議

- 第10条 出席者は特別の理由がない限り、可否いずれかの数に加わらなければならない。

- 第11条 議長表決をとるときは、表決に附する事項を明らかにしなければならない。議長表決に附する事項を宣言した後は、何人も議案について発言することはできない。
- 第12条 賛否は出席者の過半数で決める。賛否を決める方法は、議長が適宜決める。賛否が同数のときは議長が決める。
- 第13条 修正案は、原案より先に賛否を決めなければならない。同一の議案について数個の修正案が提出された場合は議長が採決の順序を決める。その順序は、原案に最も遠いものから先に採決する。
- 第14条 修正案が全部否決されたときは、原案について賛否を決める。
- 第15条 修正案及び原案が共に過半数の賛成を得なかった場合は、委員会を設置して更に修正案を提出させることができる。
- 第16条 議決の条項中、字句の整理を議長に委任することができる。
- 第17条 討論終結及び散会、休憩の合議は、討論を用いないで議長が決める。
- 第18条 議長は、議事を妨げると認めるものがあるときは、退場を命ずることができる。
- 第19条 議長は、議事整理のためやむを得ないときは出席者の発言を止め又は中止することができる。

### 第3章 議 事 録

- 第20条 議事録には次の事項を記載する。
1. 総会の名称と開会の年月日時
  2. 出席者の氏名
  3. 会議に附した議案の題目
  4. 議題となった動議及び発議者の氏名
  5. 議決事項
  6. 賛否の数を計算したときはその数
  7. 議長において必要と認めた事項
- 第21条 議事録は、議長の指名した会員2人がこれに署名捺印しこれを本会に保管する。

#### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会評議員会議事規則

## 第1章 総 則

### 第1条 趣 旨

この規則は、本会会則第9章第33条に基づいて定めるものとする。

### 第2条 氏名点呼

開議の時刻に至るときは、執行部はその席に着き、出席評議員の氏名を点呼する。

### 第3条 会議の開閉

1. 議長は、前条による氏名点呼の結果、定足数に達していることを確認したときは、開会を宣言する。
2. 会議の閉会は議長が宣言する。

### 第4条 欠席の届出

1. 評議員が欠席しようとするときは、予め議長に委任状と共に届けなければならない。
2. 評議員は、出席できないときは、その職務を代理する代理人を議長に届け出なければならない。

## 第2章 議 事

### 第5条 議題の宣言

議長は、会議に付する案件を議題とするときは、その旨を宣言する。

### 第6条 一括議題

議長は、必要があると認められるときは、2件以上の案件を一括して議題とすることができる。

### 第7条 案件の説明と質問

会議に付する案件は会議において提出者の説明を聞き、質問がある時は質問を行わせ、質問が終わった時は討論に付しその終結の後、表決に付する。

### 第8条 議決案件の条項、字句及び数字等の整理

評議員会は、議決の結果生じた条項、字句、数字、その他の整理については議長に委任することができる。

## 第3章 発 言

### 第9条 発言の許可等

1. 評議員が発言しようとするときは、挙手により議長を呼び自己の地区名と姓名を告げ、議長の許可を得なければならない。
2. 2人以上の挙手により発言を求めたときは、議長は先に挙手をした者と認めた者を指名して発言させる。
3. 評議員の発言は、すべて議長に向かってこれをなさなければならない。

### 第10条 発言内容

1. 発言はすべて簡明を旨とし、重複を避け、議題外にわたり又はその範囲を超えてはならない。
2. 議長は、その発言が前項の規定に反すると認めるときは注意をし、なお従わないときは発言を禁止することができる。
3. 評議員は、議題になっている案件に限り、質問をすることができる。

### 第11条 発言時間

1. 議長は、必要があると認めるときは予め発言時間を定めることができる。
2. 前項により、発言時間の定めをした場合に、評議員の発言がその予定時間を超えたときは、議長は注意し、又は発言の中止を命ずることができる。

### 第12条 議事進行に関する発言

1. 議事進行に関する発言は、議題に直接関係あるものについて、又は議事進行上の問題について、質問し、注意し、又は希望を述べるものでなければならない。
2. 議事進行の発言が、その趣旨に反すると認めるときは、議長は直ちに制止しなければならない。

### 第13条 議長の発言及び討論

1. 議長が討論しようとするときは、案件朗読後評議員席に着き代理者を議長席に着かせなければならない。

## 〈評議員会議事規則〉

2. 議長が討論したときは、その議題の表決が終わるまで議長席に復することができない。

### 第14条 質疑又は討論の終結

質問又は討論が終わったときは、議長はその終結を宣告する。

1. 発言が尽きないときは、評議員から質疑又は討論終結の動議を提出することができる。
2. 前項の動議が提出されたときは、議長は直ちに表決しなければならない。

## 第4章 議 決

### 第15条 表決事項の宣告

議長は、議決しようとするときは、議決に付する議案又は動議の内容を宣告しなければならない。

### 第16条 挙手による表決

表決は、挙手により議長はその多少を認定して可否を宣告する。

### 第17条 修正案の採決の順序

1. 修正案は、原案より先に採決しなければならない。
2. 同一の議案について数個の修正案が出された場合は、議長が採決の順序を定める。その順序は原案に最も遠いものから採決する。
3. 修正案がすべて否定されたときは、原案について採決しなければならない。

## 第5章 発議と動議

### 第18条 発 議

評議員会において評議員が議案を提出しようとするときは、提案理由を付し、5人以上の賛成者とともに連署して、開催日の2週間前までに会長に提出することができる。

### 第19条 動 議

動議は、5人以上の賛成者を得て提出することができる。

## 第6章 議 事 録

### 第20条 議事録の作成

議長は、評議員会の会期ごとに議事録を作成しなければならない。

### 第21条 議事録署名人

議事録は、議長及び当日議長の指名した出席評議員2名がこれに署名捺印し、これを本会に保管する。

### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日から施行する。

## 〈評議員会議事規則〉

# 福岡歯科大学同窓会監査規則

## 第1章 総 則

第1条 本会会則第5章第15条第8項の規定に基づいて監事が行う監査は、この規則に定めるところによる。

第2条 監査は会務運営と財産管理の全般について、その実態を正確に把握し運営の合理化と業務の改善に資すると共に過誤を防止し、財産の保全を図ることを目的とする。

第3条 監事は、前条の目的を達成するため経理の適正と財産の保全の監査を行う。

第4条 監査は、公平不偏なる態度をもって事実に基づいて行い、想像推察によって事象を判断してはならない。

## 第2章 監査の方法・種別及び時期

第5条 監査の方法は、書類監査と実地監査とする。

第6条 監査の種別は、定時監査と臨時監査に分かれ、次の各号によることとする。

(1) 定時監査は年1回、4月に行う

(2) 臨時監査は必要と認めた場合

第7条 実地監査は年1回以上行うものとする。

第8条 監事は監査を実施するために役員又は事務局に対し、帳簿、諸報告書及び諸統計その他必要な資料の提出を命じ、又は事実の説明その他監査に必要な事項を要求することができる。

第9条 監査は、書類、帳簿、証拠書類等の記録に基づき、突合わせ、分析、実査、質問、立会い等必要と認める監査手段を選択適応して実施する。又、監査手段の選択適応については、その重要性、範囲、日数、効果等を勘案して決定する。

## 第3章 監 査 報 告

第10条 監事は、監査の都度、監査報告書を次により作成し、会長に提出するとともに、評議員会及び総会に監査の実地状況及び結果などを総括し、文書により報告するものとする。

第11条 会長は監査の結果に基づき対策及び措置を必要とするときは、速やかに理事会にはかり措置するものとする。

第12条 監事の監査報告書は、本会の運営管理全般に関し、有効な改善を計るための重要な資料とするものである。

## 第4章 補 則

第13条 役員の任期満了の年の年度会計決算書の監査は、新任監事で行い、旧監事が立会いするものとする。

### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日より施行する。

## 〈財産管理及び会計規則〉

# 福岡歯科大学同窓会財産管理及び会計規則

## 第1章 総 則

### 第1条 趣 旨

この規則は本会会則第47条に基づいて定めるものとする。

### 第2条 財産管理及び会計の責任者

1. 財産管理及び会計の最終責任者は、会長とする。
2. 会長は、財産管理及び会計について直接的責任を会員に対して負うものとし、会計担当役員がこれを補佐する。

### 第3条 予算統制

本会のすべての収入及び支出は、予算に基づいて統制を行う。

### 第4条 予算期間

予算は単年度予算とする。

### 第5条 予備費の設置

1. 不時の支出に充てるため予備費を設けることができる。

### 第6条 決算剰余金の次年度繰越

各会計年度において決算上剰余金を生じたときは、次年度に繰り越すものとする。

## 第2章 財産の管理

### 第7条 会計の資金区分

本会の会計は、次の資金区分による。

- (1) 一般会計資金  
本会の経常的な事業活動に使用される資金
- (2) 積立会計資金  
引当資金としての積立資金
- (3) 別途会計資金  
別途の事業資金

### 第8条 会計相互間の貸借の禁止

各会計相互間の貸借を禁ずる。ただし、評議員会の承認を得た場合はこの限りではない。

### 第9条 運用収益金

各会計の運用収益金は、各会計に繰り入れるものとする。

### 第10条 寄付金品の使途

使途を決めて寄付された金品はその使途に用い、決められていないものは評議員会に諮って使途を決める。

### 第11条 取引銀行・有価証券・固定資産

1. 次の事項は、会長が理事会の議を経て行う  
(1) 取引銀行の新設及び変更  
(2) 有価証券（電話債券を除く）の取得、売却、貸付、入質  
(3) 固定資産の購入、改良、売却、除去、賃借、入質
2. 前項の規定にかかわらず、次の事項は評議員会の承認を要する。  
(1) 多額の積立金の取引銀行の新設及び変更  
(2) 不動産の購入、改良、売却、除去、賃借、入質

### 第12条 金銭の定義

1. この規則で金銭とは、現金、預金および合同運用信託をいい、現金とは通貨のほか、小切手、郵便為替証書、振替貯金証書などをいう。
2. 公社債、債権などの有価証券及び手形は金銭に準ずるものとして扱う。

### 第13条 資金の範囲

本会において資金の範囲とは、次に掲げるものとする。

- (1) 第12条に規定する金銭
- (2) 短期間において入金或いは支払うべきことが確実な、未収、未払金等の債権債務

### 第14条 固定資産の定義

1. この規則で固定資産とは次に掲げるものをいう。ただし、時の経過によりその価値を減少する償却資産については、耐用年数が1年以上で1単位当たり取得価格が償却資産課税額のものをいう。

- (1) 有形固定資産  
土地、建物（建物付属設備含む）・構築物・備品（機械装置、車両運搬具、器具含む）

- (2) 無形固定資産  
借地権・施設利用権・電話加入権など
2. 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる資産は、会計書類上固定資産として仕訳する。  
(1) 長期預託を目的とした預金・合同運用信託、長期保有を目的とした有価証券など。

### 第15条 固定資産の取得価格

固定資産の取得価格は次の各号による。

- (1) 購入によるものは、購入価格に付帯費用を

## 〈財産管理及び会計規則〉

加算した金額

(2) 交換によるものは、交換に際し提供した物件の帳簿金額

(3) 贈与によるものは、評価額

#### 第16条 物品の定義

この規則で物品とは、事務用品等で耐用年数1ヶ月以上で、1単位当たり取得価格が5千円以上、償却資産課税額未満のものをいう。

### 第3章 会 費

#### 第17条 入会金及び年会費

正会員、準会員、勤務会員の入会金及び年会費は次のとおりとする。

1. 入会金 30,000円
2. 年会費 10,000円

#### 第18条 支払方法

1. 本会所定の入会金、会費並びに負担金は所属の都府県同窓会を経由して本会に支払わなければならない。但し、所属の都道府県同窓会を経由することが困難な場合には、直接本部に会費を支払うことを妨げない。
2. 会員は終身会員の資格を得るまでの本部同窓会会費を一括して納入することを認めることとする。但し、一括納入後はいかなる場合によっても会費の返金・追加徴収は行わないものとする。

### 第4章 会費の減額及び免除

#### 第19条 会費の免除

1. 本会の会員にして、通算40年を経過し、本会則4章第9条第1項の義務を果たしているものについては、評議員会の承認を得て、その会費を全額免除する。
2. 本学卒業以外の本病院所属臨床研修医は、年会費は正会員の2分の1とし、入会金は免除とする。
3. その他の特別会員・名誉会長・名誉会員は、会費、入会金は徴収しない。
4. 前項のほか会員のうち特別な事情ある者に対しては、理事会の決定により、会費を減免することができる。

### 第5章 予算の編成と執行

#### 第20条 予算編成

予算編成は、会長が理事会の議を経て行う。

#### 第21条 予算科目

1. 予算は、収支の性質、目的に従い、款、項の科目に区別する。
2. 予算科目は、事業計画との関連を明瞭に表示する名称を用いる。

#### 第22条 予算の補正

規程予算の変更を必要とするときは、会長は理事会の議を経て予算の補正を行い、評議員会の承認を求める。

#### 第23条 款相互間の流用の禁止

予算の執行にあたって、各款の予算金額は、相互に流用してはならない。

#### 第24条 予算執行上の理事会付議事項

次の事項は、会長が理事会の議を経て行い、次の評議員会で報告する。

- (1) 同一款内における各項の予算の流用
- (2) 緊急の必要にもとづく軽微なる予算の変更

### 第6章 決 算

#### 第25条 決算の作成時期

会長は、毎会計年度終了後2ヶ月以内に会計担当役員に決算書類の作成を求め、会長に提出する。

会長は理事会でこの決算書類を審議、監事の認証を得て、評議員会及び総会の承認を求める。

### 第7章 補 則

#### 第26条 委 任

この規則の施行についての必要な事項は、会長が理事会の議を経て定める。

#### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成24年5月26日から施行する。
3. この規則は平成26年4月1日から施行する。
4. この規則は平成30年6月2日から施行する。
5. この規則は令和元年5月25日から施行する。
6. この規則は令和4年6月11日から施行する。

## 福岡歯科大学同窓会福祉共済規則

### 第1章 総 則

第1条 この規則は、本会会則第1章第4条第2項に基づいて規定する。

第2条 本共済は、福岡歯科大学同窓会会員を以って組織し、会員相互扶助の精神に基づき、福祉厚生をはかることを目的とする。

第3条 前述の目的達成の為、次のことを行う。  
弔慰金、慰労金、会員の療養、火災、天災その他、福祉厚生に関して必要な給付を行う。

### 第2章 給 付

〈給付〉

第4条 給付の有無並びに支給額は理事会において決定する。

〈弔慰金〉

第5条 会員死亡に対しては弔慰金、弔花、弔電を贈る。但し5万円を上限とする。

第6条 名誉会員および特別会員の死亡に対しては弔慰金、弔花、弔電を贈る。

〈会員の療養〉

第7条 会員が入院加療の場合は次の通りとする。  
(入院後2ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して診断書を本部に提出)

イ. 1ヶ月以上 3万円

〈火災〉

第8条 火災見舞金は、次の通りとする。(火災発

生後6ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して本部に通知)

イ. 全焼又は総面積の50%以上 3万円

ロ. 総面積の50%未満 2万円

〈天災、その他〉

第9条 水害等の天災に対する見舞金は、次の通りとする。(災害発生後6ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して本部に通知)

イ. 全壊又は総面積の50%以上の破壊 3万円

ロ. 床上浸水又は総面積の50%未満の破壊 2万円

〈会長先決〉

第10条 会長は、緊急必要事項については応急の処分をすることができる。但し、後日理事会への報告が必要である。

〈会則改正〉

第11条 本共済の規則改正は理事会の承認を経て改正される。

〔附 則〕

1. この改正規則は、昭和59年5月より施行する。
2. この改正規則は、昭和61年5月より施行する。
3. この改正規則は、昭和63年5月より施行する。
4. この改正規則は、平成2年5月より施行する。
5. この改正規則は、平成10年5月より施行する。
6. この改正規則は、平成19年5月より施行する。
7. この規則は、平成22年5月29日より施行する。
8. この規則は、平成26年4月1日より施行する。

## 福岡歯科大学同窓会選挙規則

### 第1条 趣 旨

この規則は、本会会則第5章第14条第1項に基づいて定めるものとする。

### 第2条 選挙方法

選挙管理委員会が評議員会に委嘱する。

### 第3条 選挙管理組織

1. 選挙管理委員長を同窓会会長が指名し、評議員会の承認を得る。
2. 選挙管理委員長は選挙管理委員を若干指名することができる。

### 第4条 選挙管理委員長の任期

任期は2年とする。

### 第5条 選挙権

福岡歯科大学同窓会の評議員とする。

### 第6条 被選挙権

1. 福岡歯科大学同窓会正会員とする。
2. 重複立候補の禁止  
候補者は会長と監事の重複立候補はできない。
3. 選挙事務関係者の立候補制限  
選挙管理委員長、選挙管理委員は、その在職中に候補者となることはできない。立候補する場合は、その職を辞することとする。

### 第7条 選挙期日

選挙管理委員会が指定する日

### 第8条 選挙の告示

選挙は選挙期日の2ヶ月前に選挙管理委員会が告示する。

### 第9条 立候補の届出

選挙の告示から1ヶ月以内に郵送かあるいは文書で選挙管理委員会に届ける。

### 第10条 立候補の辞退

文書を選挙管理委員会の定める期日迄に選挙管理委員会に届ける。

### 第11条 当選人

1. 有効投票の最多数を得た者。

2. 得点が同数ならば（最多数同志）決選投票とする。

3. 候補者が定員数以内の場合には、投票を行わず、当該候補者をもって当選人と定める。なお、定員に足りないときには、別段の方法をとることができる。

### 第12条 当選人決定の告知及び告示

当選人が決定したら、選挙管理委員会は直ちに当選人の住所、氏名及び得票数、各候補者の得票数を会員に報告しなければならない。

### 第13条 当選の効力発生

当選人の住所、氏名の告示のあった日から生ずる。

### 第14条 選挙に際しては次の細則をもうける。

1. 選挙運動の期間  
立候補の届出より選挙の前日まで。
2. 選挙運動  
選挙管理委員会の指示に従う。
3. 選挙立会人  
候補者は選挙立会人を1人指名して、前日迄に選挙管理委員会に届け出る。
4. 開票の指定及び告示  
選挙管理委員会が指名及び告示する。

### 第15条 選挙規則の改正

選挙規則の改正は、選挙管理委員会が審議し、評議員会の承認を得るものとする。

### 〔附 則〕

1. この規約は、昭和54年3月より施行する。
2. この改正規約は、昭和58年5月より施行する。
3. この改正規約は、昭和62年5月より施行する。
4. この改正規約は、平成19年5月29日より施行する。
5. この規則は、平成22年5月29日より施行する
6. この規則は、平成26年4月1日より施行する。

## 編集後記

福岡歯科大学同窓会会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動にご理解と多大なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。

私が、福岡歯科大学同窓会誌「背振」と係わるようになり、20年以上が経ちました。「背振」の内容は、毎年あまり変わらないと思われる先生がいらっしゃるかもしれませんが、毎回広報委員会において協議させて頂き、新企画が少しずつ盛り込まれております。近年発行させて頂いた「背振」を振り返りますと、徐々に冊子の厚みが増しており、福岡歯科大学同窓会の活動の報告に割くページも少なくありません。同窓会活動が活発になり、会員相互の情報交換、親睦、同窓会の学術事業が活発になることは、本会にとっては望ましいことかと思えます。

また、毎月常務理事以上でのWeb会議、都府県会長を集めてのWeb会議が開催されており、縦横の繋がりが、より重視されるようになってきていると感じます。本部から都道府県同窓会への情報の伝達が、スムーズに行われる様になりました。

さらに、Facebook、LINEなどのSNSも活用しており会員の皆様へのよりスピーディな情報伝達ができるよう、広報委員会一同で取り組んでおります。

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類へと変更され、本部および都府県同窓会での同窓会活動が再開されておりますが、まだまだ皆様鈍っていた体が元に戻っていないことかと思えます。しかしながら類型は変更されたもののウイルスがいなく

なったわけではございません。皆様十分ご注意のうえ活動にご参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

本年度の「背振」は、執筆者の皆様の負担を減らす目的で、学術については見送らせて頂きました。学術等で掲載希望の内容がございましたら、広報委員会に是非ご意見を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

福岡歯科大学においては、アニマルセンター、体育館が取り壊され、新校舎の工事が着手されております。令和7年には新校舎が、令和10年に全体が完成する予定です。

私達も、新たな福岡歯科大学の姿に期待を持ちつつ、福岡歯科大学同窓会の結束も強固にしていきたいと思っております。

小柳 進祐（12期）



### 『背振』 第42号

福岡歯科大学同窓会会誌 2024年2月26日発行

発行責任者 吉永 修

編集責任者 小柳 進祐、大川 伊織

福岡歯科大学同窓会

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1

TEL (092) 863-2966 FAX (092) 863-2967

E-mail dousoukai@college.fdcnet.ac.jp

URL <http://www.fdcnet.ac.jp/col/collink/alumnus/index.html>

印刷所 大同印刷株式会社

〒849-0902 佐賀市久保町大字上和泉1848-20

TEL (0952) 71-8520(代) FAX (0952) 71-8528

### 広報・企画情報委員会

|           |            |
|-----------|------------|
| 副会長       | 小柳 進祐（12期） |
| 常務理事（委員長） | 大川 伊織（23期） |
| 理事        | 劉 中憲（12期）  |
| 理事        | 田代 剛（26期）  |
| 委員        | 香川 豊宏（15期） |
| 委員        | 後藤加寿子（21期） |
| 委員        | 津江 文武（25期） |
| 委員        | 川口 智弘（29期） |
| 委員        | 廣松 亮（32期）  |
| 委員        | 白本 和志（38期） |
| 委員        | 田平 和久（39期） |

# 歯科医師募集

福利厚生が充実しており、  
強い財務体制を持っているため、  
安心して働ける環境です。

## 募集要項

### 給与

総支給：400,000円～1,000,000円  
(新卒時400,000～)  
経験年数によって変動あり

### 求める人材

学会での発表や講師としても活躍している歯科医師の  
もとで、幅広い診療項目の深い知識と技術を身に付けたい方

### 福利厚生

退職金(3年勤務以上) / 賃金規定あり / 産前休暇(産前6週間) / 産後休暇(産後8週間)  
/ 育児休暇(生まれた日から1年間) / 介護休暇 / 慶忌休暇 / 就業規則  
/ 健康診断(全額医院にて負担) / 時短勤務 / 人事評価制度による年2回の昇給

医療法人徳治会  
リクルートサイト



医療法人社団徳治会  
**吉永歯科医院**

〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内824-8  
TEL: (訪問) 0964-32-5893 (外来) 0964-32-5801

医療法人社団徳治会

松山歯科医院 MATSUSHITA  
DENTAL OFFICE

〒866-0062 熊本県八代市豊原中町字南原2360-1  
TEL: (訪問) 0965-65-9801 (外来) 0965-35-1881

医療法人社団徳治会

**長野歯科医院**

〒861-1103 熊本県合志市野々島4787-18  
TEL: (訪問) 096-242-1987 (外来) 096-242-1891



# 九州インプラント研究会 (KIRG)

(公益社団法人日本口腔インプラント学会指定研修施設)



## 第30期生(2024年度)受講生募集

国宝指定を受ける熊本県山都町にある通潤橋

### 九州インプラント研究会(KIRG)のおすすめポイント

- ①充実したカリキュラムと実習、Q&A
- ②研修会修了後の生涯研修が継続しやすいシステム(入会金1万円+年会費1万円)
- ③短期間での専門医取得実績(最短研修修了後4年・高い合格率・現在までに専修医95名、専門医90名合格)
- ④KIRG主催学術講演会への無料参加と模擬ケースブレでの細やかな指導
- ⑤定期的なKIRG会誌の発行、無料配布

九州インプラント研究会 会長 伊東隆利

### 研修日程

- ① 2024年 4/20(土)・ 4/21(日)
- ② 2024年 5/18(土)・ 5/19(日)
- ③ 2024年 6/15(土)・ 6/16(日)
- ④ 2024年 7/20(土)・ 7/21(日)
- ⑤ 2024年 8/17(土)・ 8/18(日)
- ⑥ 2024年 9/21(土)・ 9/22(日)
- ⑦ 2024年 10/19(土)・ 10/20(日)
- ⑧ 2024年 11/16(土)・ 11/17(日)

■ 定 員 24名

■ 受講費用 77万円

(受講料70万円・消費税7万円)

※月後の分割払い可能(お支払方法についてはご相談ください)

■ 研修会場

※お申込みの際にご連絡します。

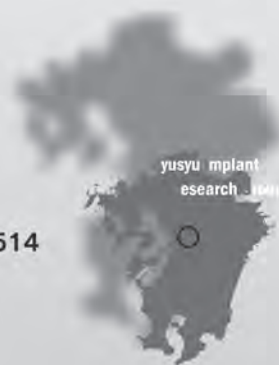
### 申し込み先 お問い合わせ

#### 九州インプラント研究会事務局

〒860-0851 熊本県熊本市中央区子飼本町4-14  
伊東歯科口腔病院内(事務局担当: 相良、兼子)  
TEL 096-343-0377 FAX 096-341-1130  
E-mail: kirg@itoh-dh.jp URL: <http://www.kirg-implant.jp>

### 受講料振込先

肥後銀行子飼橋支店 普通預金  
店番号 154 口座番号 2072514  
九州インプラント研究会  
会計 相良 孝治





## 子どもたちに 誇れるしごとを。

目を輝かせて何かに没頭していた  
あの頃から、私たちの  
ものづくりへの気持ちは変わりません。  
ずっと思い描いてきた夢や情熱を、  
建造物に込めて未来へ伝えていきます。

SHIMIZU CORPORATION   
**清水建設**

福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学

## 女子学生専用寮

福岡歯科大学同窓生のご息女さまの安全・快適な学生生活をサポートいたします!!

福岡歯科大学開学時より、ご利用いただいてまいりました「田奈加荘」が1995年クレモンフェラン老番館・2001年クレモンフェラン式番館、福岡学園女子学生専用寮を開設いたしました。

### ☆ クレモンフェラン老番館 ☆ 福岡市早良区田隈 2-35-23

福岡歯科大学正門から徒歩1分・平成7年開設・簡易耐火木造2階建全10室

ワンルームマンションタイプ8坪・管理人住み込み・朝夕2食付き(土日・祭日、休暇中は除く)

\*入寮費 150,000 円(毎年の更新料は無料) \*寮費 74,000 円(室料 38,000 円 食費 21,000 円 共益費・設備費・管理人等 15,000 円) 個室 電気・水道・ガス代金は各自負担

年払い一括割引 864,000 円(72,000 円×12 か月)

<各室設備> オートロック、内廊下、防犯シャッター付、風呂、トイレ、電磁キッチン、エアコン、ケーブルTV、WiFi環境有

### ☆☆ クレモンフェラン式番館 ☆☆ 福岡市早良区田村 2-9-35

福岡歯科大学西門から徒歩3分・平成13年開設・鉄筋コンクリート3階建全20室

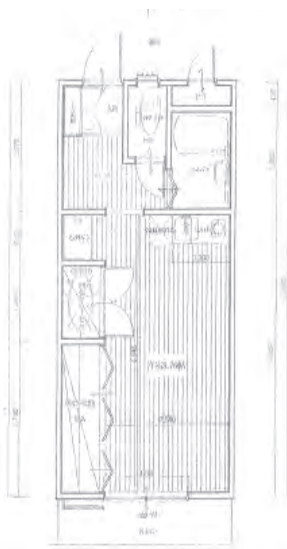
ワンルームマンションタイプ9坪・管理人住み込み・朝夕2食付き(土日・祭日、休暇中は除く)

\*入寮費 180,000 円(毎年の更新料は無料) \*寮費 88,000 円(室料 50,000 円 食費 21,000 円 共益費・設備費・管理人費等 17,000 円 上下水道代 2,000 円) 個室 電気・ガス代金は各自負担

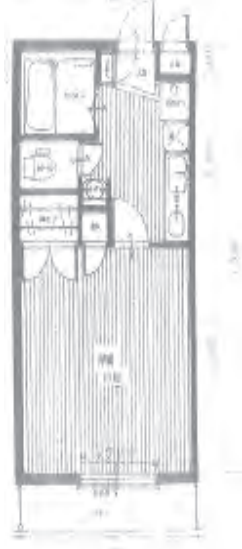
年払い一括割引 1,032,000 円(86,000 円×12 か月)

<各室設備> 指紋式オートロックシステム、防犯カメラ、防犯シャッター付、風呂、トイレ、電磁キッチン、エアコン、ケーブルTV、WiFi環境有、宅急便受領ボックス、ポストボックス

老番館



式番館 Aタイプ



式番館 Bタイプ



<お問合せ先>

代表 原田 紀一

福岡市早良区田村 9-35

電話 092-862-6933

FAX 092-862-6933

携帯 090-5935-9913

# Precio Plus

~ Dental Clinic System

シンプルで直感的なシステム

カルテ  
入力

予約管理

歯周検査

柔軟な連携システムで徹底した時短を実現

・どこよりも使いやすく、どこよりも速く

独自のマウス自動誘導機能を搭載。歯科未経験者にも正確な入力をサポート。マニュアル不要の直感的な操作感で、最短・最速の入力をご提供いたします。

・自社開発だからできる柔軟な連携

自社製の歯周検査システムと予約管理システムとの連携が可能。スムーズな連携で業務効率を向上。さらなる時短を実現。



株式会社 システム開発

本 社：〒880-0022 宮崎市大橋3丁目101番地1号  
鹿児島支社：〒890-0066 鹿児島市真砂町84-1 MIKI BLD202  
大 分 支 社：〒870-0025 大分市顕徳町1丁目14-1 河邊ビル103

TEL0985-22-1168 FAX0985-23-0831  
TEL099-285-1030 FAX099-285-1031  
TEL097-538-6163 FAX097-538-6164

Thinking ahead. Focused on life.



## Spaceline ST

診療に携わる術者、アシスタント、患者さん、すべての人にやさしい空間を目指して。  
治療を行う人と受ける人、双方の負担を和らげ、多彩な機能で診療をサポート。  
ニーズに合わせて各種装備をお選びいただき、快適な診療を実現します。

詳しくは検索、またはQRコードから  
スペースライン ST



東京 株式会社 モリタ 大塚本社 大塚市10丁目東本町3-35-18 F 03-654-8600 T 03-6580-2575 東京支社 東京都台東区上野2-1-105 F 03-46513 T 03-3634-0161  
名古屋 株式会社 モリタ名古屋 名古屋市中区栄2-1-10 F 052-48520 T 052-2017-3147  
販売名: スペースライン 一般名: 歯科用ユニット 標準の分類: 管理医療機器 (クラスⅡ) 特記事項: 管理医療機器 医療機器認証番号: 228ACB2400010000  
詳細な製品情報につきましては、こちらをご覧ください。 [www.dentshi.jp](http://www.dentshi.jp)  
お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800-222-8020 フリーコール

SHOFU

補綴装置



すべて 1 本で... 対応可能!

前処理材  
不要!\*

詳しくは  
こちらの動画を  
ご覧ください



高洞・支台歯



\* CAD/CAM用等、より深い  
接着を求める場合は、高洞  
または支台歯に対してビュー  
ティリンク Xtremeによる  
前処理を行う事を推奨します。

自己接着性レジンセメント

ビューティリンク SA

無駄なく使える  
ハンドミキシングタイプ

販売名・一般的名称

| 販売名         | 一般的名称        | 承認・認証・届出番号                          |
|-------------|--------------|-------------------------------------|
| ビューティリンク SA | 歯科接着用レジンセメント | 管理医療機器<br>医療機器認証番号 304AKBZX00032000 |

包装・価格

9mL ... ¥12,000

【内容】ペースト 9mL、スパチュラ 1、紙練板 1  
【色調】3色(クリア、アイボリー、オペク)



1~25℃の  
常温保管可能

価格は2023年10月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社:〒605-0983京都市東山区福福上高松町11 お客様サポート窓口(075)778-5482 受付時間8:30~12:00 12:45~17:00(土日祝除く) [www.shofu.co.jp](http://www.shofu.co.jp)  
●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/京都(075)757-6968/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

RACE<sup>®</sup> EVO

レイス エボ

ニッケル チタン ファイル

超柔軟性を実現！  
周期疲労破折を軽減！  
切削効率をアップ！  
滅菌済み！

2022年4月  
健保適用品  
Ni-Tiロータリーファイル

ヒートトリートメントによって実現した超柔軟性

## レイス エボを使用した臨床ケース



90度を超えるような湾曲では柔軟性の高い  
ファイルを使用しないと形成は難しい。



コールドハイドロリック  
コンデンセーションにて根管充填

臨床写真提供：ユーズデンタルクリニック院長 牛窪敏博 先生

医療機器認証番号 302AKBZX000B4000 管理医療機器

白水貿易株式会社 福岡営業所

〒812-0013 福岡市博多区博多駅2-18-30 八重洲博多ビル5F  
TEL (092) 432-4618 FAX (092) 432-4617

福岡デンタル販売株式会社

〒813-0034 福岡市東区多の津4-7-5 KNセンタービル  
TEL (092) 629-1491 FAX (092) 629-1494

歯科総合システム デンタルクィーン V3

レセコン & カルテコン対応

スピーディーな入力と安心のチェック機能！ Best Solution for Dental Clinic.

## DENTALQueen V3

歯科医院業務を一元管理し、快適な医院環境作りをサポート致します。

OPTION

P-Pad

(衛生士向け)

タブレット商品

DENTALQueen との  
データ連携にも対応

歯周検査



実地指導記録



衛生士業務記録簿



株式会社 ソフトテックス

<https://softteks.com>

本社 〒880-0911 宮崎市大字田吉 6307 番地 2

福岡 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 4 丁目 4 番 23 号 第 3 岡部ビル 10F

鹿児島 〒890-0052 鹿児島市上之園町 25 番地 1 ソフトマックスビル 3F

TEL : 0985-63-1456

TEL : 092-436-7215

TEL : 099-263-8860



博多と天神の間に位置する、ビジネス・観光の拠点。  
細やかなおもてなしで皆さまをお迎えいたします。



*The New Otani*

ホテルニューオータニ博多

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-2

TEL. (092) 714-1111 (代)

[www.newotani-hakata.com](http://www.newotani-hakata.com)



くらしを支える、良質な地域医療をすぐそばで。

*ael* クオール薬局  
Quality Of Life

全国すべての病院・医院の処方箋をお受けいたします。

クオール薬局福岡店 福岡県福岡市早良区田村2-15-35

TEL: 092-836-6389 FAX: 0120-088-901



お薬ができたならLINEでお知らせ

処方箋

LINEで簡単予約!

ご利用は  
こちらから

友だち追加






 駆けぬける歓び

あなたの毎日を歓びで満たしてゆく一台を。

BMW正規ディーラー

## Idex BMW

宮崎中央店

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町柳ノ丸510

TEL : 0985-34-9366

鹿児島中央店

〒890-0072 鹿児島市新栄町8-7

TEL : 099-203-0480

BMW Premium Selection 鹿児島中央店

〒890-0068 鹿児島市東郡元町12-46

TEL : 099-203-0286

チラシ・カタログ・ポスターから専門書・自費出版物まで、  
すぐにお見積り致します。



**大同印刷株式会社**

〒849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20

<http://www.daidou-jp.com>

TEL(0952)71-8520

FAX(0952)71-8528

- **同窓会の入会金と年会費**：入会金 3 万円、年会費 1 万円  
同窓会誌・名簿等の刊行物の発送は同窓会会費の支払いが、3年以上未納が続いた場合は停止されます。また、学術講演会・セミナーの参加も会員外の参加費となりますので、同窓会費の納入（年会費1万円）をお願いし
- **終身会費制度**：通算 40 年を経過して会費納入がなされた会員に対しては、以後の会費は免除される制度です。できるだけ、滞納なくお支払いされる事をお勧めします。
- **住所・氏名等の変更届け**：用紙にご記入の上ファックス等でお送り下さい。
- **地区同窓会（支部）へ参加しましょう。**  
地元の地区同窓会の活動は身近で、同窓生同士で共に理解することができ、同窓会という横の繋がりが地域活動の中では時には、非常に有り難いものがあります。出来るだけ地元の地区同窓会に参加し親交を深めて頂きたいと思います。現在、地区同窓会（支部）において、本部会費を一括して納入する制度を導入する地区同窓会（支部）も増加し、会員把握を含め同窓会の活性化に繋がっております。本部会費の地区同窓会による一括納入に関しましては、所属地区同窓会の担当の先生へお問い合わせ下さい。

ご不明な点は、同窓会事務局までお問い合わせ下さい。(Tel092-863-2966 Fax092-863-2967)

### 「福岡歯科大学同窓会における個人情報の取扱」

- 同窓会事務局に登録される皆様の情報は、氏名／卒業年（期）／自宅住所／自宅電話番号／勤務先／勤務先電話番号です。また、勤務先などが定まっていない若い卒業生においては、帰省先の登録が行われています。その他にメールアドレス、元所属クラブ等といったことが登録されています。
- 収集した個人情報は、同窓生名簿の作成や同窓会会誌発送時の宛名出力など同窓会活動の付帯業務に使用する事を目的としており、それ以外には利用については、各種委員会並びに同窓会役員会との協議の上、やむを得ない事由に限定して利用いたします。
- 提供先は、同窓会会員（在校生を含む）、福岡歯科大学現・旧職員や広告主とし、原則としてそれ以外に頒布いたしません。尚、広告主様につきましても個人情報保護の観点から、慎重な取り扱いを協定いたします。
- 収集した個人情報を第三者へ委託並びに再委託する場合は、各種委員会にて委託業者等に守秘義務履行を基本に選定し、理事会において決定致します。
- 収集した個人情報について、委託先も含め、機密保護には万全をつくします。
- ご自分の情報は、任意です。ただし提供されない場合は、同窓会から各種案内（会誌、大学広報誌、学術案内、同期会等）が出来なくなる場合があります。また、同窓会名簿にも氏名のみの掲載となります。
- ご自分の情報を照会したい場合は、同窓会事務局までご連絡ください。ご本人であることが確認できた場合に限り開示いたします。その際、ご自分の情報の訂正または削除を希望される場合はそれに応じます。

# 「福岡歯科大学同窓生名簿」登録(変更)届け

フリガナ

氏 名

(男・女)

フリガナ

旧 姓

卒業期

期卒

所属地区名

名簿冊子上に掲載しない箇所には✓を入れてください

|                  |        |                                             |   |  |
|------------------|--------|---------------------------------------------|---|--|
| ①<br>自<br>宅      | 住 所    | 〒                                           | 県 |  |
|                  | Tel 番号 |                                             |   |  |
|                  | Fax 番号 |                                             |   |  |
| ②<br>勤<br>務<br>先 | 住 所    | 〒                                           | 県 |  |
|                  | 勤務先名   | 開業・勤務医・教職・大学院・研修医・その他                       |   |  |
|                  | Tel 番号 |                                             |   |  |
|                  | Fax 番号 |                                             |   |  |
| フリガナ<br>E-Mail   |        | ※フリガナ：例えば) i「アイ」・数字の1「イチ」 英字 o「オー」・数字の0「ゼロ」 |   |  |
| メールマガジン          |        | 1.新規希望 2.希望しない 3.登録済み 4.解除したい               |   |  |
| 郵送物送り先           |        | ①自宅 ・ ②勤務先 ・ ③帰省先                           |   |  |

以下は名簿に記載されません。住所等が不明になった際に郵便物を送ることがあります。

|                  |        |   |   |  |
|------------------|--------|---|---|--|
| ③<br>帰<br>省<br>先 | 住 所    | 〒 | 県 |  |
|                  | Tel 番号 |   |   |  |
|                  | Fax 番号 |   |   |  |
| 所属クラブ            |        |   |   |  |

Fax 092-863-2967 / dousoukai@co | | ege.fdcnet.ac.jp

★同窓会事務局(本館7F)までに返送ください！

## 福岡歯科大学同窓会誌用原稿用紙

FAX 092-863-2967

[illegible]

